
庄原市 子ども・子育て支援に関するアンケート調査 報告書

令和6年4月
広島県 庄原市

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	4
III 調査結果	6
【1】親族等からの支援の状況	6
1 子どもを預けられる親族、友人の有無	6
【2】保護者の就労状況について	7
1 保護者の就労形態	7
2 保護者の就労日数、就労時間	8
3 フルタイムへの転換希望	11
4 今後の就労意向	12
5 保育士や教員免許状の資格保有状況	13
【3】就学前児童の教育・保育サービスの利用状況について	15
1 施設やサービスの利用状況	15
2 利用している施設やサービス	15
3 利用していない理由	16
4 施設やサービスの今後の利用希望	17
5 18時30分以降の延長利用希望	21
6 施設やサービスを利用する際に重視すること	22
【4】子育て支援センターの利用状況について	23
1 子育て支援センターの利用状況	23
2 子育て支援センターの利用希望	24
【5】土・日・祝日や長期休暇中の保育所などの利用希望について	26
1 土・日・祝日の施設やサービスの利用希望	26
2 長期休暇中の施設やサービスの利用希望	28
【6】病気のときの対応について	29
1 病気やけがのときの対応について	29
2 病児・病後児のための保育施設等の利用希望	30
【7】一時預かりなどについて	31
1 一時預かりなどの利用状況	31
2 一時預かりなどの事業の利用希望	32
3 宿泊を伴う預かりの有無	33
【8】就学前児童の小学校入学後の放課後の過ごし方について	34
1 小学校入学後に希望する放課後の過ごし方	34

【9】放課後児童クラブ・放課後子供教室について	35
1 放課後児童クラブ・放課後子供教室の利用有無	35
2 放課後児童クラブ・放課後子供教室の利用状況	36
3 放課後児童クラブ・放課後子供教室に対する満足度	37
4 放課後児童クラブ・放課後子供教室への要望	38
5 小学校終了後（放課後）の時間を過ごす場所	39
6 放課後児童クラブ・放課後子供教室を利用していない理由	40
7 放課後児童クラブ・放課後子供教室の利用希望	41
8 放課後児童クラブ・放課後子供教室を利用したい学年	42
9 土・日・祝日や長期休暇中などの利用希望	43
10 放課後児童クラブ・放課後子供教室を利用したい理由	45
11 小学校終了後（放課後）の時間を過ごさせたい場所	46
【10】育児休業について	47
1 育児休業取得状況	47
2 母親の育児休業取得後の職場復帰状況	48
3 育児休業を取得しなかった理由	49
【11】妊娠期からの母子保健事業について	50
1 妊娠中や出産後の育児等への不安	50
2 最も不安が強かった時期	50
3 不安の内容	51
4 利用したことがある母子保健事業	52
5 母子保健事業の満足度	53
6 不満に感じた理由	54
7 相談支援を受けての不安の解消について	55
8 母子保健事業を利用しなかった理由	55
9 市が力を入れるべき母子保健事業	56
10 庄原市こども未来広場の認知状況	58
【12】子育て全般について	60
1 子育てに関する不安や負担感	60
2 子育てに関する悩み	61
3 子育てに関する相談先	62
4 子育てに関する情報の入手先	63
5 孤立感	64
6 近所の人との付き合い程度	66

7 地域の人や社会からの支援意識-----	68
8 経済的なゆとり-----	70
9 希望する子どもの人数-----	70
10 子育てのしやすさ-----	72
11 永住意向-----	74
12 ダブルケアの状況-----	76
13 ダブルケアを行っている人-----	77
14 子育てしやすいまちにするために必要だと思う支援-----	78
【13】自由記述回答集約結果-----	80
1 就学前児童-----	80
2 小学生-----	82

I 調査の概要

【調査の目的】

本調査は「庄原市こども計画」の策定にあたり、市内の就学前児童及び小学生を持つ保護者に対し、現在の就労状況や教育・保育事業の利用状況及び今後の利用希望や子育てニーズ等を調査し、子育て支援施策の検討に資することを目的として実施した。

アンケートの調査内容については「国のモデル調査票」を踏まえ、それに本市独自の設問を加えて設計している。

【調査設計】

調査地域：庄原市全域

調査対象：就学前児童／市内に居住する0歳から小学校入学前までの子どもがいる家庭
小学生／市内に居住する小学生の子どもがいる家庭

調査方法：郵送配布～郵送回収、インターネットによる回答

調査期間：令和6年2～3月

【回収結果】

	標本数(配布数)	有効回収数	有効回収率
就学前児童	767	526 (郵送:318、Web:208)	68.6%
小学生	999	571 (郵送:353、Web:218)	57.2%
合計	1,766	1,097 (郵送:671、Web:426)	62.1%

【就学前児童の回収結果】（問１回答結果より）

小学校区	件数(件)	構成比(%)	地域	件数(件)	構成比(%)
庄原小学校	105	20.0	庄原	322	61.2
永末小学校	31	5.9			
高小学校	17	3.2			
峰田小学校	9	1.7			
板橋小学校	62	11.8			
東小学校	74	14.1			
山内小学校	24	4.6			
西城小学校	22	4.2	西城	22	4.2
小奴可小学校	11	2.1	東城	92	17.5
栗田小学校	6	1.1			
東城小学校	75	14.3			
口和小学校	23	4.4	口和	23	4.4
高野小学校	21	4.0	高野	21	4.0
比和小学校	14	2.7	比和	14	2.7
総領小学校	19	3.6	総領	19	3.6
無回答	13	2.5	無回答	13	2.5
合計	526	100.0	合計	526	100.0

【小学生の回収結果】（問１回答結果より）

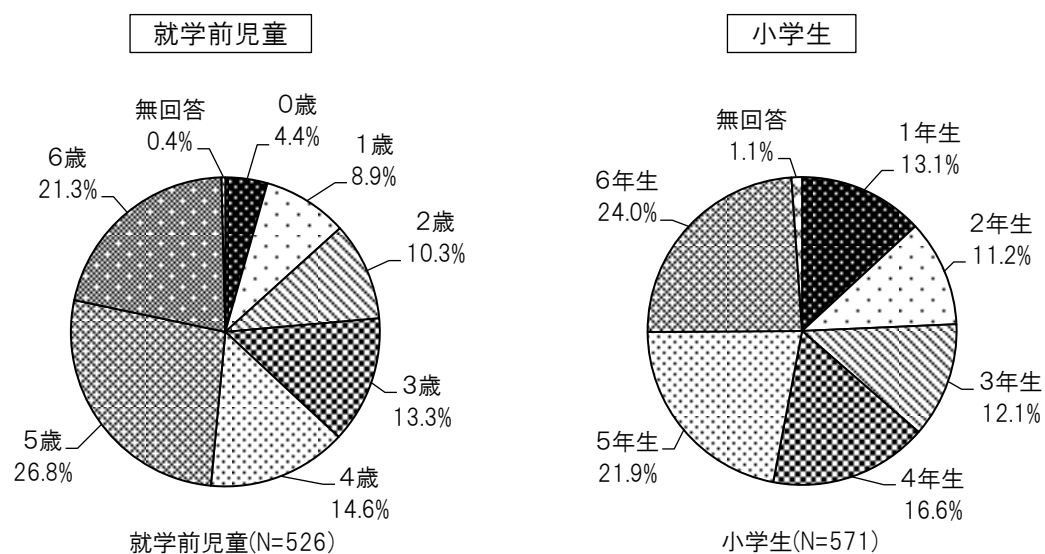
小学校区	件数(件)	構成比(%)	地域	件数(件)	構成比(%)
庄原小学校	131	22.9	庄原	354	62.0
永末小学校	41	7.2			
高小学校	24	4.2			
峰田小学校	16	2.8			
板橋小学校	44	7.7			
東小学校	69	12.1			
山内小学校	29	5.1			
西城小学校	28	4.9	西城	28	4.9
小奴可小学校	13	2.3	東城	104	18.2
栗田小学校	9	1.6			
東城小学校	82	14.4			
口和小学校	28	4.9	口和	28	4.9
高野小学校	20	3.5	高野	20	3.5
比和小学校	13	2.3	比和	13	2.3
総領小学校	20	3.5	総領	20	3.5
無回答	4	0.7	無回答	4	0.7
合計	571	100.0	合計	571	100.0

【報告書の見方について】

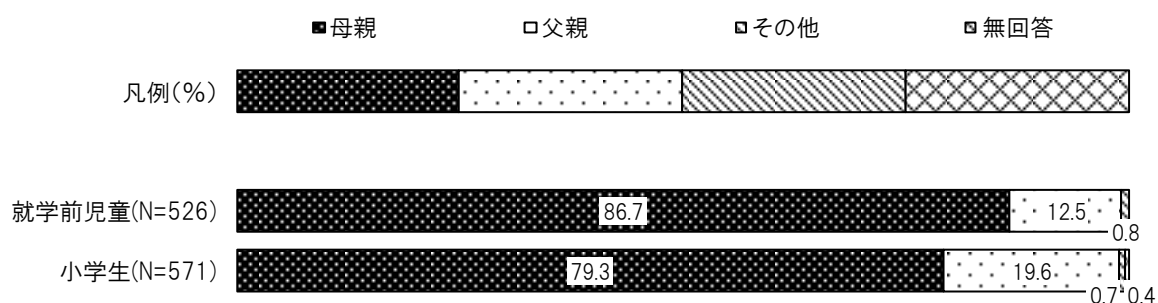
- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 複数回答質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記している。
- (4) 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者（例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者）を除いて表記しているため、属性ごとの基数（n）の合計と全体の基数（N）は一致しない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて（就学前児童を基準に）表記している場合がある。
- (6) 設問番号の「就」は就学前児童の設問番号、「小」は小学生の設問番号を示している。
- (7) 上記のほか、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載している。

Ⅱ 回答者の属性

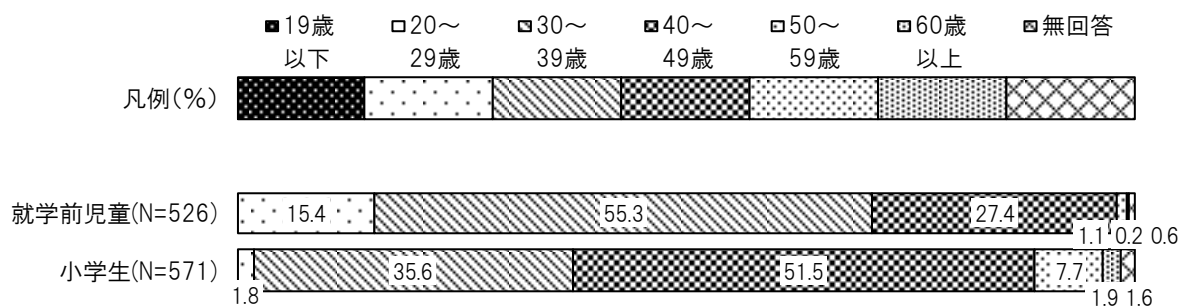
1 子どもの年齢・学年



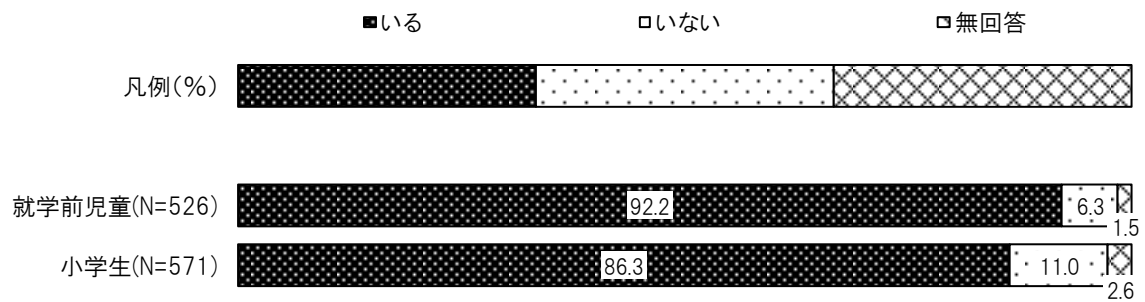
2 回答者の続柄



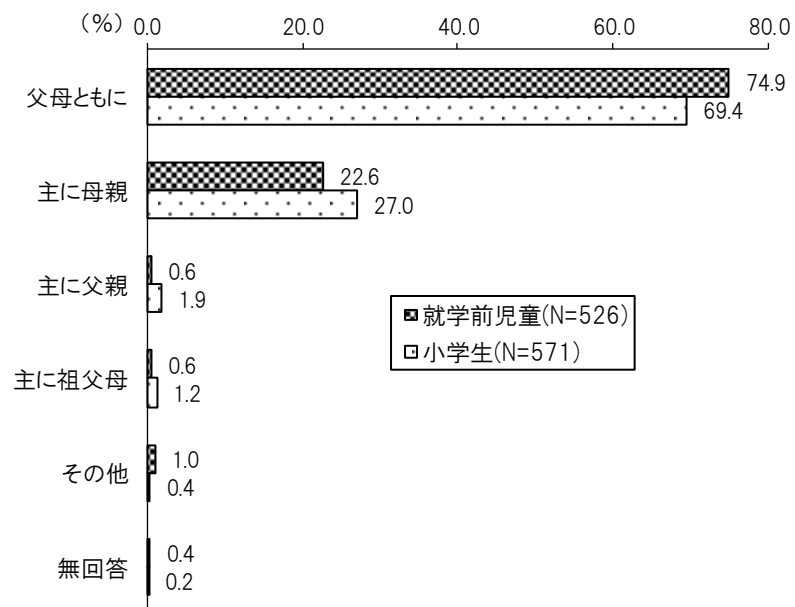
3 回答者の年齢



4 配偶者・パートナーの有無



5 主に子育てをしている人（教育を含む）



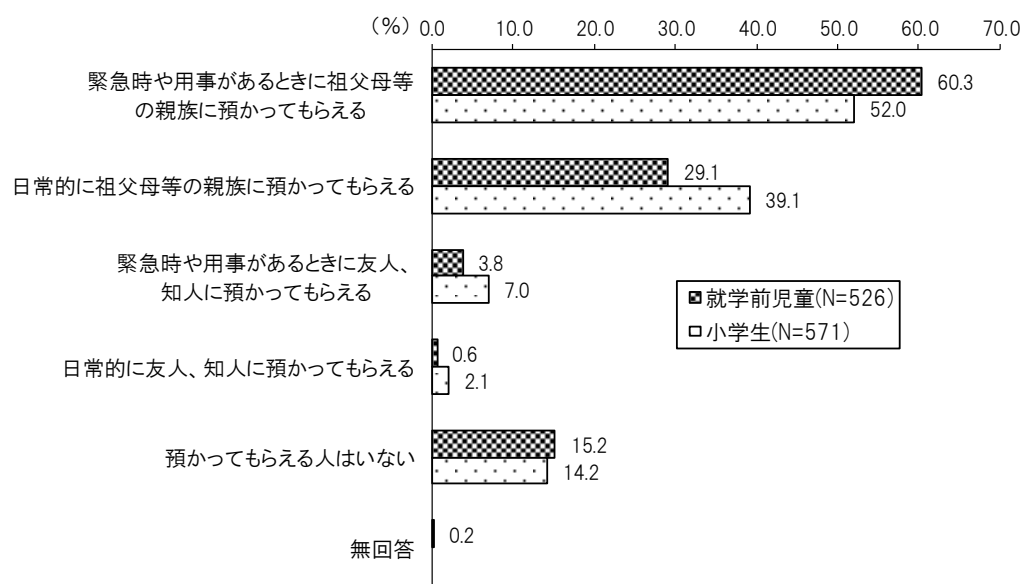
Ⅲ 調査結果

【1】親族等からの支援の状況

1 子どもを預けられる親族、友人の有無

就問5（小問5） 日頃、お子さんを預けられる人はいますか。
（あてはまるもの全てに○）

就学前児童、小学生ともに「緊急時や用事があるときに祖父母等の親族に預かってもらえる」人が多数を占めており、小学生は就学前児童に比べ「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」割合が高くなっている。一方、「預かってもらえる人はいない」割合は、就学前児童で15.2%、小学生で14.2%となっている。



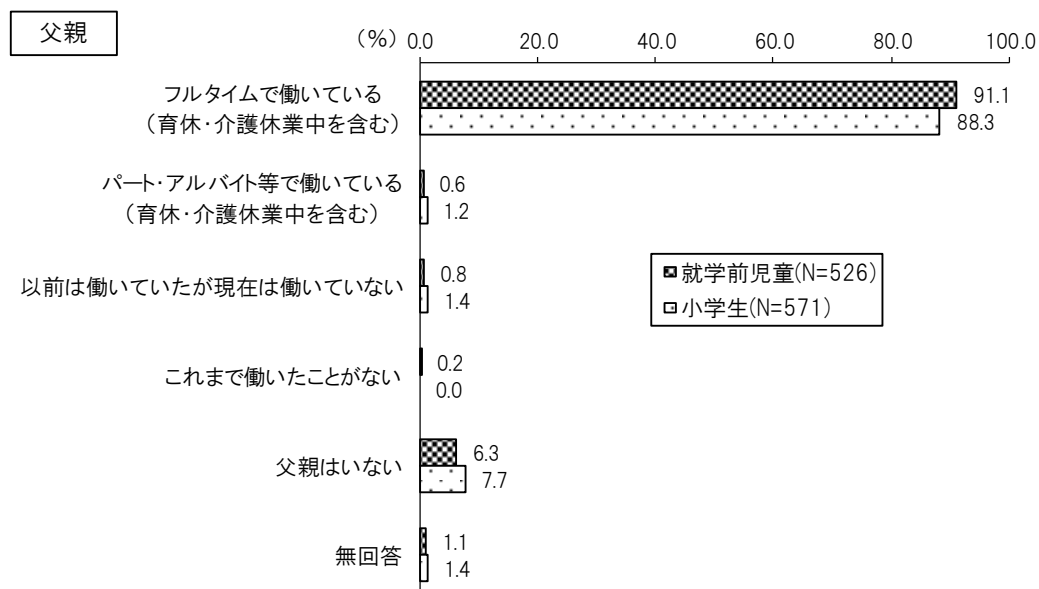
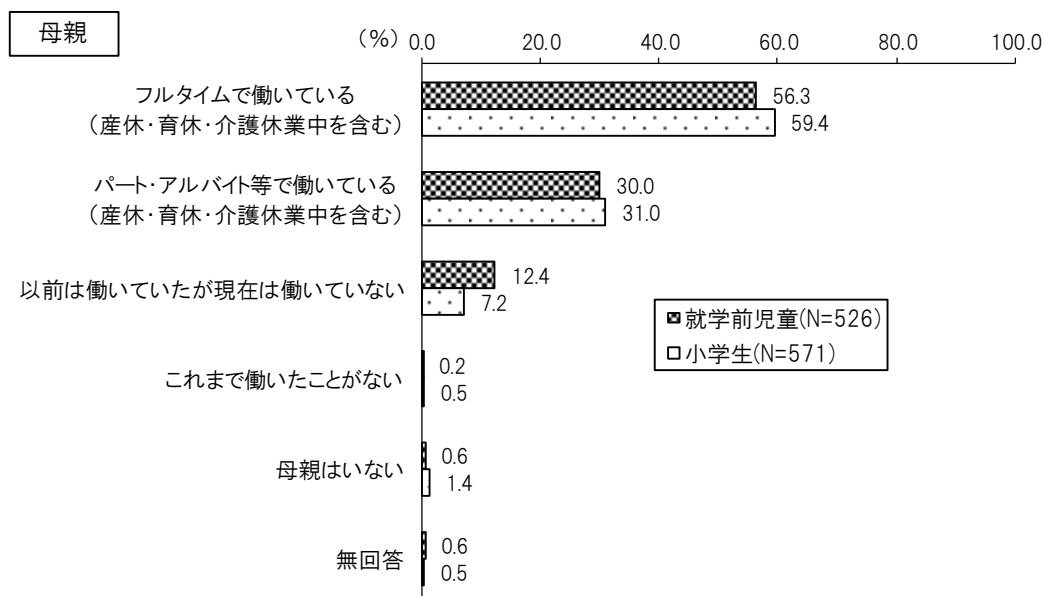
【2】保護者の就労状況について

1 保護者の就労形態

就問 6（小問 6） お子さんの母親は、現在働いていますか。（○は 1 つ）

就問 11（小問 11） お子さんの父親は、現在働いていますか。（○は 1 つ）

母親については、大半が就労しており、フルタイムが約 6 割、パート・アルバイト等が約 3 割となっている。また、「以前は働いていたが現在は働いていない」は 1 割程度みられた。父親については、大半がフルタイムで勤務している。



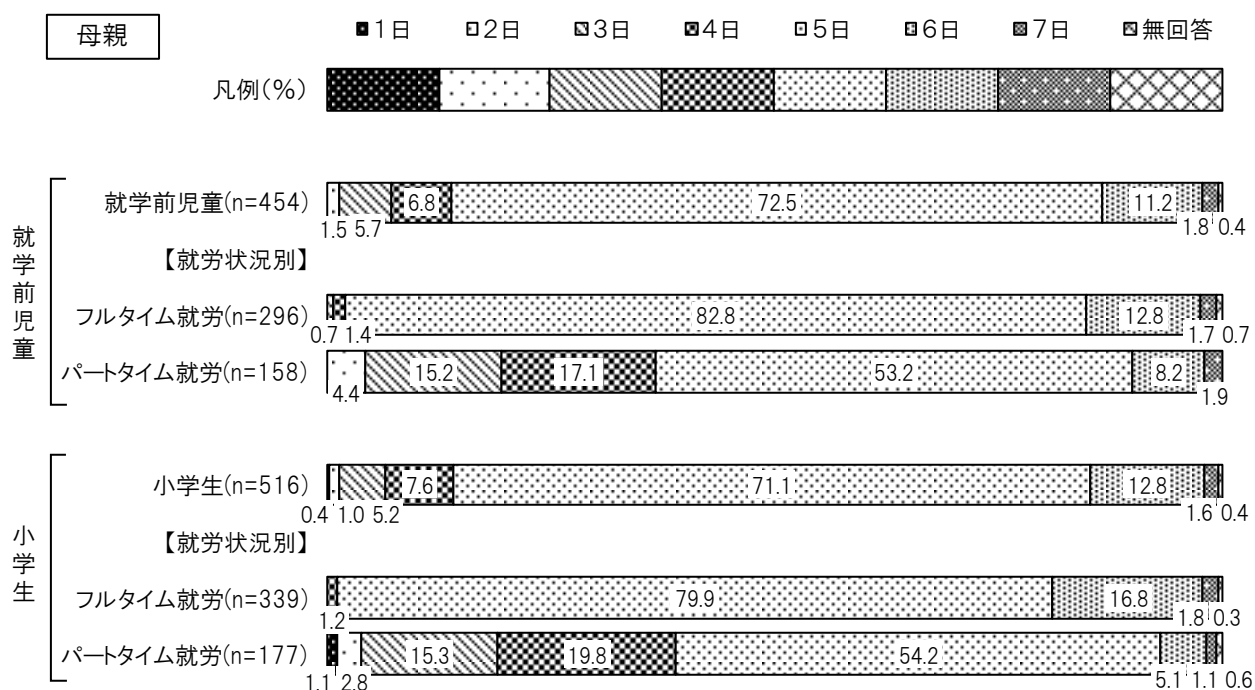
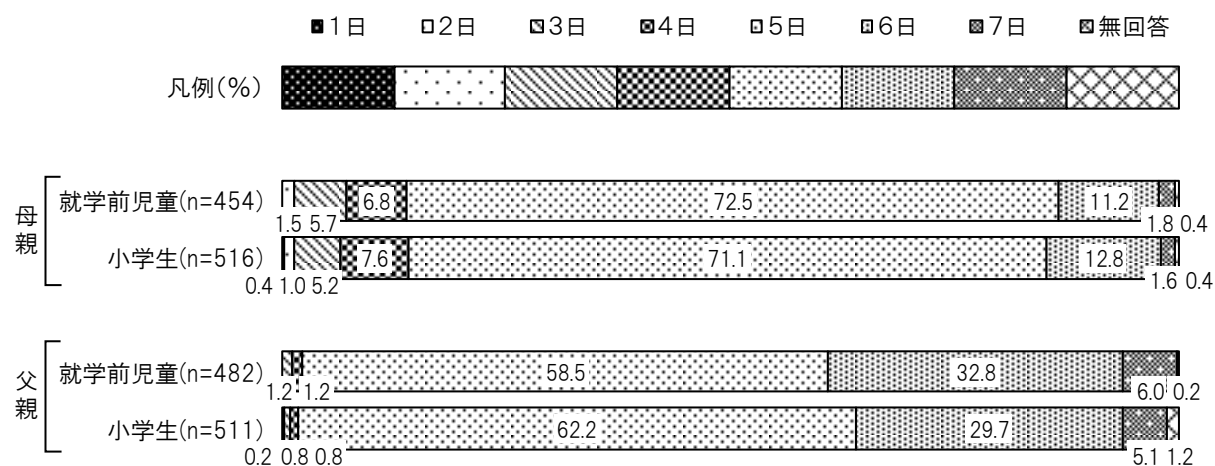
2 保護者の就労日数、就労時間

【就労している方におたずねします。】

就問7（就問12）（小問7）（小問12） 1週当たりの就労日数及び1日当たりの就労時間について、最も多いパターンをお答えください。（○は1つつつ）

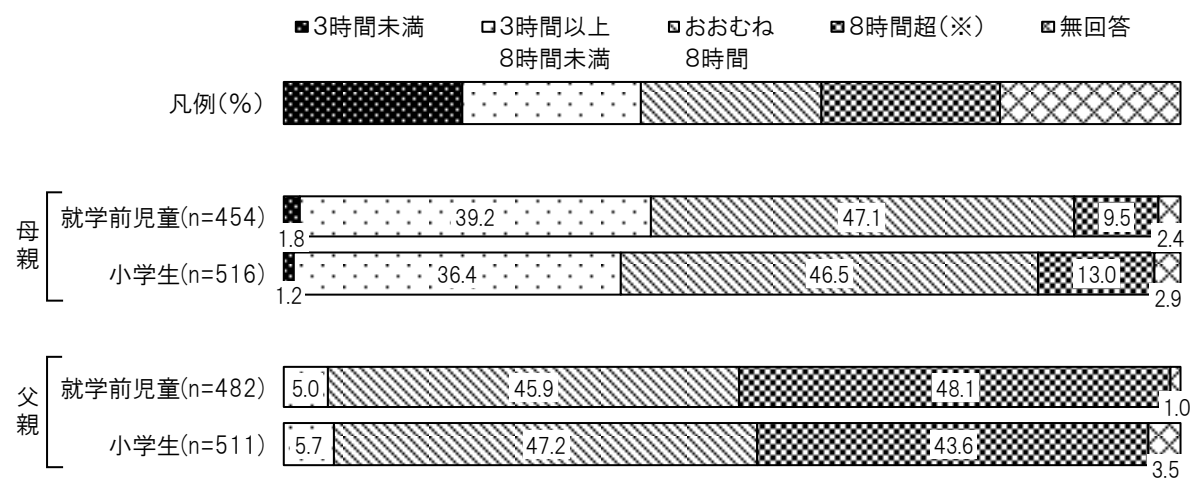
<就労日数>

母親の就労日数については、約7割が「5日」、約1割が「6日」と回答している。
父親については、約3割が「6日」と回答している。

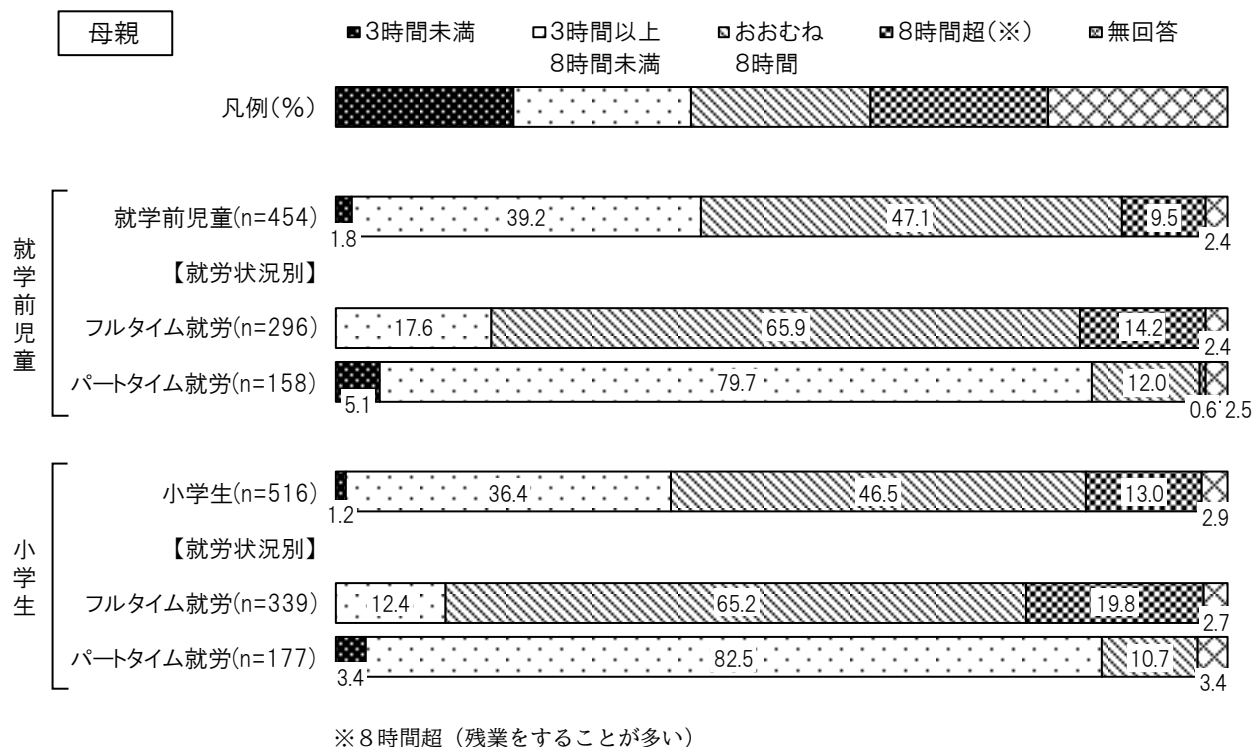


<就労時間>

母親の就労時間をみると、約半数が「おおむね8時間」、約4割が「3時間以上8時間未満」、「8時間超（残業をすることが多い）」は1割程度となっている。父親については、半数近くが「8時間超（残業をすることが多い）」と回答している。



※ 8時間超（残業をすることが多い）



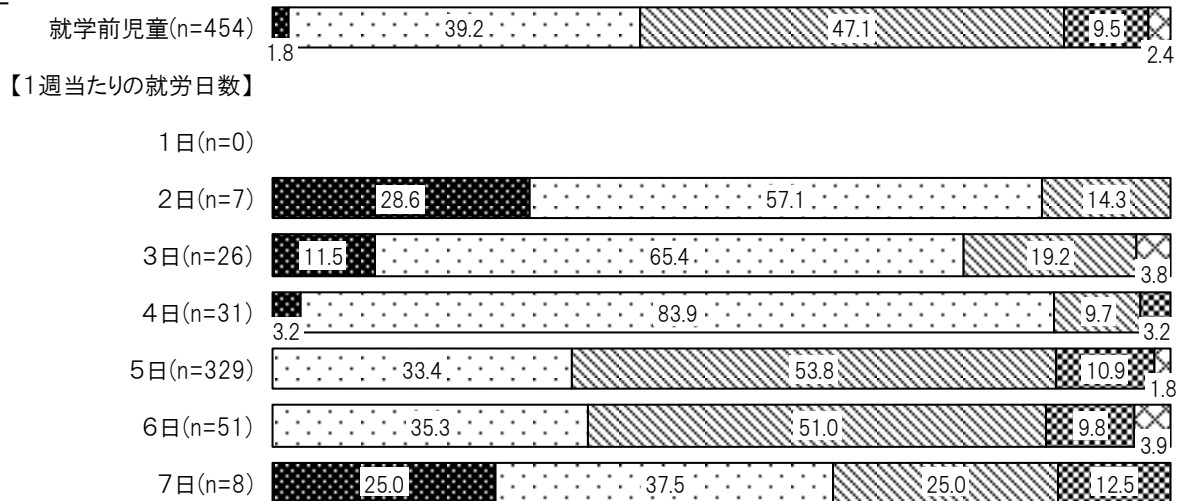
※ 8時間超（残業をすることが多い）

母親

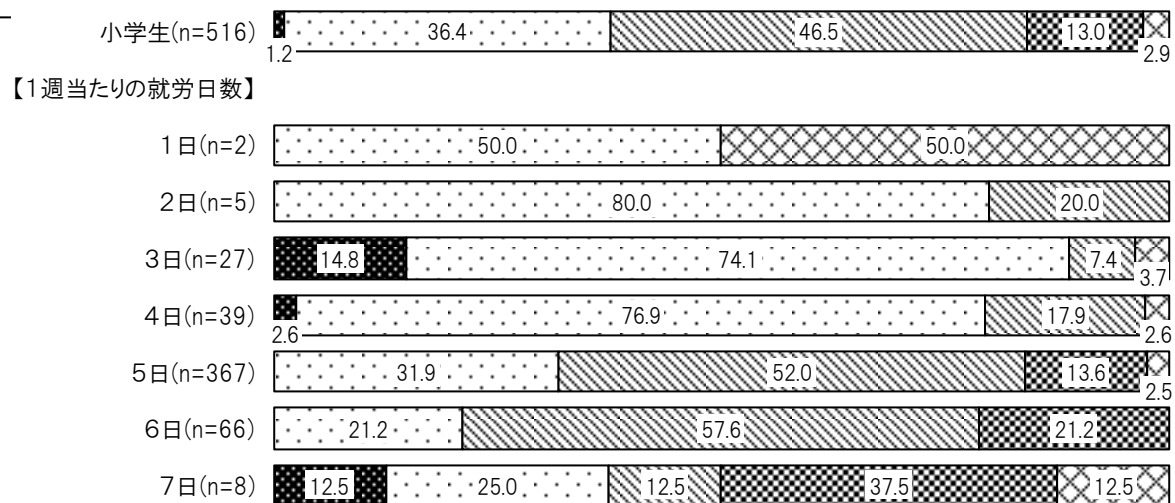
■ 3時間未満 □ 3時間以上 8時間未満 ■ おおむね 8時間 ■ 8時間超(※) □ 無回答

凡例(%)

就
学
前
児
童



小
学
生



※ 8時間超 (残業をすることが多い)

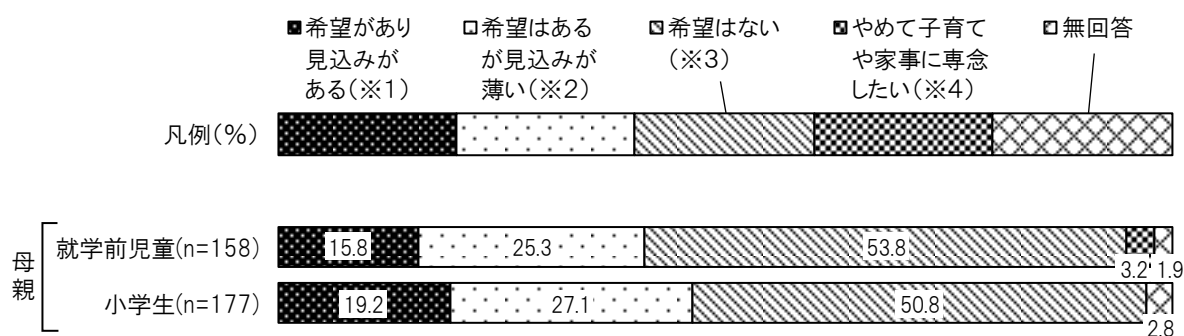
注：件数 (n) が 10 未満の項目については、参考値として参照

3 フルタイムへの転換希望

【パート・アルバイト等で就労している方におたずねします。】

就問8（就問13）（小問8）（小問13） 今後、パート・アルバイト等から、フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）へ転換したいですか。（○は1つ）

現在、パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望（「希望があり、フルタイムになれる見込みがある」「希望はあるものの、フルタイムになれる見込みが薄い」の合計）については、就学前児童で41.1%、小学生で46.3%となっている^注。



- ※1：希望があり、フルタイムになれる見込みがある
 ※2：希望はあるものの、フルタイムになれる見込みが薄い
 ※3：希望はない（パート・アルバイト等のままで良い）
 ※4：仕事をやめて子育てや家事に専念したい

注1：就学前児童の父親については、「希望があり、フルタイムになれる見込みがある」が2件、「希望はない（パート・アルバイト等のままで良い）」が1件みられた。

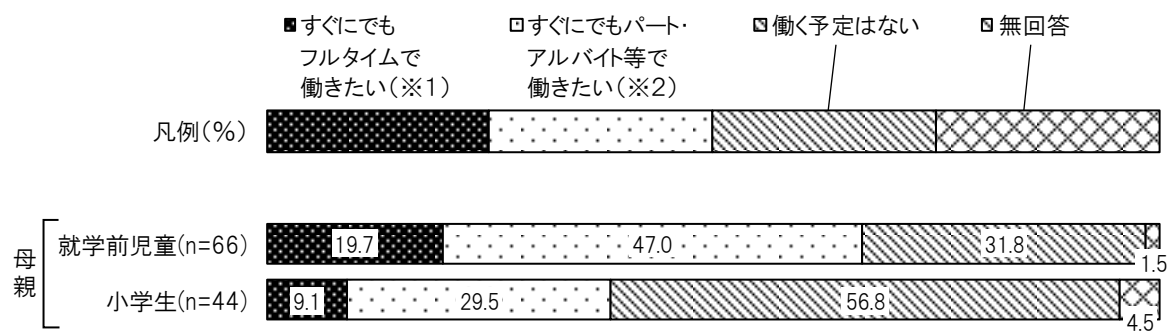
注2：小学生の父親については、「希望があり、フルタイムになれる見込みがある」「希望はあるものの、フルタイムになれる見込みが薄い」が各1件、「希望はない（パート・アルバイト等のままで良い）」が5件みられた。

4 今後の就労意向

【現在、就労していない方におたずねします。】

就問9（就問14）（小問9）（小問14） 今後、働きたいとお考えですか。（○は1つ）

現在、就労していない母親の就労意向については、就学前児童の母親で「すぐにも、又は1年以内にフルタイムで働きたい」が19.7%、「すぐにも、又は1年以内にパート・アルバイト等で働きたい」が47.0%となっており、合計で就労意向は66.7%となっている。一方、小学生の母親では半数以上（56.8%）が「働く予定はない」と回答している^注。



※1：すぐにも、又は1年以内にフルタイムで働きたい

※2：すぐにも、又は1年以内にパート・アルバイト等で働きたい

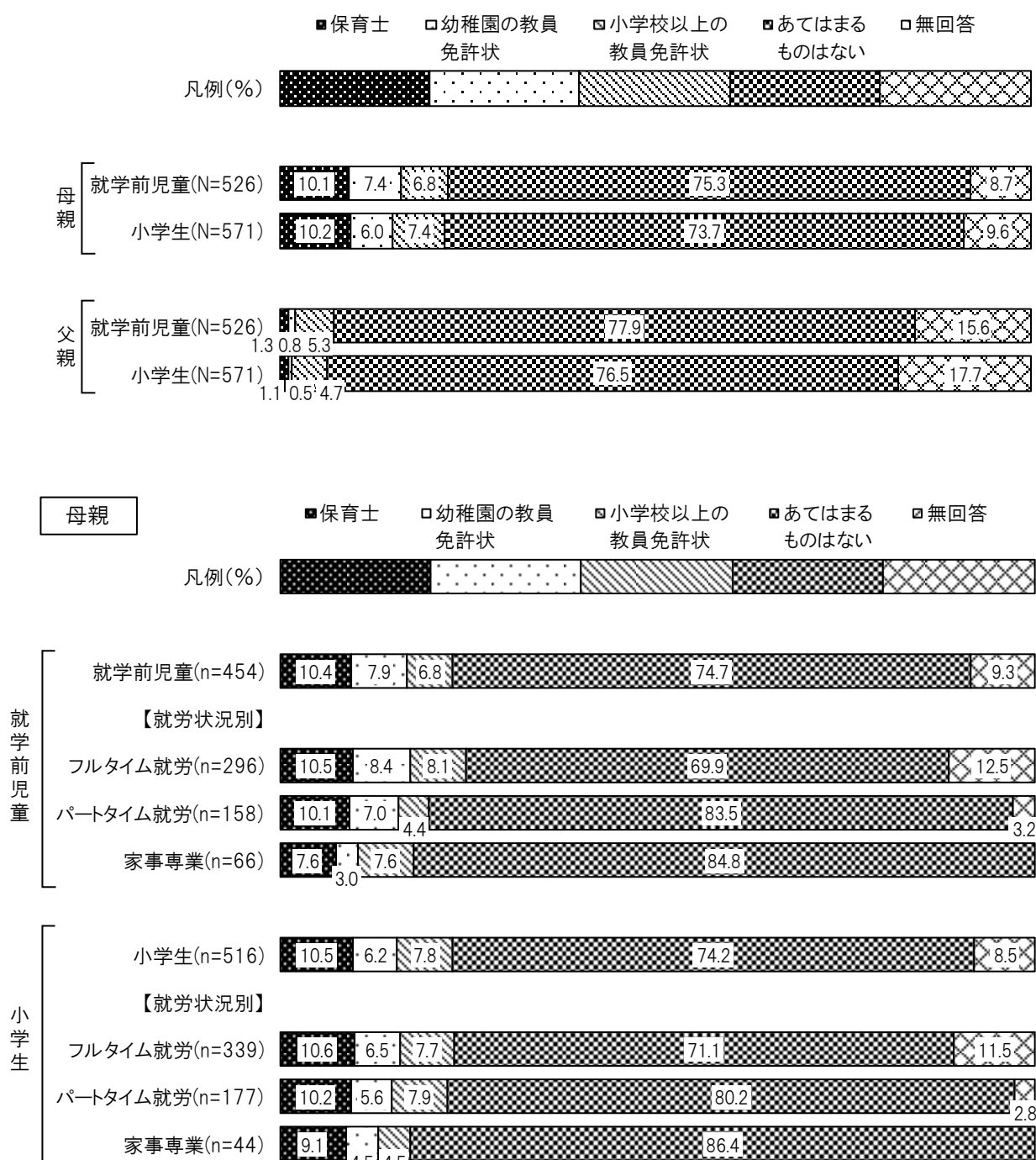
注1：就学前児童の父親については、「すぐにも、又は1年以内にフルタイムで働きたい」が2件、「すぐにも、又は1年以内にパート・アルバイト等で働きたい」「働く予定はない」が各1件みられた。

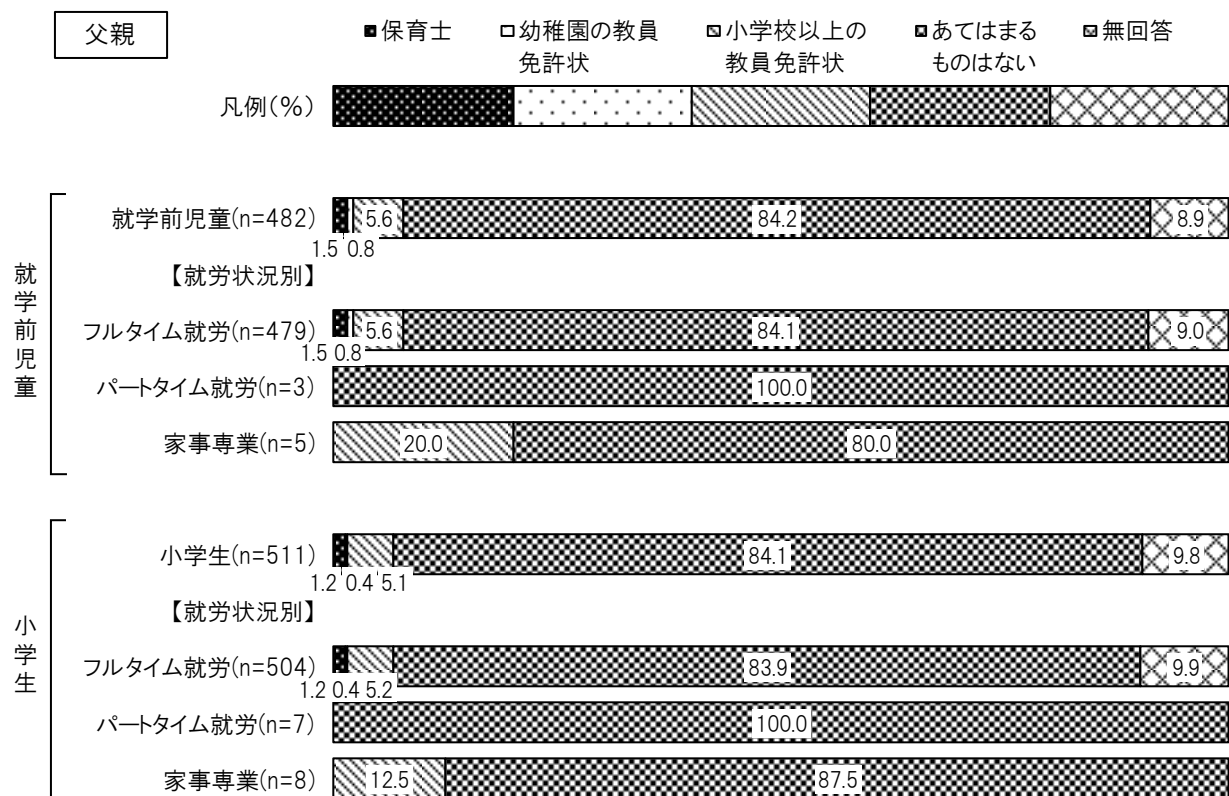
注2：小学生の父親については、「すぐにも、又は1年以内にフルタイムで働きたい」が3件、「働く予定はない」が5件みられた。

5 保育士や教員免許状の資格保有状況

就問 10（小問 10） お子さんの母親は、次の項目にあてはまる資格を持っていますか。
 就問 15（小問 15） お子さんの父親は、次の項目にあてはまる資格を持っていますか。
 （あてはまるもの全てに○）

保育士や教員免許状の資格保有状況をみると、母親の約 1 割が「保育士」の資格を持っており、「幼稚園の教員免許状」「小学校以上の教員免許状」は 1 割未満となっている。一方、父親については「小学校以上の教員免許状」が 5 % 程度みられた。





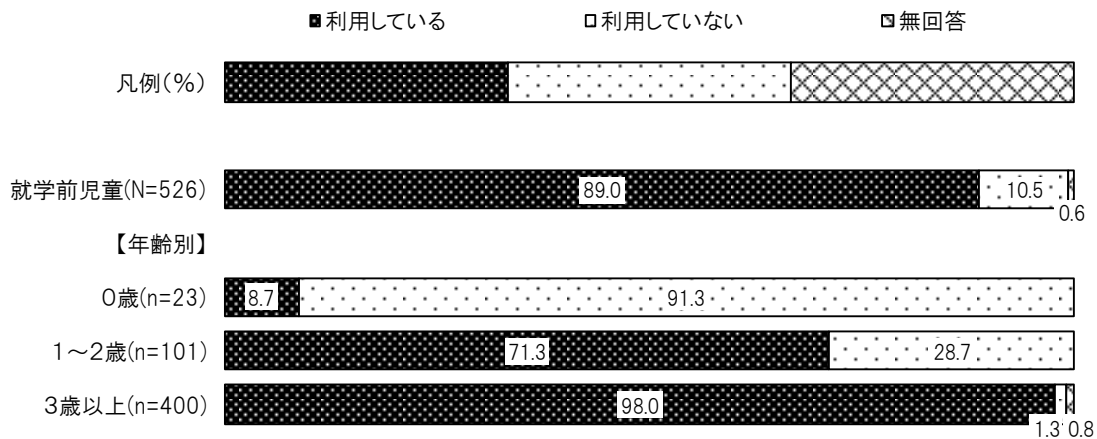
注：件数（n）が10未満の項目については、参考値として参照

【3】就学前児童の教育・保育サービスの利用状況について

1 施設やサービスの利用状況

就問 16 宛名のお子さんは、平日、幼稚園や保育所等の施設やサービスを定期的にご利用していますか。（○は1つ）

大半（89.0％）の子どもが幼稚園や保育所等の施設やサービスを利用しており、3歳以上になると、ほとんどの子どもが利用している。

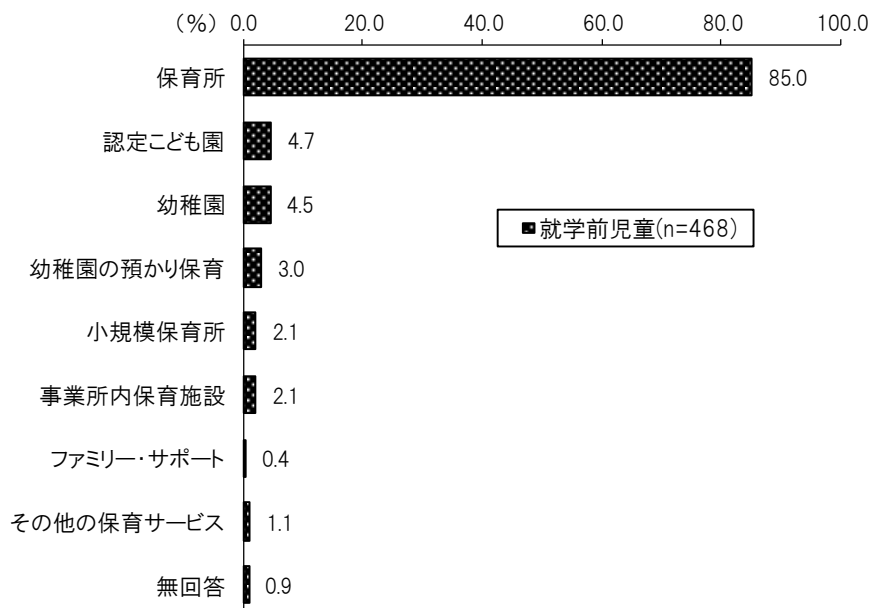


2 利用している施設やサービス

【施設やサービスを利用している方におたずねします。】

就問 17 現在、年間を通じて、平日にどの幼稚園や保育所等の施設やサービスを利用していますか。（あてはまるもの全てに○）

「保育所」の割合が85.0％と最も高く、次いで「認定こども園」（4.7％）、「幼稚園」（4.5％）、「幼稚園の預かり保育」（3.0％）が続いている。

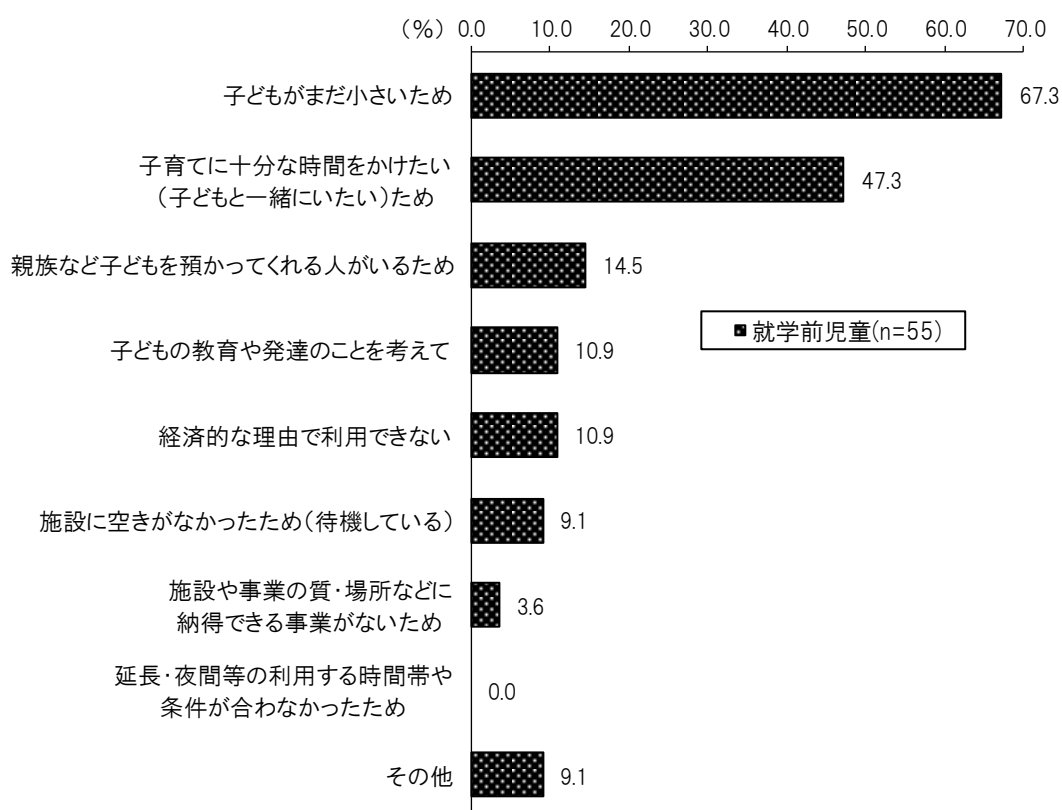


3 利用していない理由

【施設やサービスを利用していない方におたずねします。】

就問 18 利用していないのは、どのような理由からですか。（あてはまるもの全てに○）

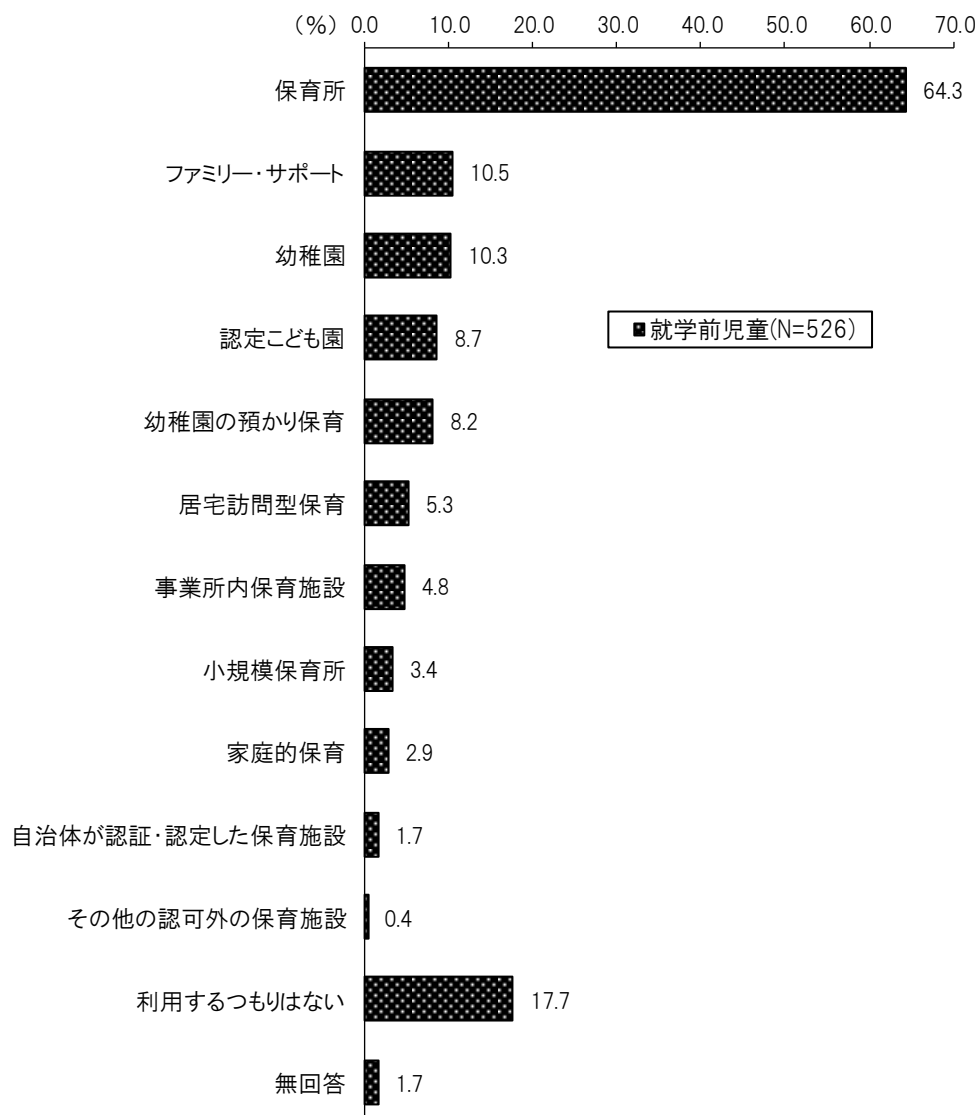
利用していない理由については、「子どもがまだ小さいため」の割合が67.3%と最も高く、次いで「子育てに十分な時間をかけたい（子どもと一緒にいたい）ため」（47.3%）、「親族など子どもを預かってくれる人がいるため」（14.5%）、「子どもの教育や発達のことを考えて」（10.9%）、「経済的な理由で利用できない」（各10.9%）の順となっている。



4 施設やサービスの今後の利用希望

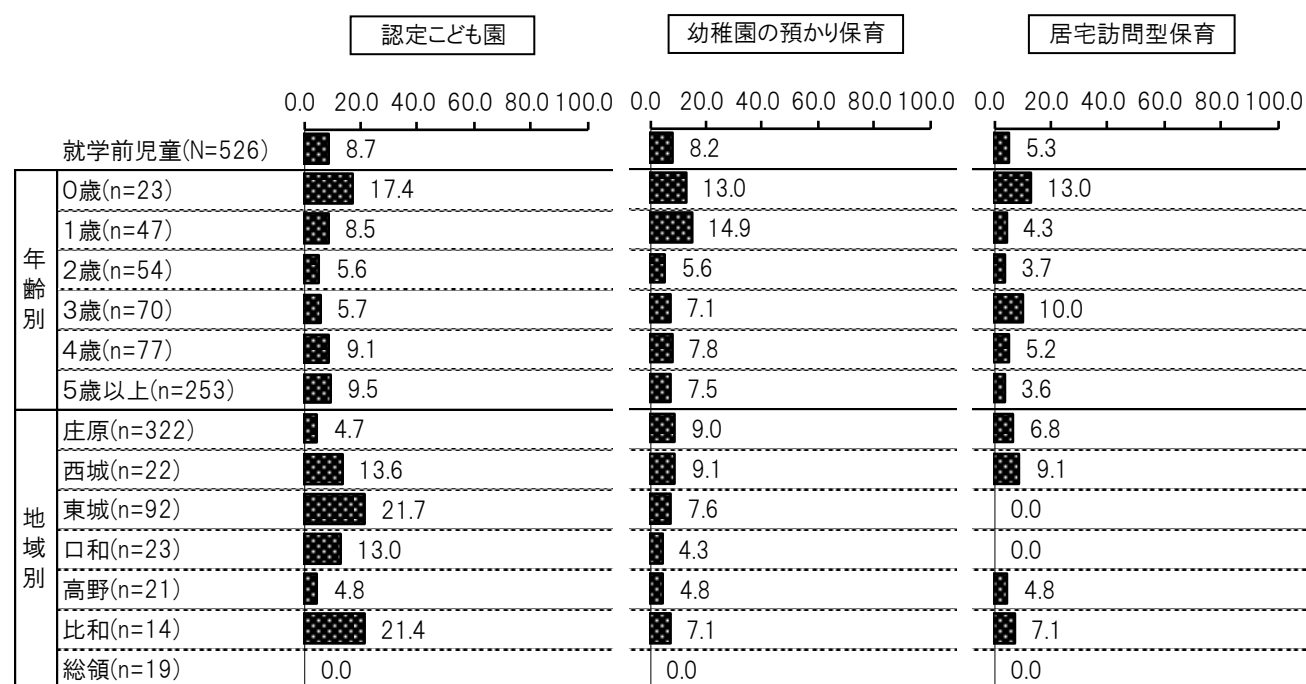
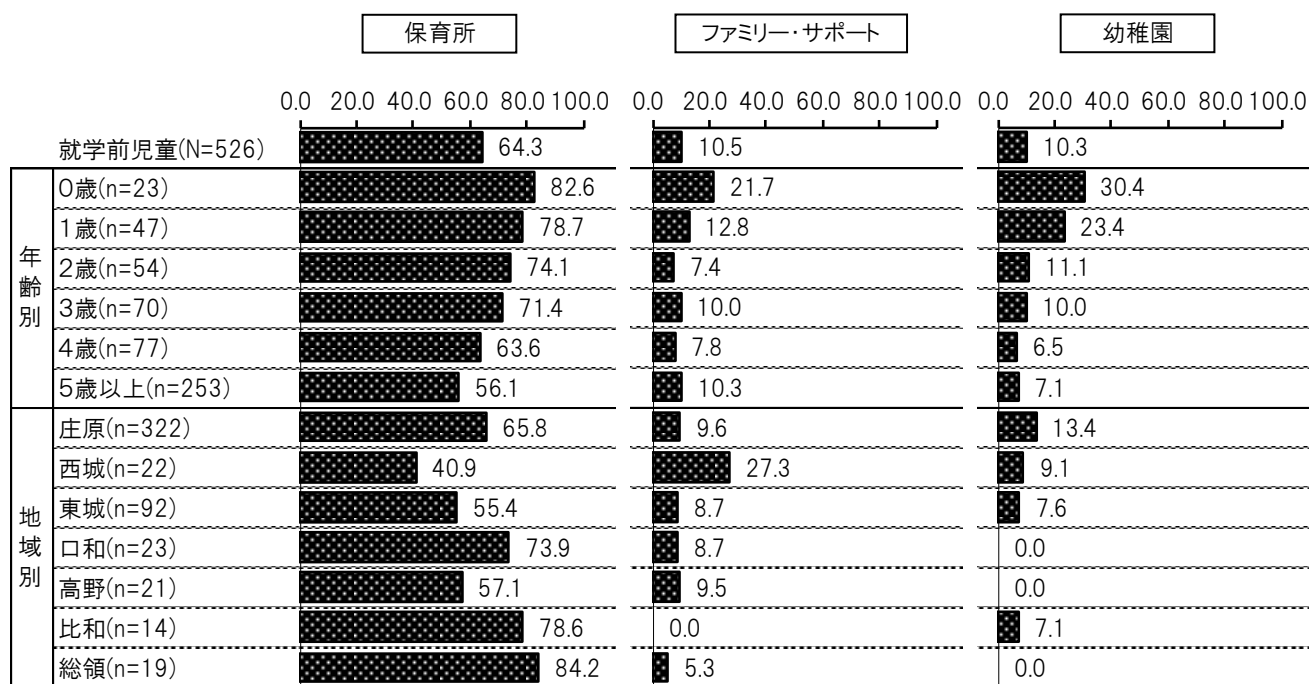
就問 19 現在、利用している、利用していないにかかわらず、今後、平日に定期的にご利用してみたい幼稚園や保育所等の施設やサービスをお答えください。
(あてはまるもの全てに○)

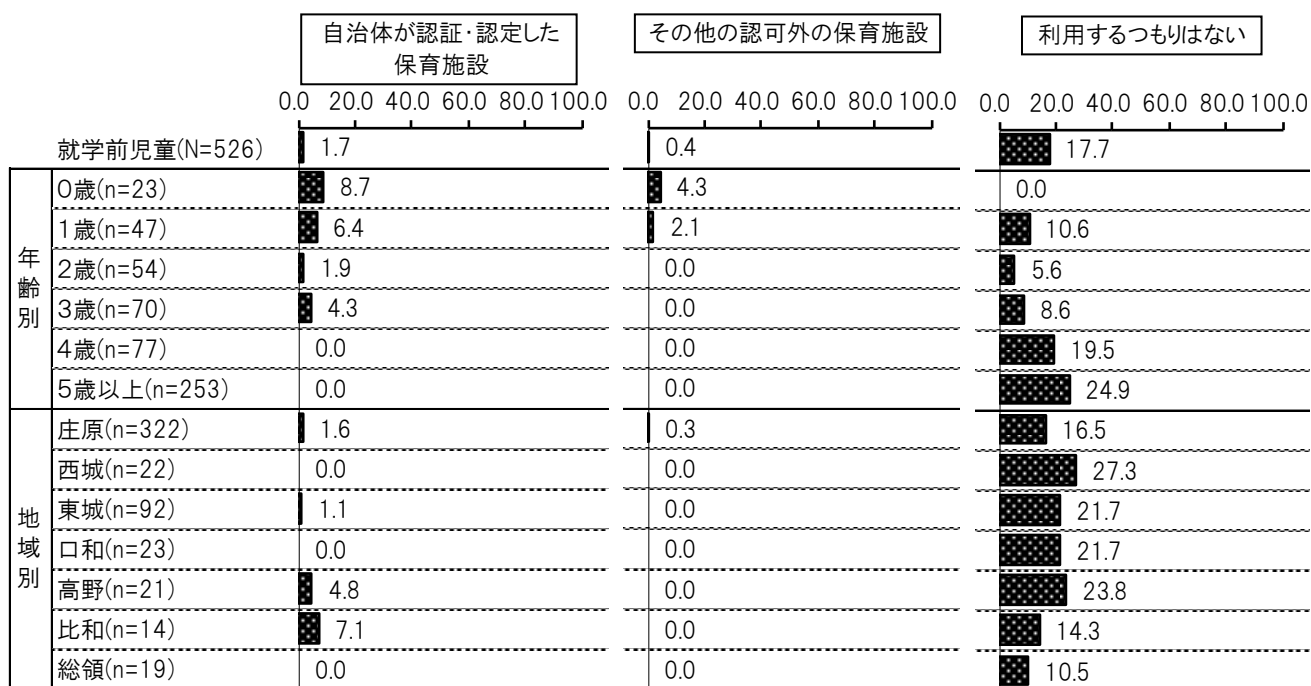
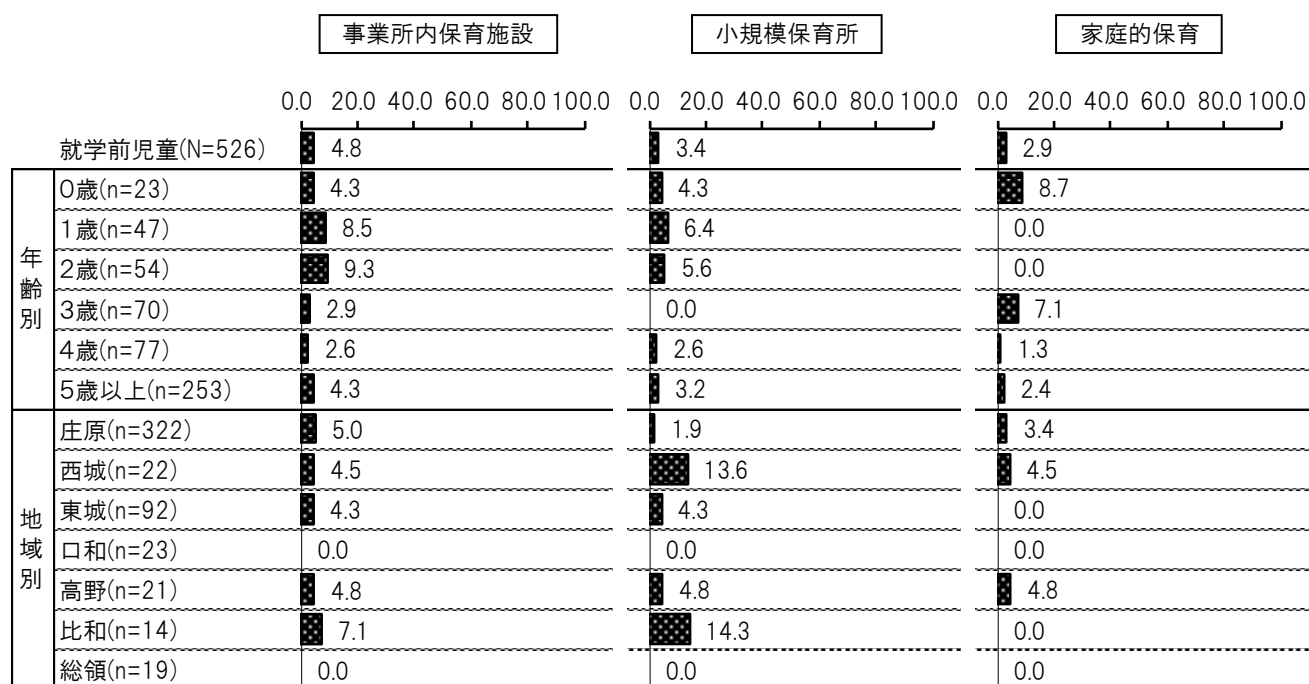
施設やサービスの今後の利用希望については、「保育所」の割合が 64.3%と最も高く、次いで「ファミリー・サポート」(10.5%)、「幼稚園」(10.3%)、「認定こども園」(8.7%)、「幼稚園の預かり保育」(8.2%)の順となっている。一方、「利用するつもりはない」は 17.7%となっている。



今後の利用希望を子どもの年齢別でみると、0歳で「ファミリー・サポート」「幼稚園」「認定こども園」などのニーズが高くなっている。また、「保育所」のニーズは、年齢が上がるほど低くなっている。

さらに、地域別でみると、口和や比和、総領で「保育所」、西城で「ファミリー・サポート」、東城や比和で「認定こども園」のニーズがそれぞれ他の地域に比べて高くなっている。





幼稚園や保育所等の利用状況別（就問 16）でみると、利用していない人の約 3 割（32.7%）が「幼稚園」と回答している。

単位（%）	保育所	ファミリー・サポート	幼稚園	認定こども園	幼稚園の預かり保育	居宅訪問型保育	事業所内保育施設	小規模保育所	家庭的保育	自治体が認証・認定した保育施設	その他の認可外の保育施設	利用するつもりはない
就学前児童(N=526)	64.3	10.5	10.3	8.7	8.2	5.3	4.8	3.4	2.9	1.7	0.4	17.7
【幼稚園や保育所等の利用状況別】												
利用している(n=468)	62.8	10.0	7.7	8.5	7.7	4.5	4.9	3.2	2.6	0.9	0.0	18.8
利用していない(n=55)	76.4	14.5	32.7	10.9	12.7	12.7	3.6	5.5	5.5	9.1	3.6	7.3

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計（年齢別など）において最も高い割合を示している。

但し、回答割合が 10%未満の項目及び「その他」については網掛けしていない。

また「無回答」は表記から省略している。（本報告書においては、以下同様）

5 18時30分以降の延長利用希望

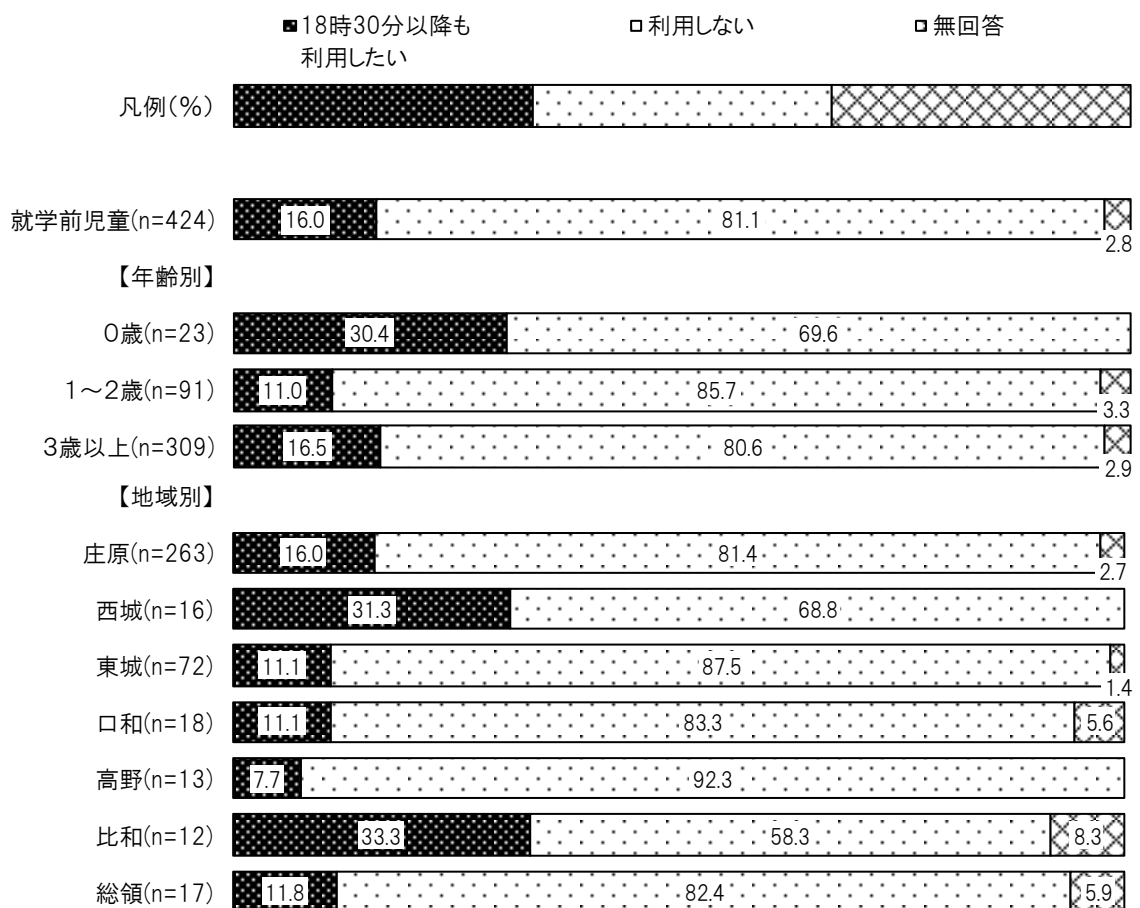
【施設やサービスを今後利用してみたいと回答した方におたずねします。】

就問 20 今後、幼稚園や保育所等の施設やサービスを利用すると想定した場合、18時30分以降の延長利用を希望しますか。（○は1つ）

延長利用希望については、「18時30分以降も利用したい」が16.0%、「利用しない」が81.1%となっている。

年齢別では、0歳で「18時30分以降も利用したい」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

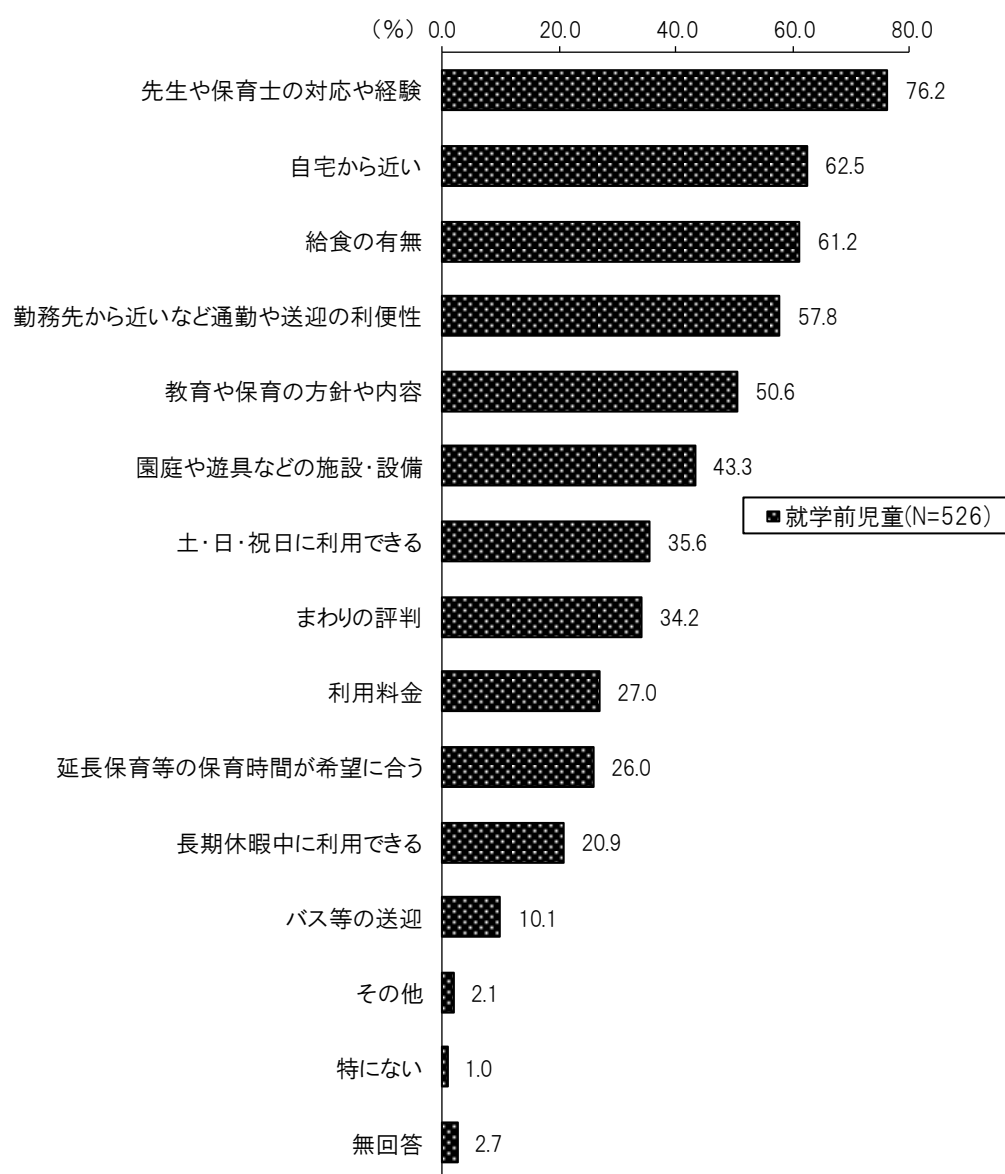
地域別では、西城や比和で「18時30分以降も利用したい」の割合が他の地域を大きく上回っている。



6 施設やサービスを利用する際に重視すること

就問 21 今後、幼稚園や保育所等の施設やサービスを利用すると想定した場合、あなたはどのような点を重視しますか。（あてはまるもの全てに○）

施設やサービスを利用する際に重視することについては、「先生や保育士の対応や経験」の割合が76.2%と最も高く、次いで「自宅から近い」(62.5%)、「給食の有無」(61.2%)、「勤務先から近いなど通勤や送迎の利便性」(57.8%)、「教育や保育の方針や内容」(50.6%)の順となっている。



【4】子育て支援センターの利用状況について

1 子育て支援センターの利用状況

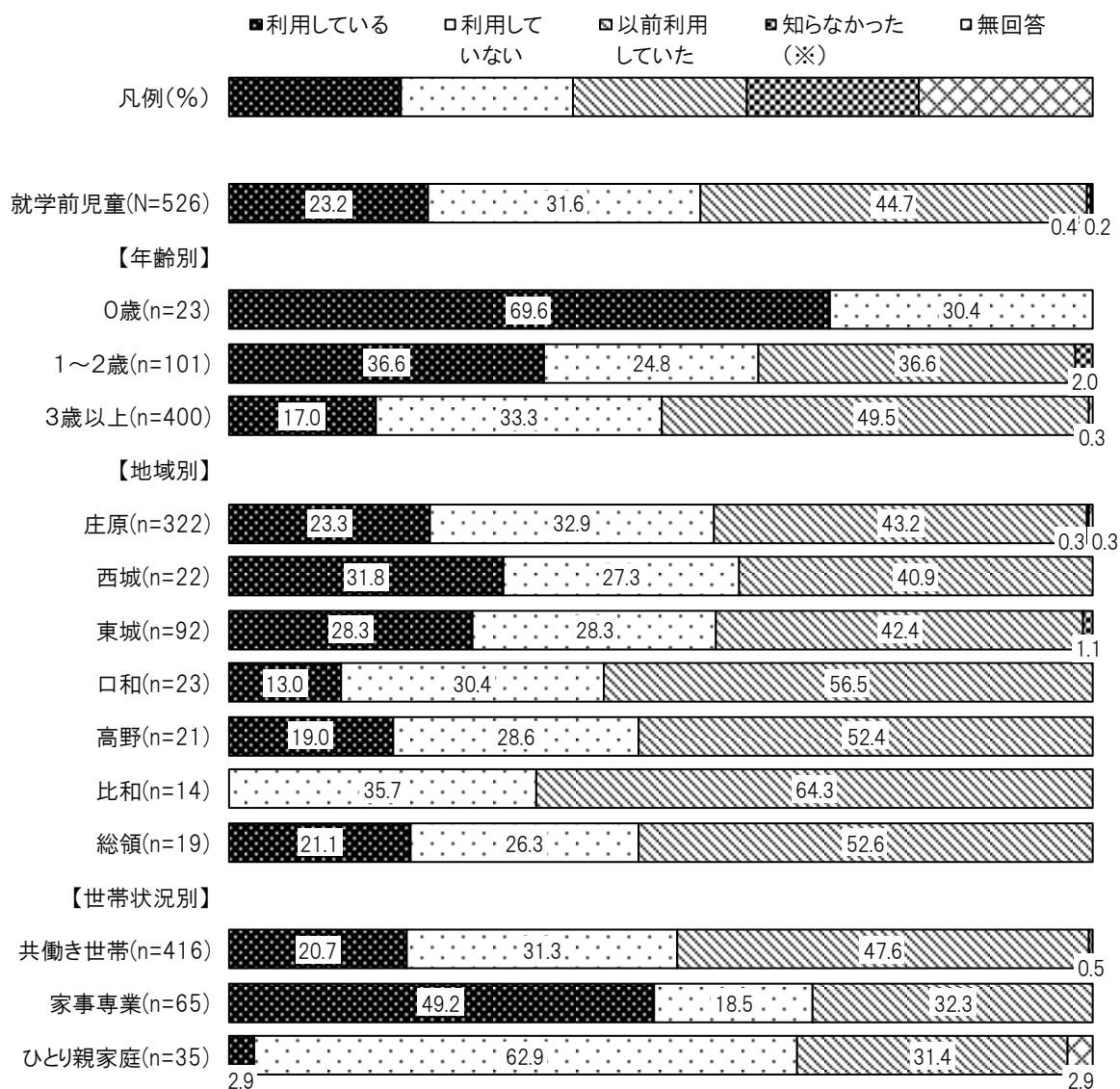
就問 22 あなたは「子育て支援センター」を利用していますか。（○は1つ）

子育て支援センターの利用状況については、「利用している」が23.2%、「利用していない」が31.6%、「以前利用していた」が44.7%となっている。

年齢別では、0歳で「利用している」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

地域別では、西城や東城で「利用している」、比和で「以前利用していた」の割合がそれぞれ他の地域に比べて高くなっている。

世帯状況別では、家事専業で「利用している」、ひとり親家庭で「利用していない」の割合がそれぞれ他の層を大きく上回っている。



※子育て支援センターがあることを知らなかった

注：世帯状況別の「家事専業」とは、父母のどちらかが「以前は働いていたが現在は働いていない」「これまで働いたことがない」の回答者（以下同様）

2 子育て支援センターの利用希望

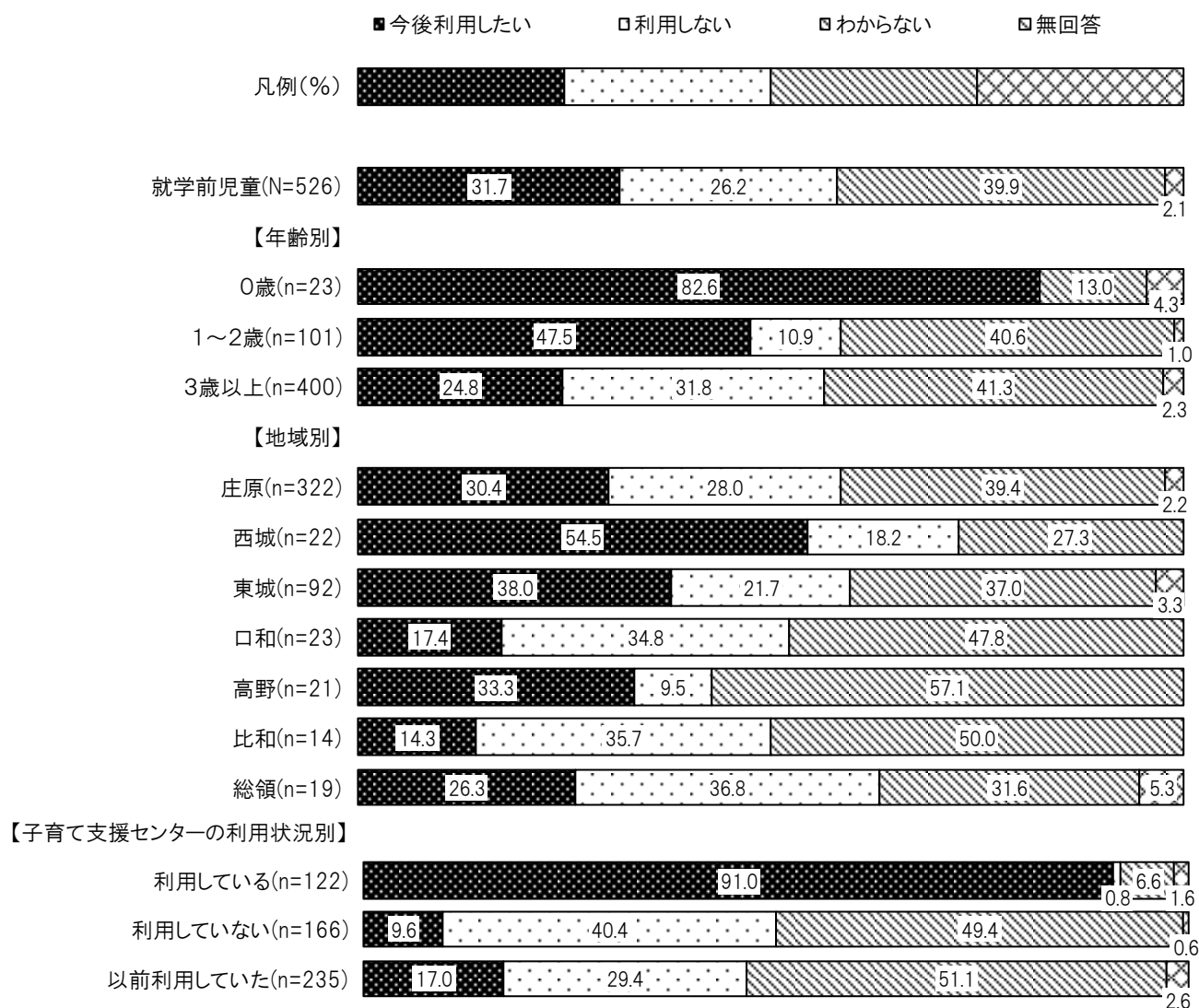
就問 23 今後「子育て支援センター」を利用してみたいと思いますか。（○は1つ）

子育て支援センターの利用希望については、「今後利用したい」が31.7%、「利用しない」が26.2%、「わからない」が39.9%となっている。

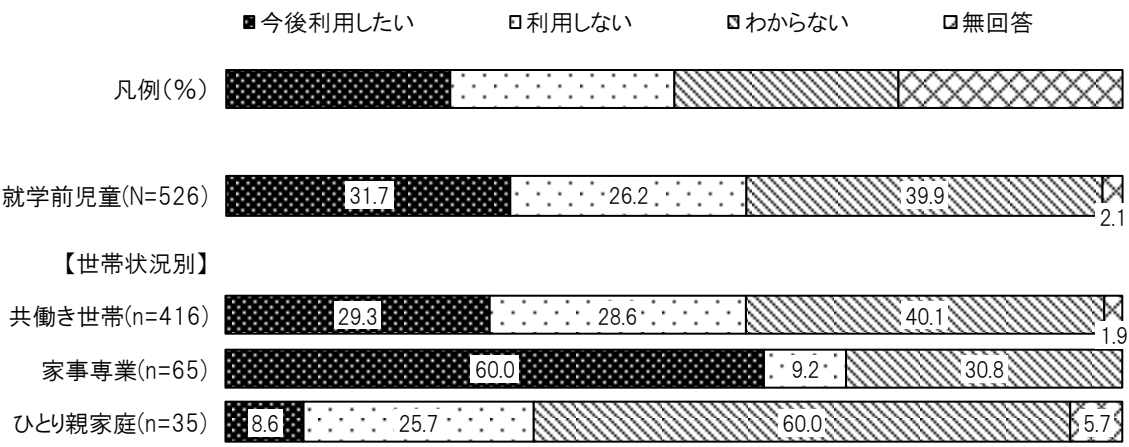
年齢別では、0歳で「今後利用したい」、3歳以上で「利用しない」の割合がそれぞれ他の年齢層を大きく上回っている。

地域別では、西城で「今後利用したい」、高野で「わからない」の割合がそれぞれ他の地域に比べて高くなっている。

子育て支援センターの利用状況別（就問 22）でみると、利用していない人の約半数が「わからない」と回答している。



世帯状況別では、ひとり親家庭の6割が「わからない」と回答している。



【利用希望回数】

単位(回)	月に何回程度			
	件数(n=)	平均	最小値	最大値
今後利用したい	149	3.7	1.0	30.0

【5】土・日・祝日や長期休暇中の保育所などの利用希望について

1 土・日・祝日の施設やサービスの利用希望

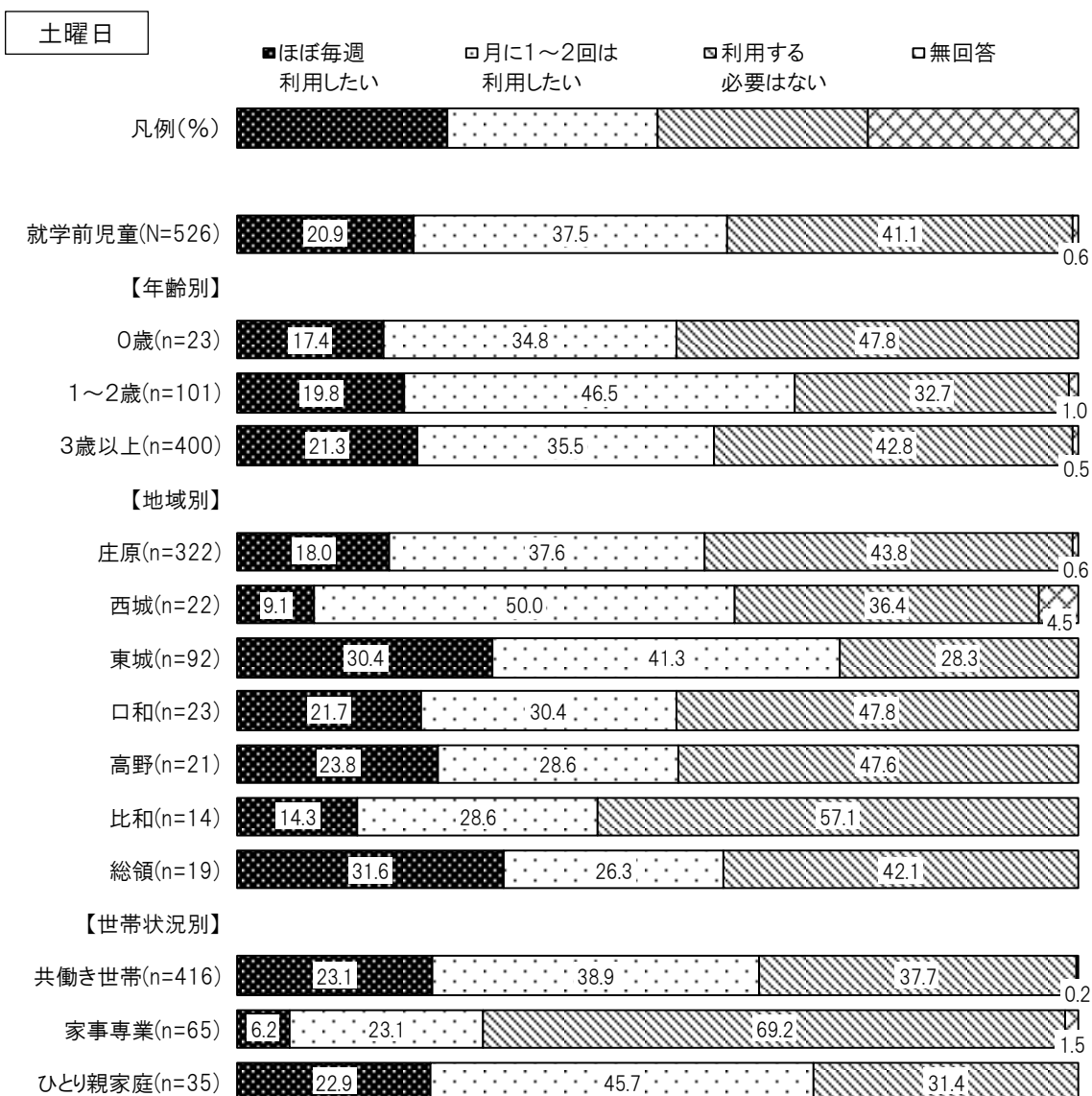
就問 24 土・日・祝日に、保育所や幼稚園等の施設やサービスの利用希望はありますか。
(○は1つつ)

土曜日の利用希望については、「ほぼ毎週利用したい」が20.9%、「月に1～2回は利用したい」が37.5%、合計で58.4%が『利用したい』と回答している。一方、約4割(41.1%)は「利用する必要はない」と回答している。

年齢別では、1～2歳で「月に1～2回は利用したい」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

地域別では、東城や総領で「ほぼ毎週利用したい」、西城で「月に1～2回は利用したい」、比和で「利用する必要はない」の割合がそれぞれ他の地域に比べて高くなっている。

世帯状況別では、家事専業で「利用する必要はない」の割合が他の層を大きく上回っている。



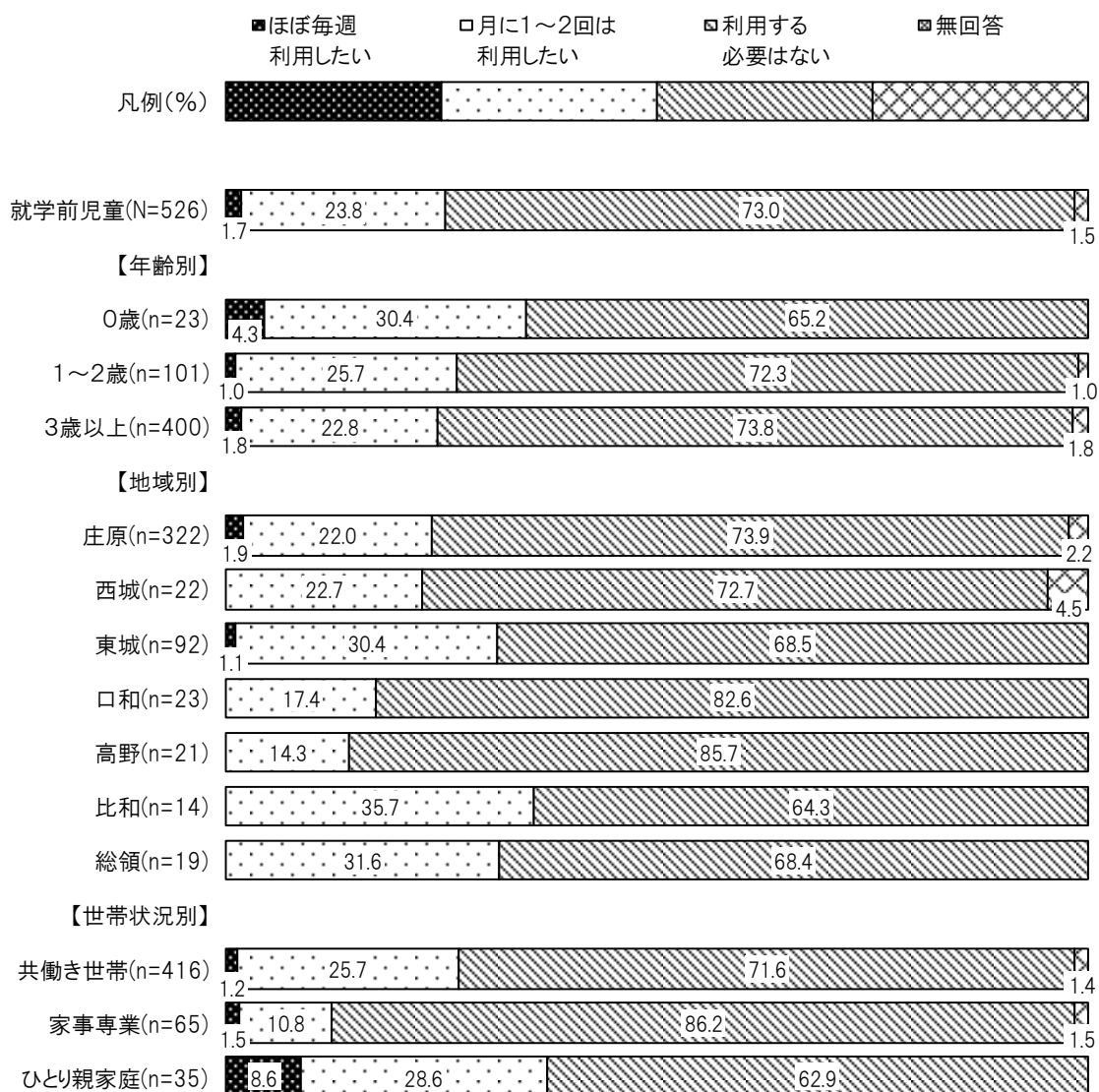
日曜日・祝日の利用希望については、「ほぼ毎週利用したい」が1.7%、「月に1～2回は利用したい」が23.8%、合計で25.5%が『利用したい』と回答している。一方、「利用する必要はない」は73.0%となっている。

年齢別では、0歳で「月に1～2回は利用したい」の割合が他の年齢層に比べてやや高くなっている。

地域別では、東城や比和、総領で「月に1～2回は利用したい」の割合が他の地域に比べて高くなっている。

世帯状況別では、家事専業で「利用する必要はない」の割合が他の層を大きく上回っている。

日曜日・祝日

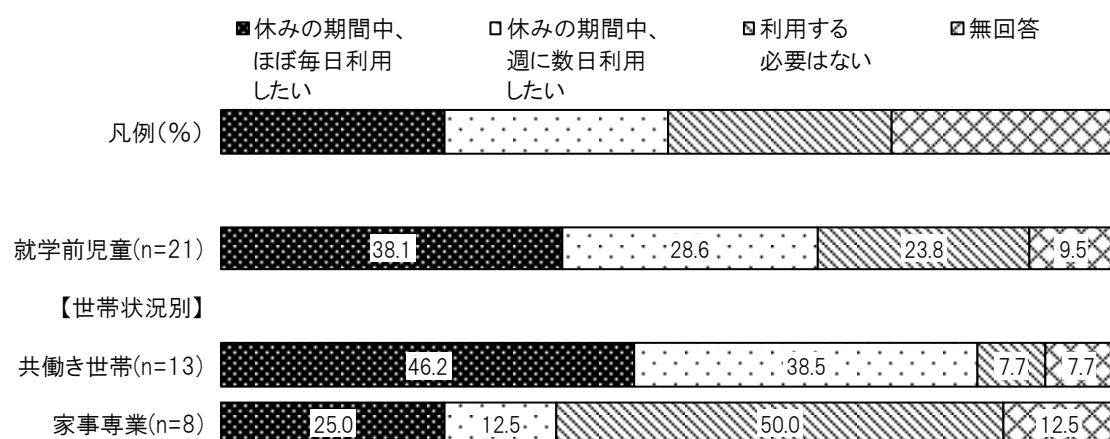


2 長期休暇中の施設やサービスの利用希望

【現在「幼稚園」を利用している方におうかがいします。】

就問 25 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に、保育所や幼稚園等の施設やサービスを利用したいと思いますか。（○は1つ）

幼稚園利用者における長期休暇中の施設やサービスの利用希望については、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が38.1%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が28.6%、合計で6割以上（66.7%）が『利用したい』と回答している。



注1：世帯状況別については、件数（n）が少ないため参考値として参照

注2：世帯状況別について、ひとり親家庭の該当者はいない。

【6】病気のときの対応について

1 病気やけがのときの対応について

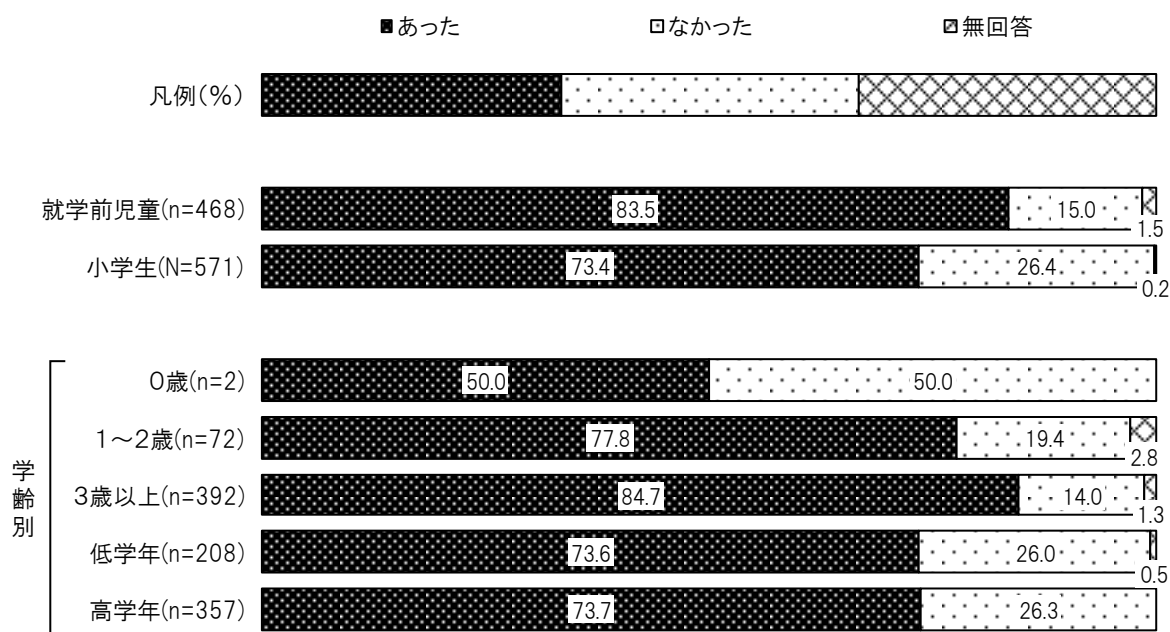
【保育所や幼稚園等の施設やサービスを利用している方におたずねします。】

就問 26 最近1年間に、お子さんが病気やけがで保育所や幼稚園などを利用できなかったことがありますか。（○は1つ）

小問 16 最近1年間に、お子さんが病気やけがで学校等に通学できなかったことがありますか。（○は1つ）

病気やけがで保育所や幼稚園、学校等に通学できなかった割合は、就学前児童で83.5%、小学生で73.4%となっている。

学齢別では、3歳以上で「あった」の割合が他の層に比べて高くなっている。



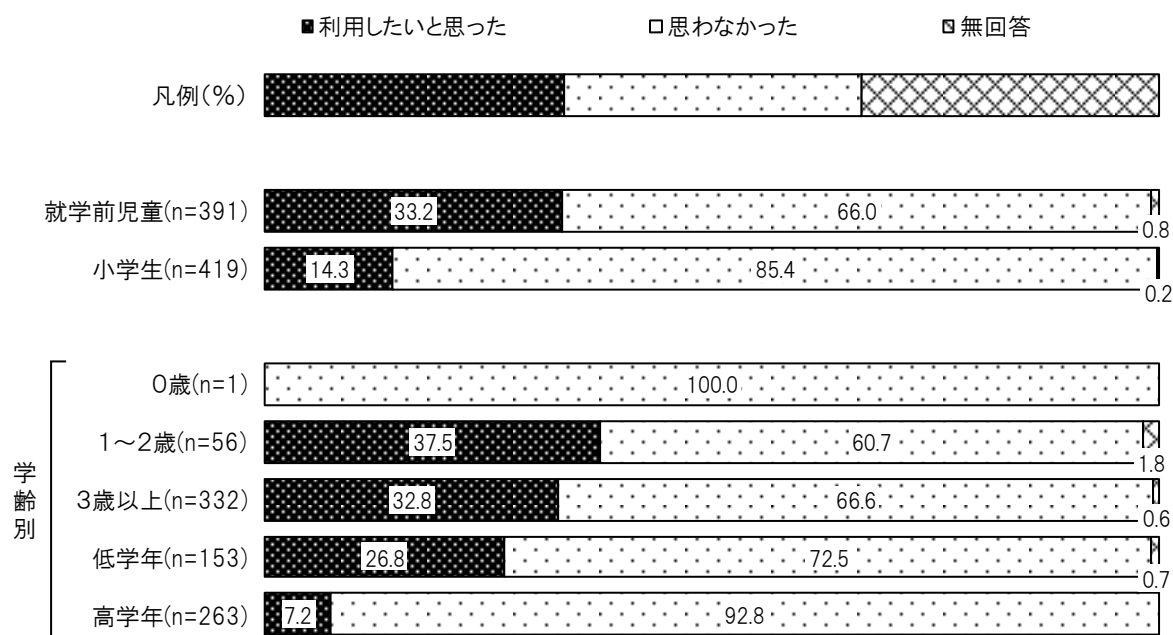
注：0歳については、件数（n）が少ないため参考値として参照

2 病児・病後児のための保育施設等の利用希望

【保育所や幼稚園、学校等に通学できなかったことがあったと回答した方におたずねします。】
 就問 27（小問 17） そのとき「病児・病後児のための保育施設等（本市には「わらべ保育室」「小奴可病後児保育室」があります。）」を利用したいと思いましたが。
 （○は1つ）

病児・病後児のための保育施設等を「利用したいと思った」割合は、就学前児童で 33.2%、小学生で 14.3%となっている。

学齢別では、年齢が低くなるほど「利用したいと思った」の割合が高くなっている。



注：0歳については、件数（n）が少ないため参考値として参照

【利用希望日数】

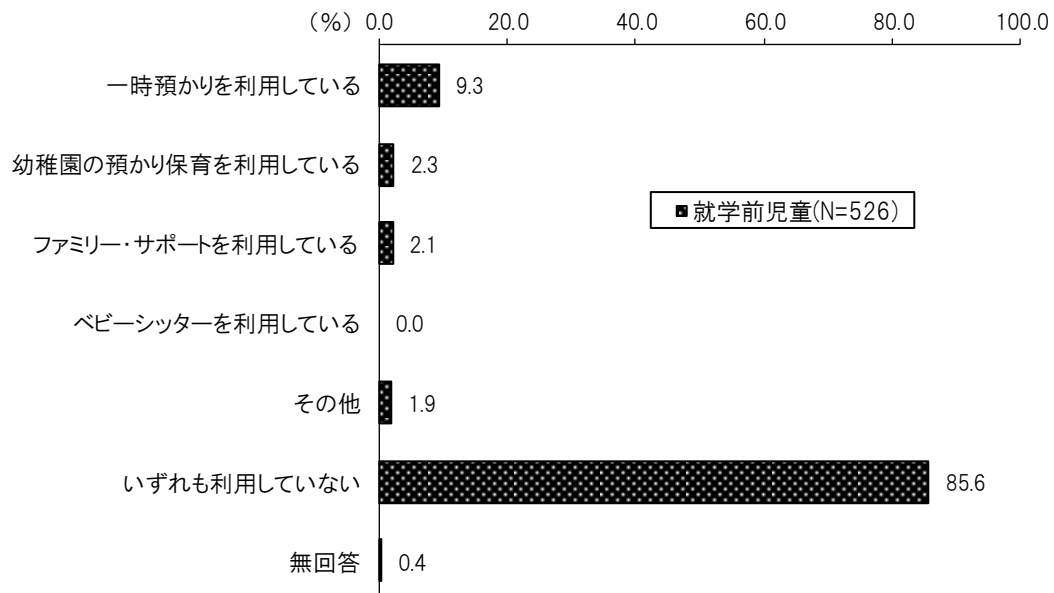
単位(日)		年に何日程度			
		件数(n=)	平均	最小値	最大値
利用したいと思った	就学前児童	114	7.9	1.0	150.0
	小学生	49	6.2	1.0	50.0

【7】一時預かりなどについて

1 一時預かりなどの利用状況

就問 28 最近1年間に、保護者の私用や通院、突発的な仕事や冠婚葬祭などの理由で、お子さんを一時的にどこかに預けなければならない場合、一時的に預かってもらえる保育などを利用していますか。（あてはまるもの全てに○）

保護者の私用や通院、突発的な仕事や冠婚葬祭などの理由で、子どもを一時的に預けなければならない場合、「一時預かりを利用している」割合が9.3%、「幼稚園の預かり保育を利用している」が2.3%となっているが、大半（85.6%）が「いずれも利用していない」と回答している。



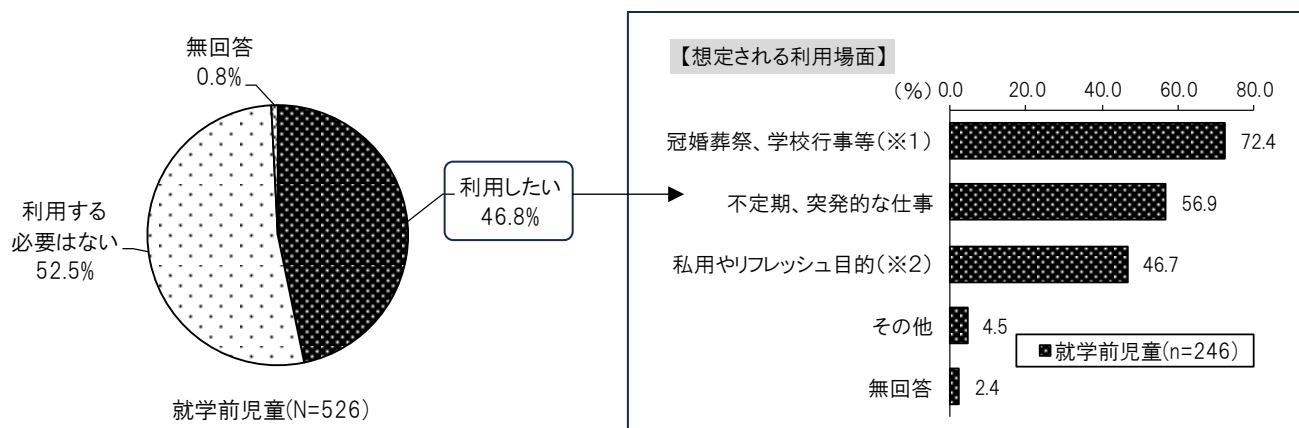
2 一時預かりなどの事業の利用希望

就問 29 今後、お子さんを一時的に預かってもらえる事業を利用したいと思いますか。
(○は1つ)

【一時預かり保育等の事業を利用したいと回答した方におたずねします。】

就問 30 一時預かり保育等の事業の利用には、どのような場面が想定されますか。また、そのときの日数は、合計で年間何日くらいと想定されますか。
(あてはまるもの全てに○)

一時預かりなどの事業の利用希望は半数近く（46.8%）みられ、想定される利用場面としては「冠婚葬祭、学校行事、子どもや保護者の通院等」の割合が72.4%と最も高く、次いで「不定期、突発的な仕事」（56.9%）、「私用（買物、子どもや親の習い事等）やりフレッシュ目的」（46.7%）の順となっている。



※1：冠婚葬祭、学校行事、子どもや保護者の通院等

※2：私用（買物、子どもや親の習い事等）やりフレッシュ目的

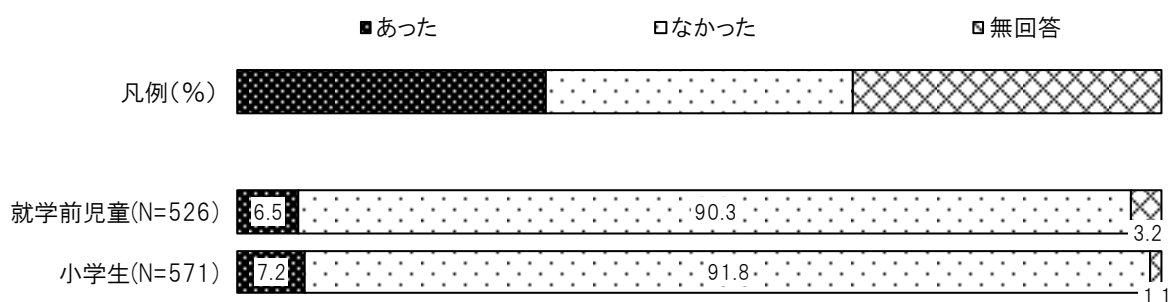
【利用想定日数】

単位(日)	年に何日程度			
	件数(n=)	平均	最小値	最大値
利用想定日数(合計)	207	8.2	1.0	150.0

3 宿泊を伴う預かりの有無

就問 31（小問 18） 最近 1 年間に、保護者の私用や通院、突発的な仕事や冠婚葬祭などの理由で、お子さんを「泊まりがけ」で家族以外の人にみてもらわなければならないことがありましたか。また、そのときの宿泊日数は、合計で年間何泊くらいでしたか。（○は 1 つ）

最近 1 年間に、保護者の私用や通院、突発的な仕事や冠婚葬祭などの理由で、「泊まりがけ」で家族以外の人にみてもらわなければならないことがあった割合は 1 割未満となっている。



【宿泊日数】

単位(泊)		年に何泊程度			
		件数(n=)	平均	最小値	最大値
あった	就学前児童	33	4.9	1.0	31.0
	小学生	38	4.3	1.0	30.0

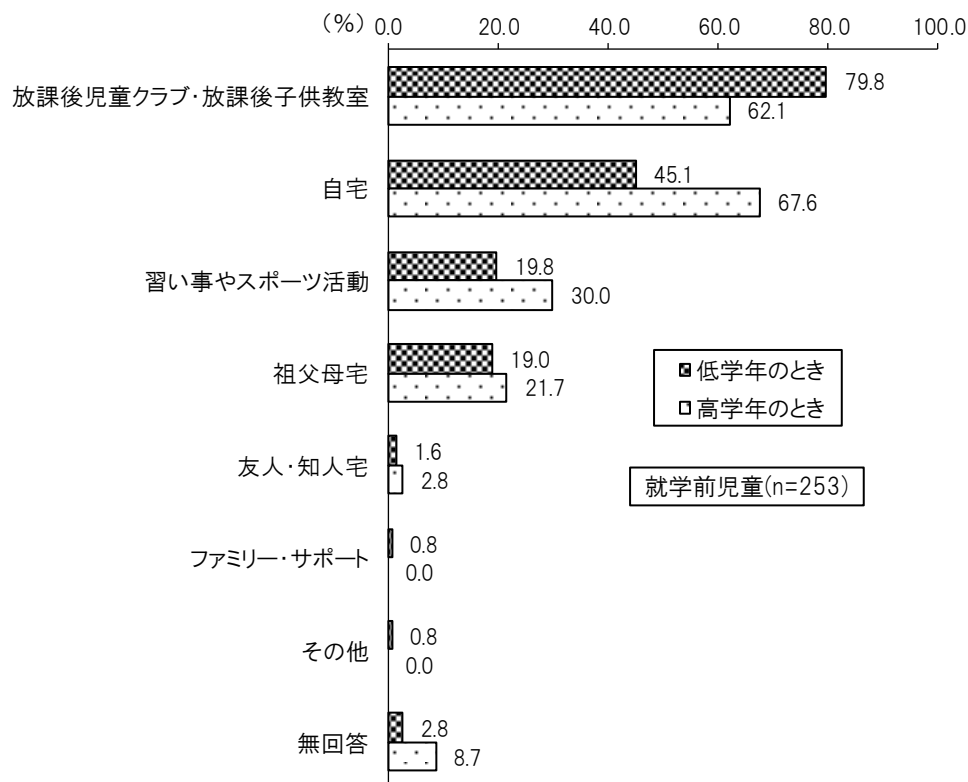
【8】就学前児童の小学校入学後の放課後の過ごし方について

1 小学校入学後に希望する放課後の過ごし方

【現在、お子さんの年齢が5歳以上の方におたずねします。】

就問 32 お子さんの小学校への入学後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年（1～3年生）と高学年（4～6年生）の場合に分けてお答えください。（あてはまるもの全てに○）

放課後の過ごし方について、低学年（1～3年生）では「放課後児童クラブ・放課後子供教室」の割合が79.8%と最も高く、次いで「自宅」（45.1%）が続いているが、高学年（4～6年生）になると、「自宅」や「習い事やスポーツ活動」の割合が高くなっている。



【9】放課後児童クラブ・放課後子供教室について

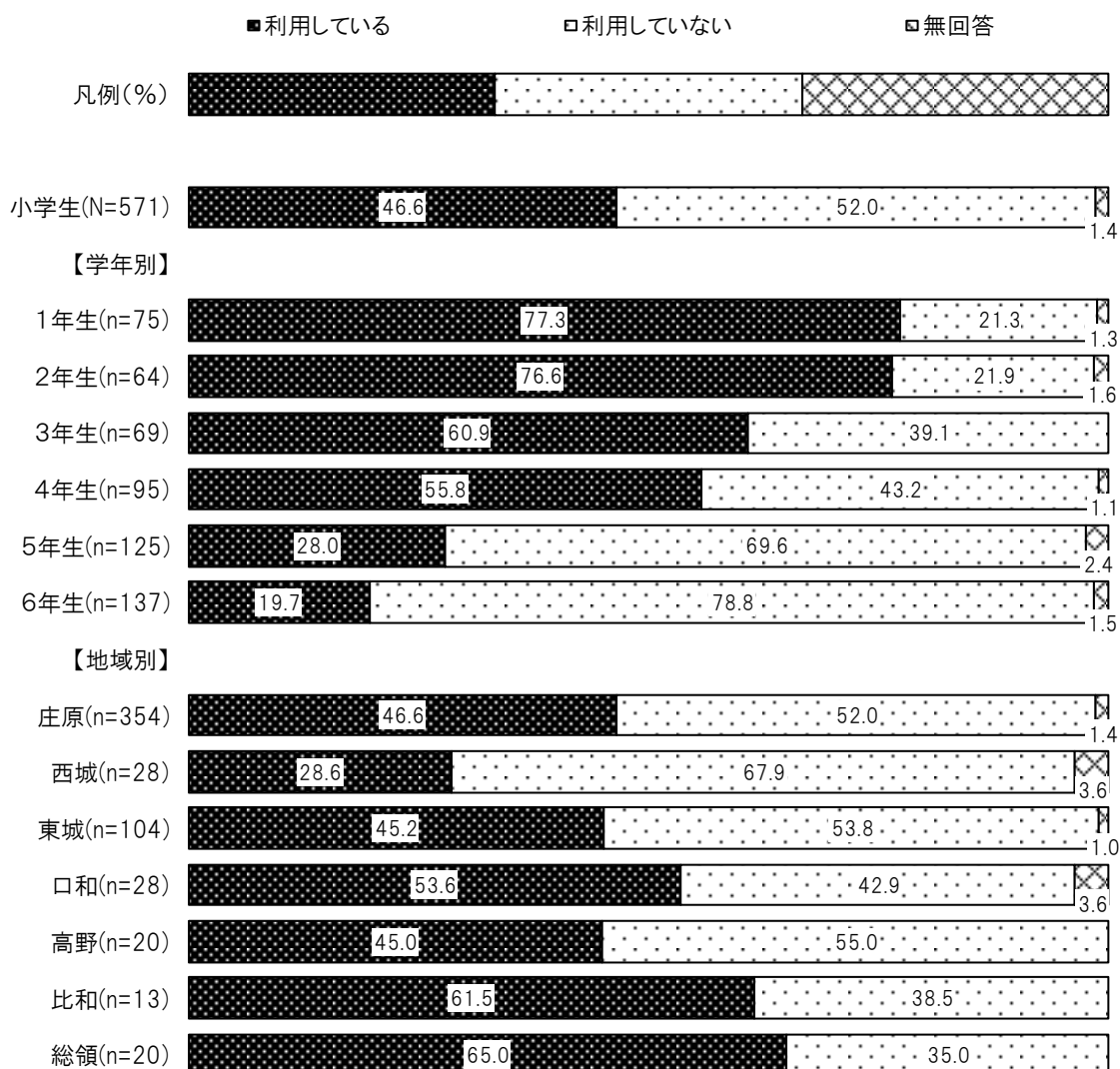
1 放課後児童クラブ・放課後子供教室の利用有無

小問 19 お子さんは、現在、放課後児童クラブ・放課後子供教室を利用していますか。
(○は1つ)

放課後児童クラブ・放課後子供教室の利用については、「利用している」が46.6%、「利用していない」が52.0%となっている。

学年別では、学年が低くなるほど「利用している」の割合が高くなっている。

地域別では、比和や総領で「利用している」の割合が他の地域に比べて高くなっている。

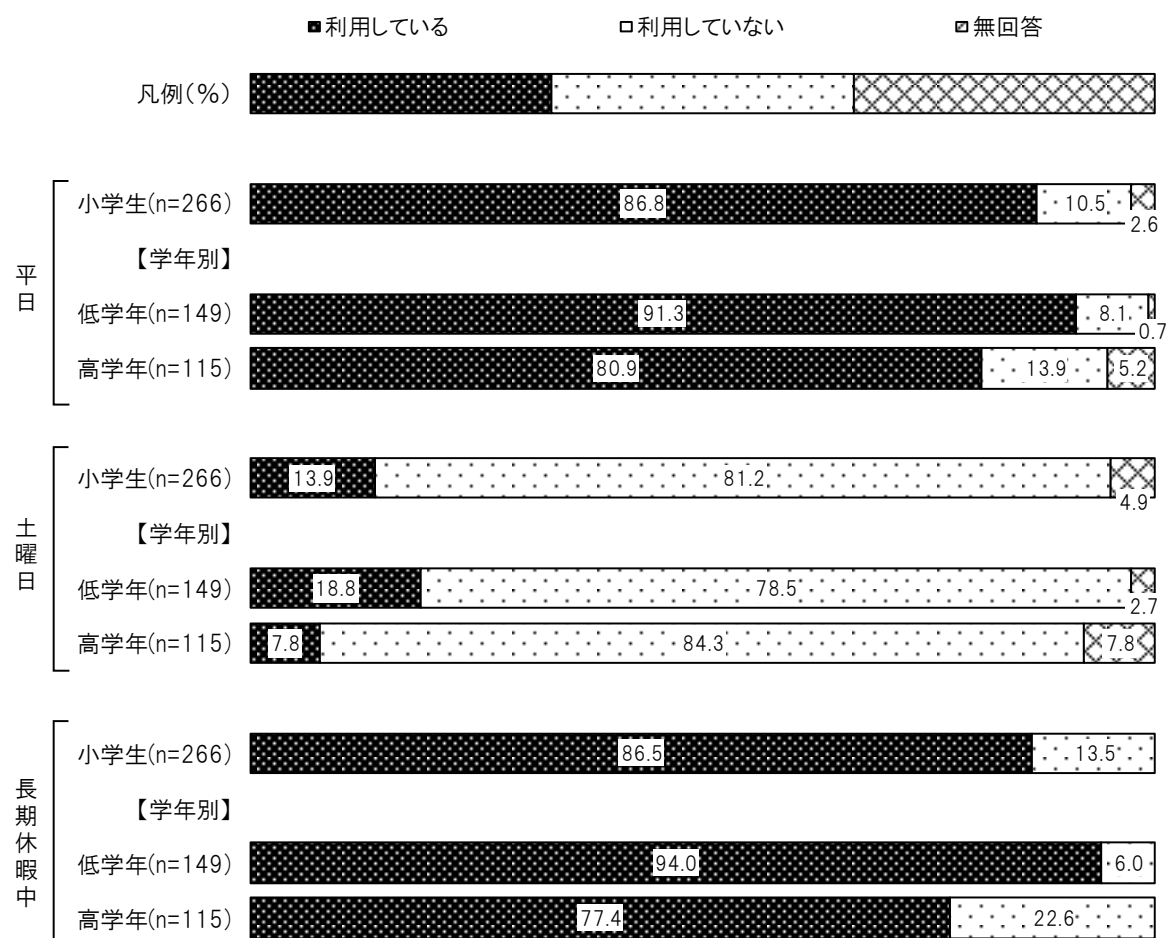


2 放課後児童クラブ・放課後子供教室の利用状況

【放課後児童クラブ・放課後子供教室を利用している方におたずねします。】

小問 20 お子さんは、平日、土曜日、夏休みなどの長期休暇中に放課後児童クラブ・放課後子供教室を利用していますか。（○は1つつ）

放課後児童クラブ・放課後子供教室の利用状況をみると、大半が平日及び長期休暇中に利用しており、土曜日の利用は13.9%となっている。



【利用日数・時間帯】

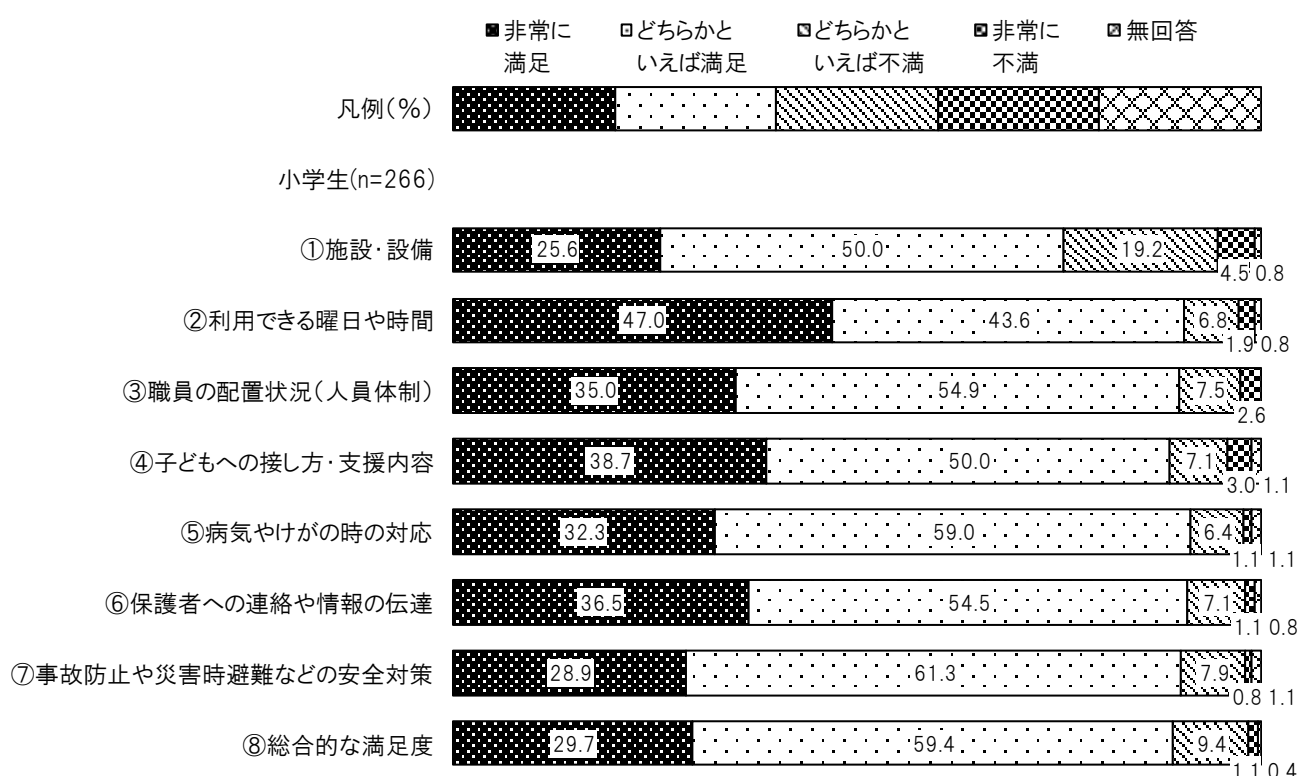
単位(日)	週(月)に何日程度				何時から	何時まで
	件数(n=)	平均	最小値	最大値		
平日の利用(週に)	228	4.1	1.0	6.0	下校時から	16時台 6.5% 17時台 49.4% 18時台 40.7%
土曜日の利用(月に)	37	2.2	1.0	5.0	7時台 13.5% 8時台 78.4% 9時台 5.4%	15時台 5.4% 16時台 10.8% 17時台 24.3% 18時台 51.4%
長期休暇中の利用(週に)	227	4.4	1.0	6.0	7時台 13.0% 8時台 75.2% 9時台 9.1%	16時台 10.9% 17時台 49.1% 18時台 36.1%

3 放課後児童クラブ・放課後子供教室に対する満足度

【放課後児童クラブ・放課後子供教室を利用している方におたずねします。】

小問 21 現在利用している放課後児童クラブ・放課後子供教室に対する満足度を、次にあげる項目ごとにお答えください。（○は1つつ）

現在利用している放課後児童クラブ・放課後子供教室に対する満足度をみると、いずれの項目も一定の満足度が得られているが、特に「②利用できる曜日や時間」については「非常に満足」が半数近く（47.0%）を占め高くなっている。一方、「①施設・設備」については不満の割合（「不満」の合計）が23.7%と、他の項目に比べて高くなっている。

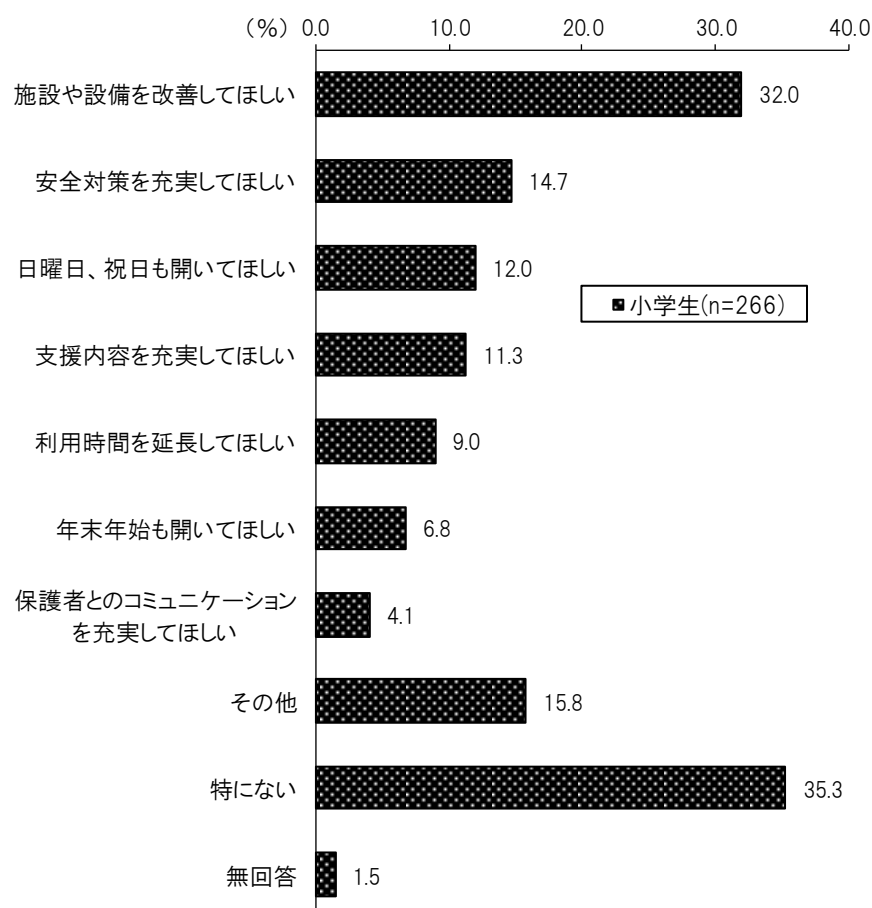


4 放課後児童クラブ・放課後子供教室への要望

【放課後児童クラブ・放課後子供教室を利用している方におたずねします。】

小問 22 現在利用している放課後児童クラブ・放課後子供教室に対して、どのようなことを充実してほしいと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

放課後児童クラブ・放課後子供教室への要望については、「施設や設備を改善してほしい」の割合が32.0%と最も高く、次いで「安全対策を充実してほしい」（14.7%）、「日曜日、祝日も開いてほしい」（12.0%）、「支援内容を充実してほしい」（11.3%）の順となっている。また「その他」では、「土曜日も開いてほしい」「小学校と連携をとってほしい」「グラウンドを使えるようにしてほしい」などの回答がみられた。



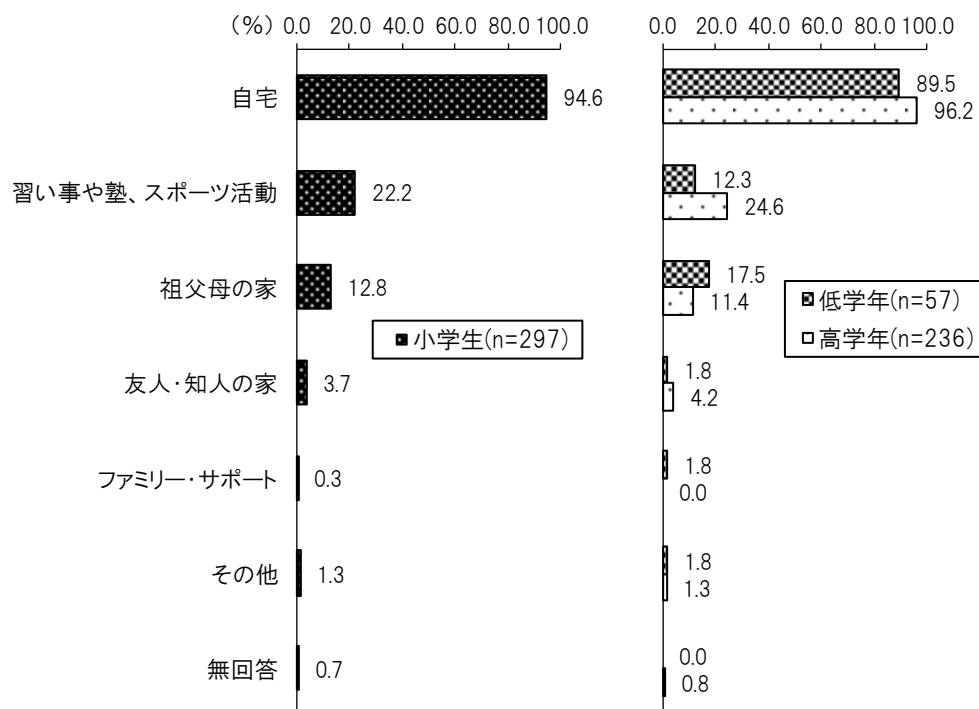
5 小学校終了後（放課後）の時間を過ごす場所

【放課後児童クラブ・放課後子供教室を利用していない方におたずねします。】

小問 23 お子さんは、現在、平日の小学校終了後（放課後）の時間を、どのような場所で過ごしていますか。（あてはまるもの全てに○）

放課後児童クラブ・放課後子供教室を利用していない子どもにおいて、小学校終了後（放課後）の時間を過ごす場所については、大半（94.6%）が「自宅」と回答しており、次いで「習い事や塾、スポーツ活動」（22.2%）、「祖父母の家」（12.8%）の順となっている。

学年別では、高学年で「習い事や塾、スポーツ活動」の割合が低学年を大きく上回っている。



6 放課後児童クラブ・放課後子供教室を利用していない理由

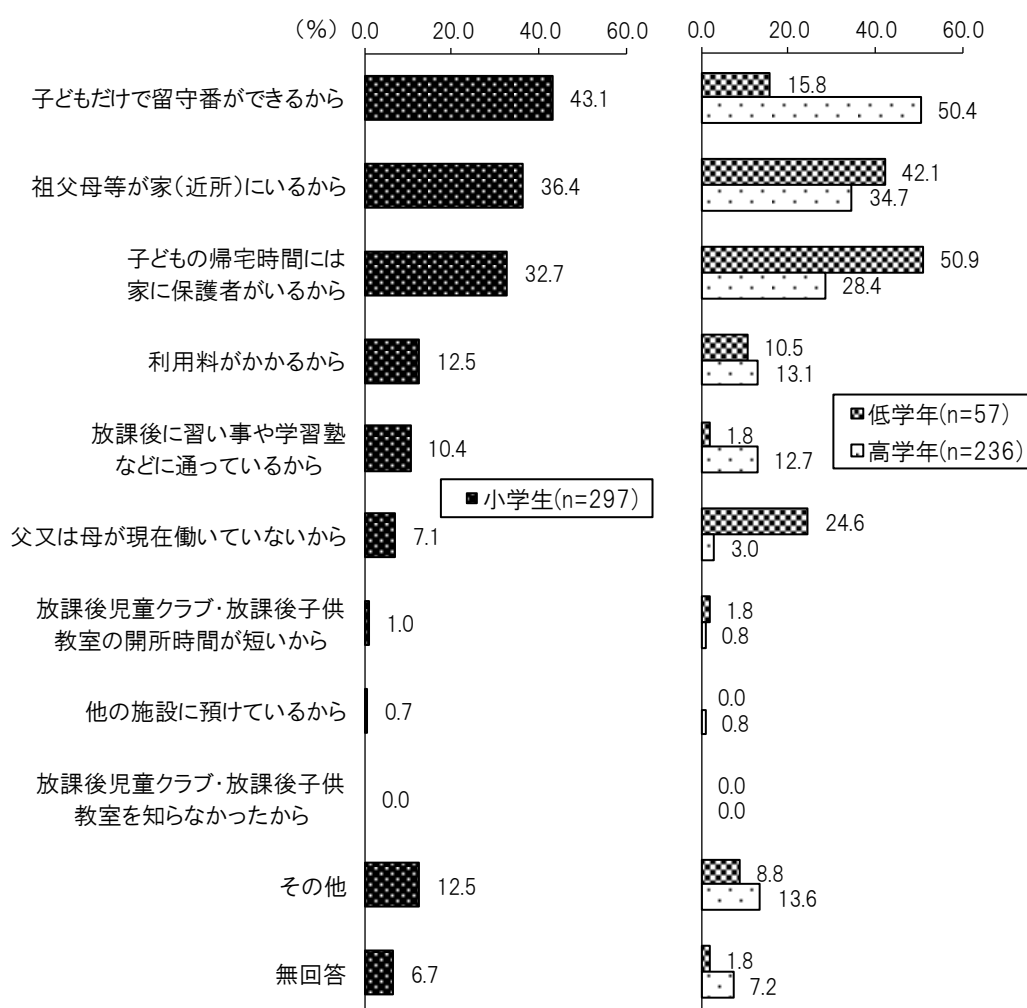
【放課後児童クラブ・放課後子供教室を利用していない方におたずねします。】

小問 24 現在、放課後児童クラブ・放課後子供教室を利用していない理由は何ですか。

(あてはまるもの全てに○)

放課後児童クラブ・放課後子供教室を利用していない理由については、「子どもだけで留守番ができるから」の割合が43.1%と最も高く、次いで「祖父母等が家(近所)にいるから」(36.4%)、「子どもの帰宅時間には家に保護者がいるから」(32.7%)、「利用料がかかるから」(12.5%)の順となっている。また「その他」では、「本人が行きたがらないから」「迎えに行かないといけないから」などの回答がみられた。

学年別では、低学年は「子どもの帰宅時間には家に保護者がいるから」「父又は母が現在働いていないから」の割合が高学年を大きく上回っており、高学年は低学年に比べ「子どもだけで留守番ができるから」「放課後に習い事や学習塾などに通っているから」の割合が高くなっている。



7 放課後児童クラブ・放課後子供教室の利用希望

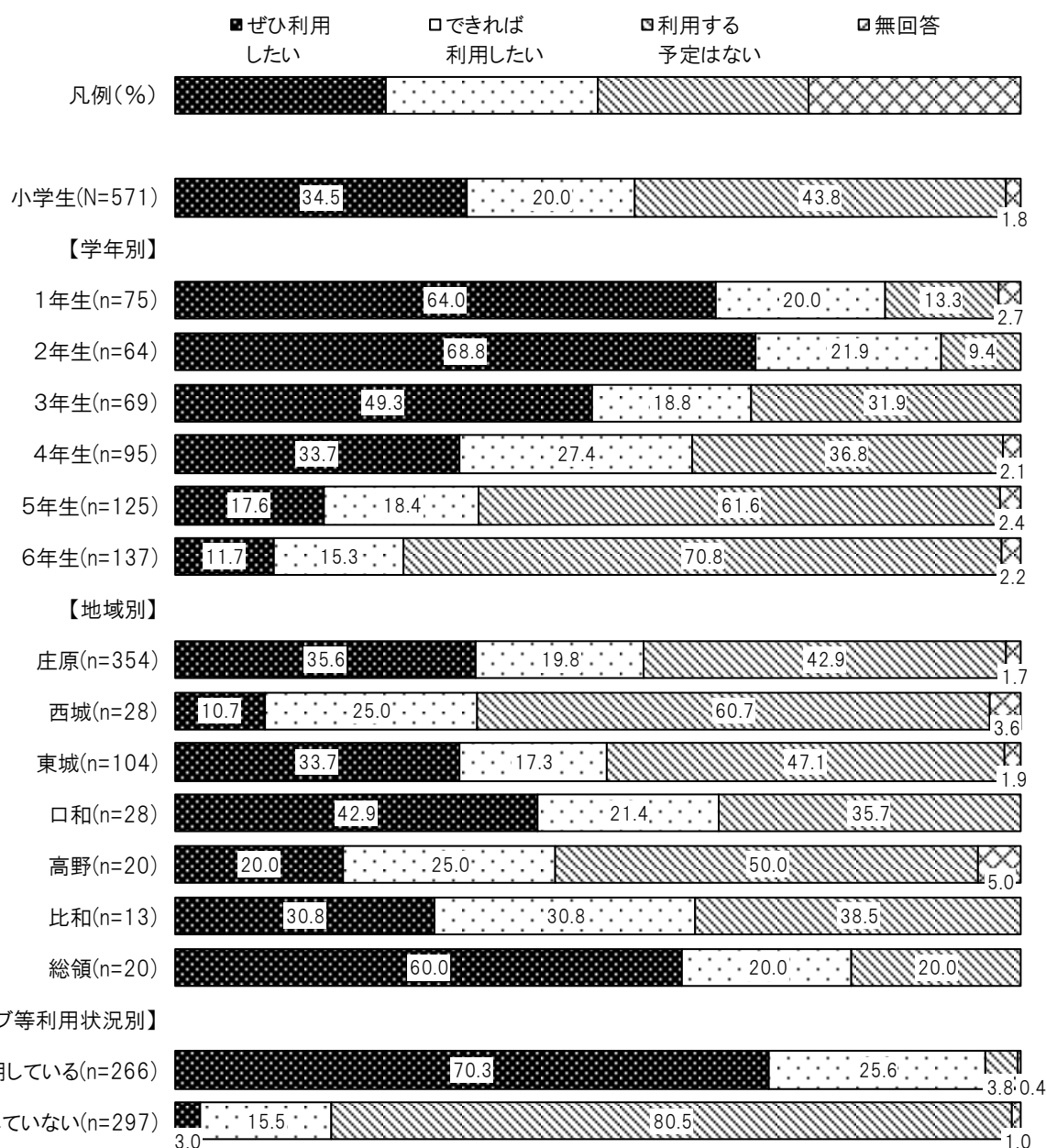
小問 25 お子さんについて、現在利用している、利用していないにかかわらず、今後、放課後児童クラブ・放課後子供教室を利用したいと思いますか。（○は1つ）

現在の利用にかかわらず、今後の放課後児童クラブ・放課後子供教室の利用希望については、「ぜひ利用したい」が34.5%、「できれば利用したい」が20.0%、合計で半数以上（54.5%）が利用希望を示している。

学年別では、2年生以下で『利用したい（合計）』が8割以上を占めている。

地域別では、総領で「ぜひ利用したい」の割合が他の地域を大きく上回っている。

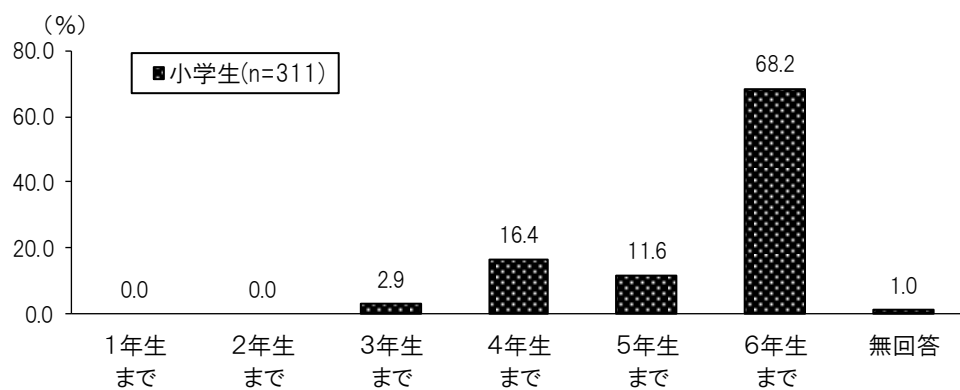
放課後児童クラブ等利用状況別（小問 19）でみると、現在利用していない人の約2割（18.5%）が『利用したい（合計）』と回答している。



8 放課後児童クラブ・放課後子供教室を利用したい学年

【放課後児童クラブ・放課後子供教室を利用したいと回答した方におたずねします。】
小問 26 放課後児童クラブ・放課後子供教室を何年生まで利用したいと思いますか。
(○は1つ)

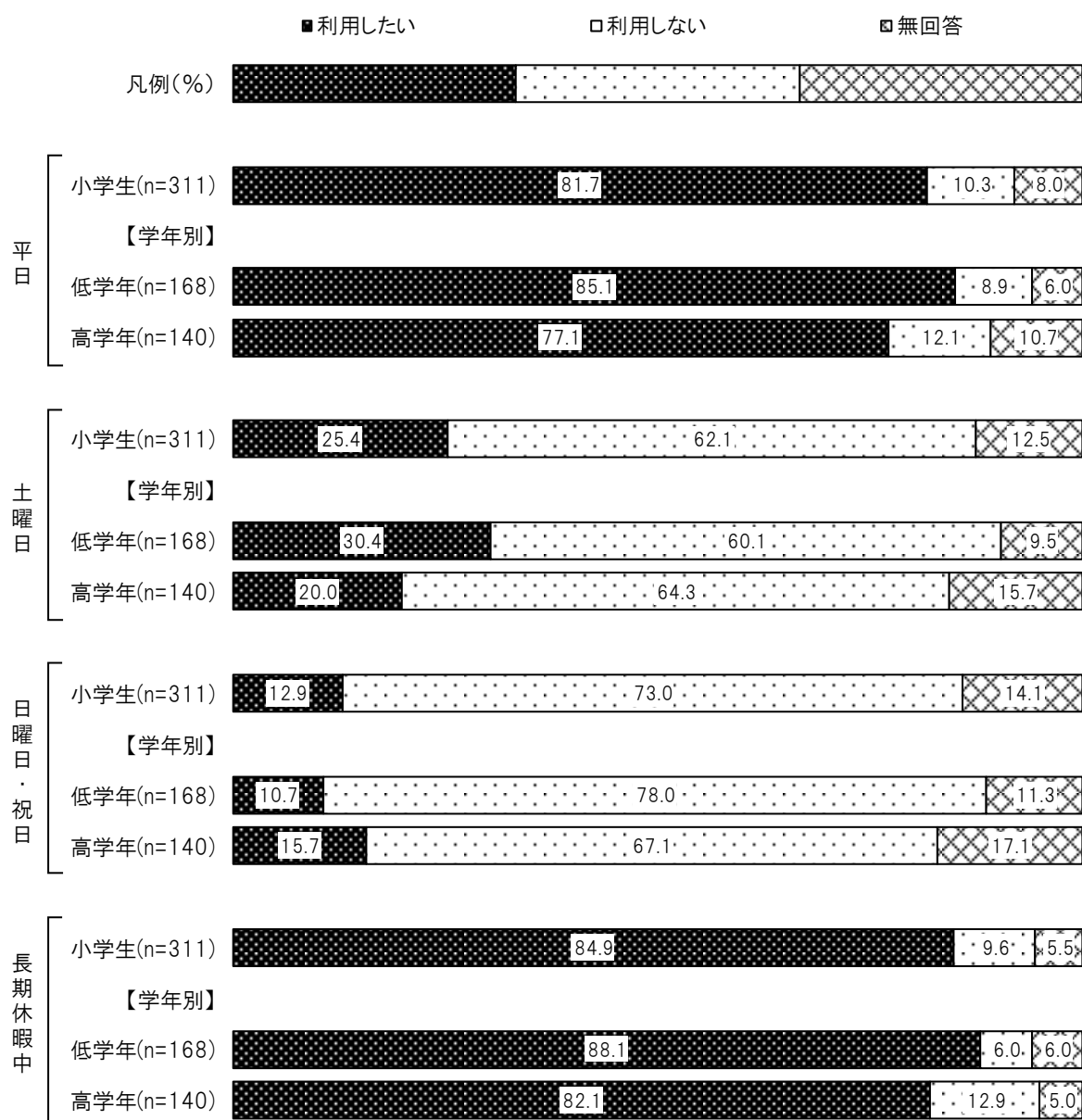
放課後児童クラブ・放課後子供教室を利用したい学年については、「6年生まで」の割合が68.2%と最も高く、次いで「4年生まで」(16.4%)、「5年生まで」(11.6%)の順となっている。



9 土・日・祝日や長期休暇中などの利用希望

【放課後児童クラブ・放課後子供教室を利用したいと回答した方におたずねします。】
 小問 27 今後の希望として、どの程度利用したいですか。（○は1つつつ）

土・日・祝日や長期休暇中などの利用希望については、大半が平日や長期休暇中の利用を希望しており、土曜日の希望は 25.4%、日曜日・祝日の希望は 12.9%となっている。



【利用希望日数・時間帯】

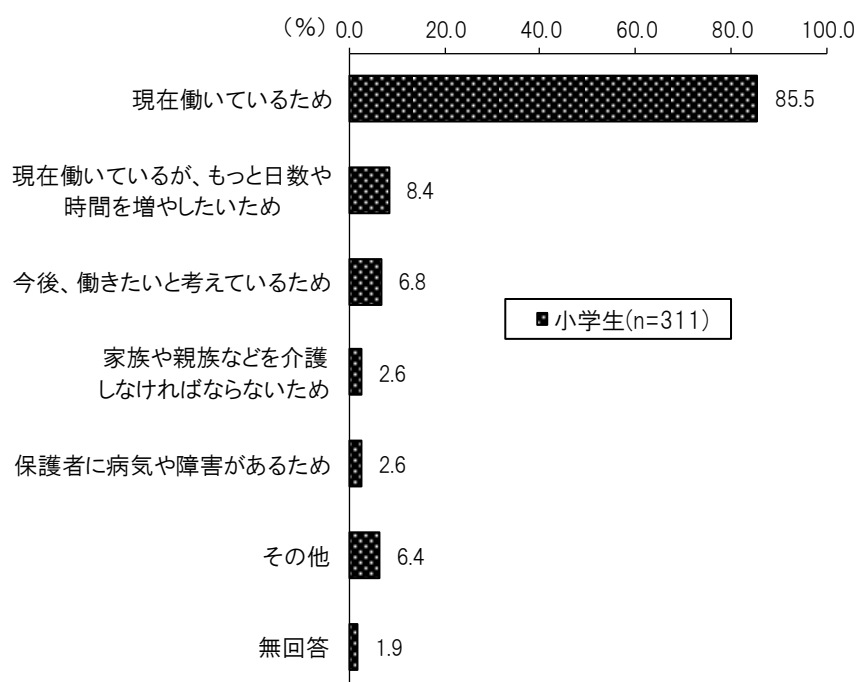
単位(日)	週(月)に何日程度				何時から	何時まで
	件数(n=)	平均	最小値	最大値		
平日の希望(週に)	249	4.3	1.0	6.0	下校時から	16 時台 4.3% 17 時台 38.2% 18 時台 49.2% 19 時台 4.3%
土曜日の希望(月に)	77	2.7	1.0	5.0	7時台 27.8% 8時台 59.5% 9時台 8.9%	17 時台 26.6% 18 時台 54.4% 19 時台 5.1%
日曜日・祝日の希望(月に)	36	1.9	1.0	4.0	7時台 27.5% 8時台 47.5% 9時台 17.5%	17 時台 25.0% 18 時台 50.0% 19 時台 10.0%
長期休暇中の希望(月に)	235	11.4	1.0	30.0	7時台 24.6% 8時台 59.1% 9時台 9.8%	16 時台 5.7% 17 時台 40.5% 18 時台 44.3% 19 時台 2.3%

10 放課後児童クラブ・放課後子供教室を利用したい理由

【放課後児童クラブ・放課後子供教室を利用したいと回答した方におたずねします。】

小問 28 今後、放課後児童クラブ・放課後子供教室を利用したいのは、どのような理由からですか。（あてはまるもの全てに○）

放課後児童クラブ・放課後子供教室を利用したい理由については、「現在働いているため」の割合が85.5%と突出して最も高く、次いで「現在働いているが、もっと日数や時間を増やしたいため」（8.4%）、「今後、働きたいと考えているため」（6.8%）の順となっている。



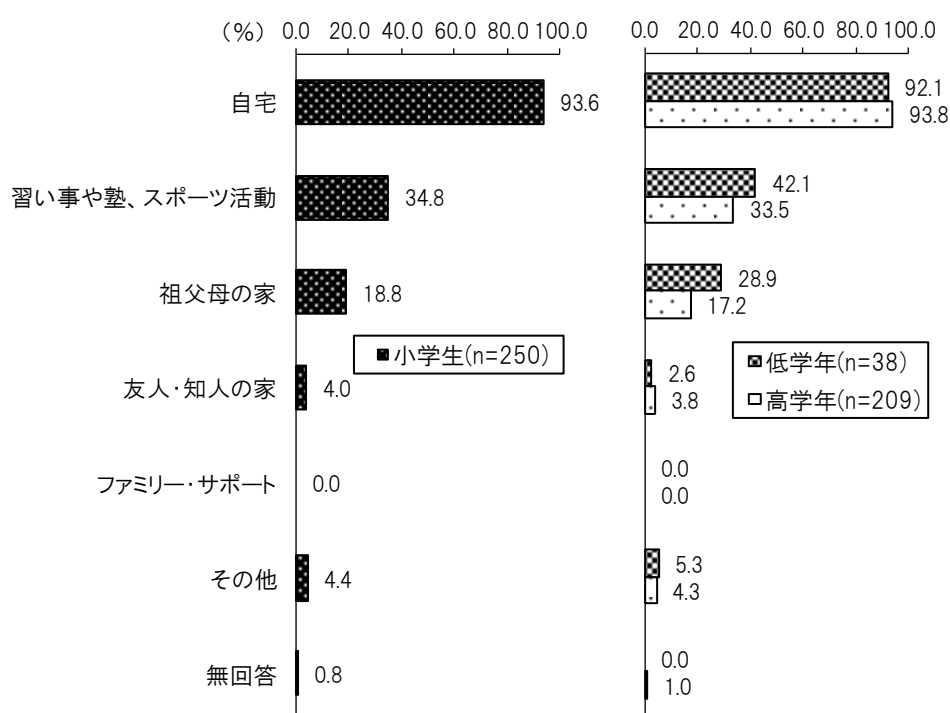
11 小学校終了後（放課後）の時間を過ごさせたい場所

【放課後児童クラブ・放課後子供教室を利用する予定はないと回答した方におたずねします。】

小問 29 平日の小学校終了後（放課後）の時間、お子さんをどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

放課後児童クラブ・放課後子供教室を利用しない場合に、小学校終了後（放課後）の時間を過ごさせたい場所については、大半（93.6%）が「自宅」と回答しており、次いで「習い事や塾、スポーツ活動」（34.8%）、「祖父母の家」（18.8%）の順となっている。

学年別では、低学年は高学年に比べ「習い事や塾、スポーツ活動」「祖父母の家」の割合が高くなっている。



【10】 育児休業について

1 育児休業取得状況

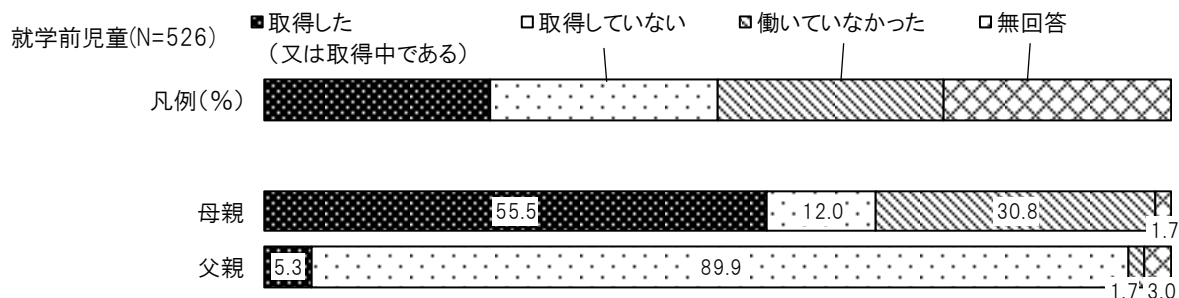
就問 33 宛名のお子さんが生まれたとき、母親は育児休業を取得しましたか。

就問 36 宛名のお子さんが生まれたとき、父親は育児休業を取得しましたか。

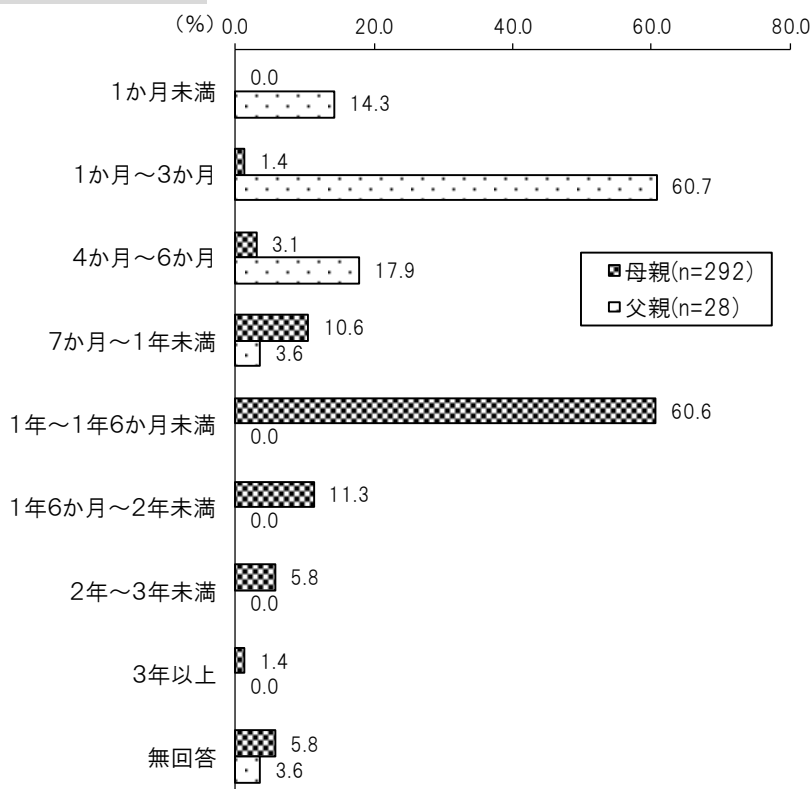
(○は1つ)

母親が育児休業を「取得した（又は取得中である）」割合は、半数以上（55.5%）を占めているが、父親で取得した人は5.3%となっている。

母親の育児休業取得期間は、「1年～1年6か月未満」が60.6%と最も高く、次いで「1年6か月～2年未満」（11.3%）、「7か月～1年未満」（10.6%）が続いている。一方、父親の育児休業取得期間は、「1か月～3か月」が60.7%と最も高く、次いで「4か月～6か月」（17.9%）、「1か月未満」（14.3%）が続いている。



【育児休業取得期間】

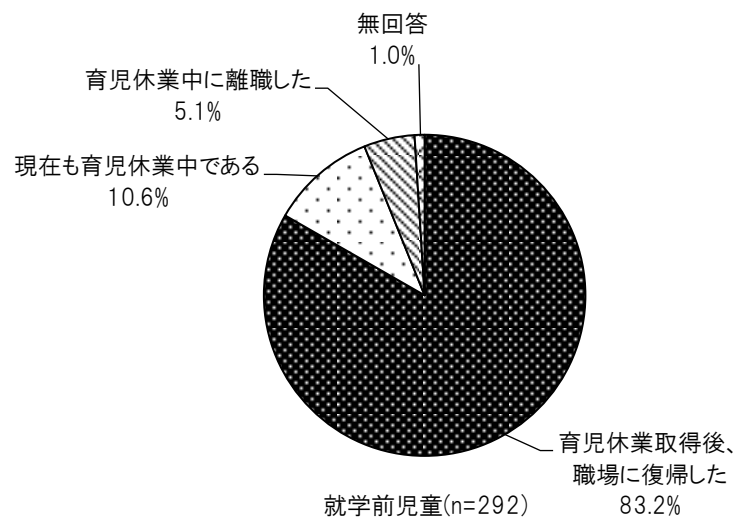


2 母親の育児休業取得後の職場復帰状況

【母親が育児休業を取得した方におたずねします。】

就問 34 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（○は1つ）

育児休業を取得した母親のうち、職場復帰した人の割合は8割以上（83.2%）と多数を占めている。



3 育児休業を取得しなかった理由

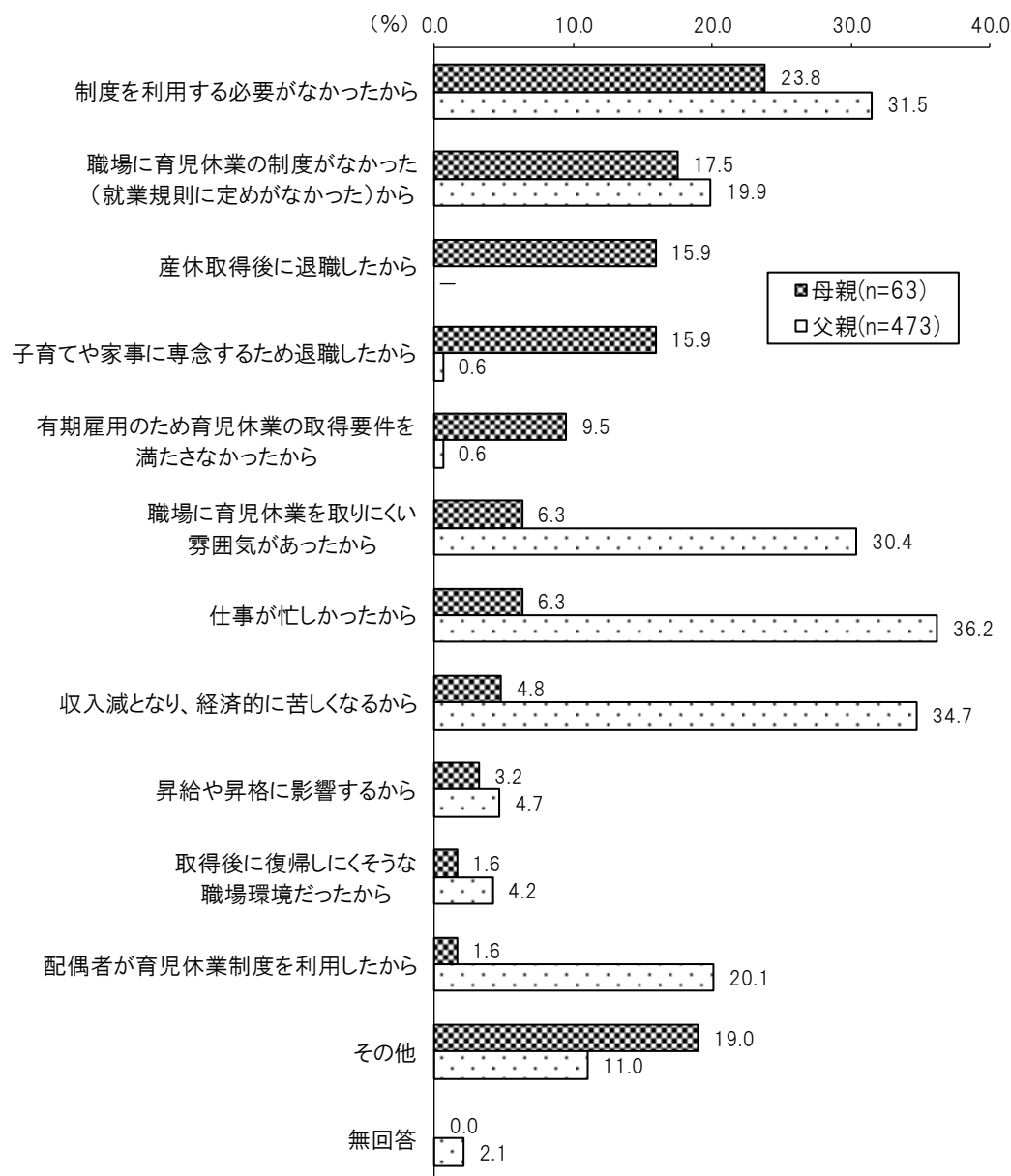
【育児休業を取得していないと回答した方におたずねします。】

就問 35 母親が育児休業を取得しなかったのは、どのような理由からですか。

就問 37 父親が育児休業を取得しなかったのは、どのような理由からですか。

(あてはまるもの全てに○)

育児休業を取得しなかった理由について、母親は「制度を利用する必要がなかったから」の割合が23.8%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）から」（17.5%）が続いている。一方、父親は「仕事が忙しかったから」「収入減となり、経済的に苦しくなるから」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったから」の割合が母親を大きく上回っている。また「その他」では、「自営業のため」という回答が多くみられた。



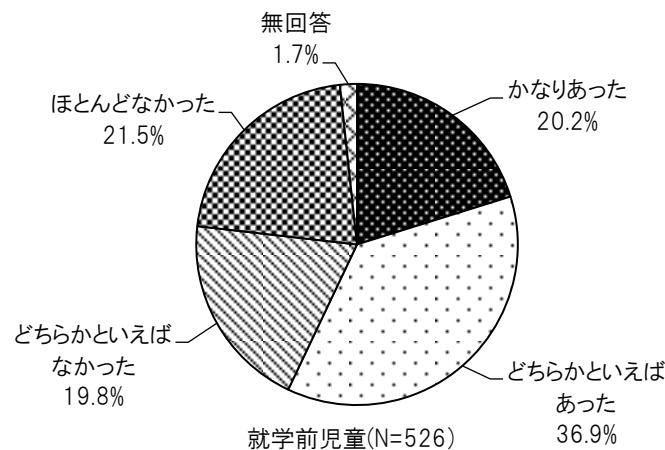
注：父親には「産休取得後に退職したから」の選択肢はない。

【11】 妊娠期からの母子保健事業について

1 妊娠中や出産後の育児等への不安

就問 38 宛名のお子さんが生まれたとき、お子さんの母親は、妊娠中や出産後に、育児等についての不安がありましたか。（○は1つ）

妊娠中や出産後の育児等への不安については、「かなりあった」が20.2%、「どちらかといえはあった」が36.9%、合計で6割近く（57.1%）が『あった』と回答している。

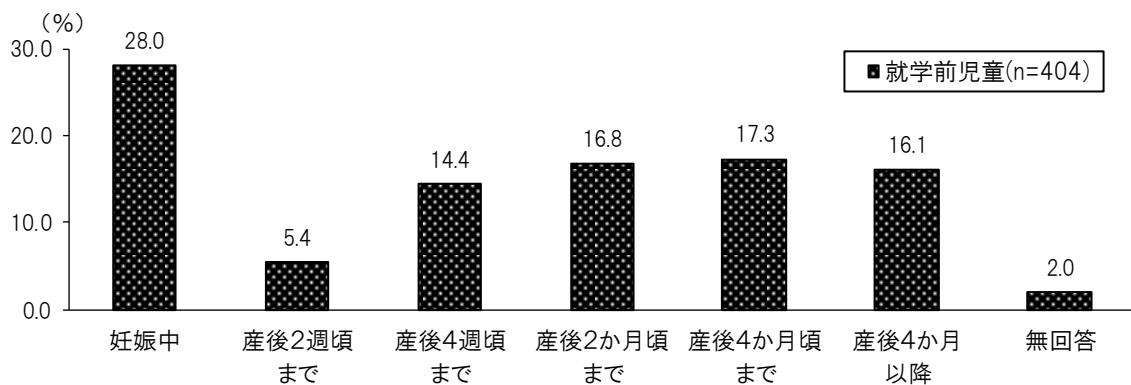


2 最も不安が強かった時期

【不安がほとんどなかった方以外におたずねします。】

就問 39 最も不安が強かった時期はいつですか。（○は1つ）

最も不安が強かった時期については、「妊娠中」の割合が28.0%と最も高く、次いで「産後4か月頃まで」（17.3%）、「産後2か月頃まで」（16.8%）、「産後4か月以降」（16.1%）の順となっている。

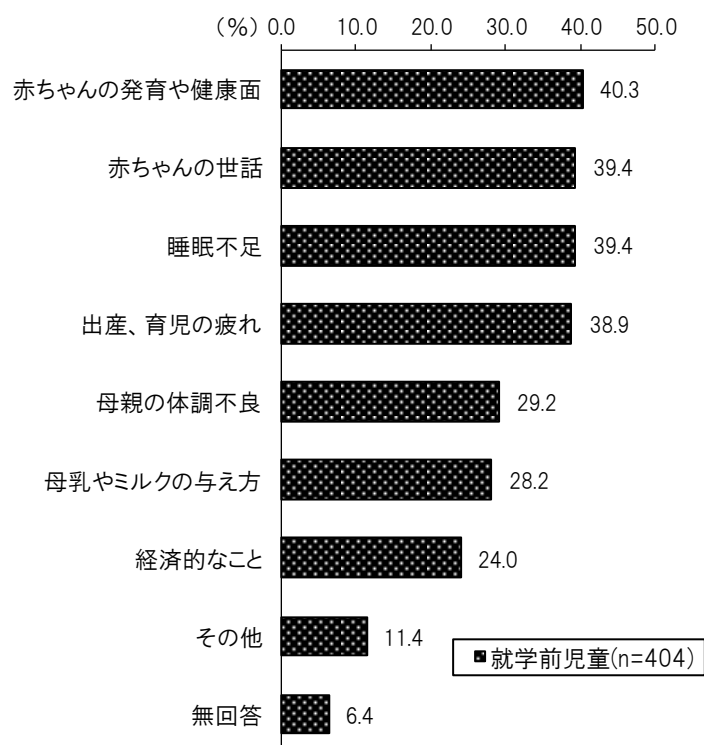


3 不安の内容

【不安がほとんどなかった方以外におたずねします。】

就問 40 どのような不安がありましたか。（あてはまるもの全てに○）

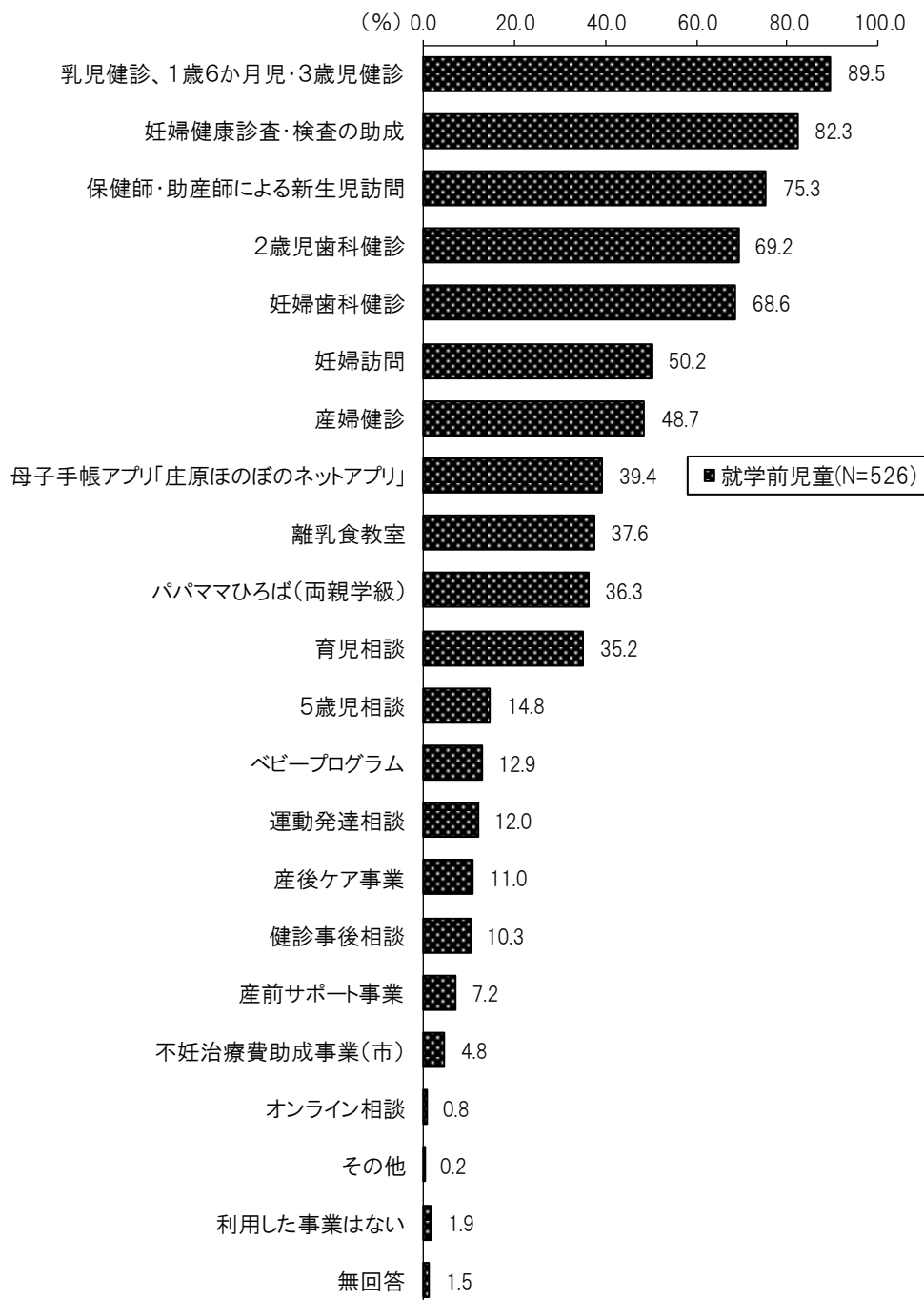
不安の内容については、「赤ちゃんの発育や健康面」の割合が40.3%と最も高く、ほぼ並んで「赤ちゃんの世話」「睡眠不足」（各39.4%）、「出産、育児の疲れ」（38.9%）が続いている。また「その他」では、「上の子との関わり方」「実家が近くないこと」「ママ友がいないこと」などの回答がみられた。



4 利用したことがある母子保健事業

就問 41 次に挙げる本市の母子保健事業（保育所で実施している事業を除く）について、利用したことがある事業はどれですか。（あてはまるもの全てに○）

利用したことがある母子保健事業については、「乳児健診、1歳6か月児・3歳児健診」の割合が89.5%と最も高く、次いで「妊婦健康診査・検査の助成」（82.3%）、「保健師・助産師による新生児訪問」（75.3%）、「2歳児歯科健診」（69.2%）、「妊婦歯科健診」（68.6%）の順となっている。



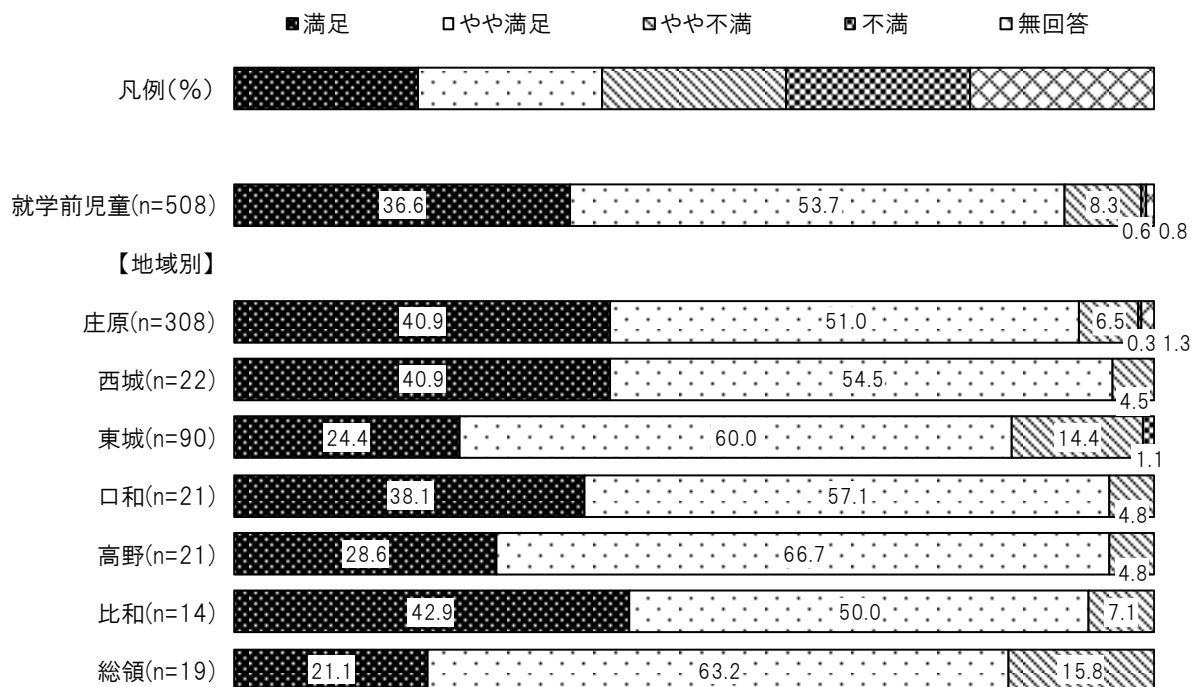
5 母子保健事業の満足度

【母子保健事業を利用したことがある方におたずねします。】

就問 42 母子保健事業を利用して、どの程度満足しましたか。（○は1つ）

母子保健事業の満足度については、「満足」が 36.6%、「やや満足」が 53.7%、合計で 90.3%が『満足』と回答している。

地域別では、東城や総領で「やや不満」の割合が他の地域に比べて高くなっている。

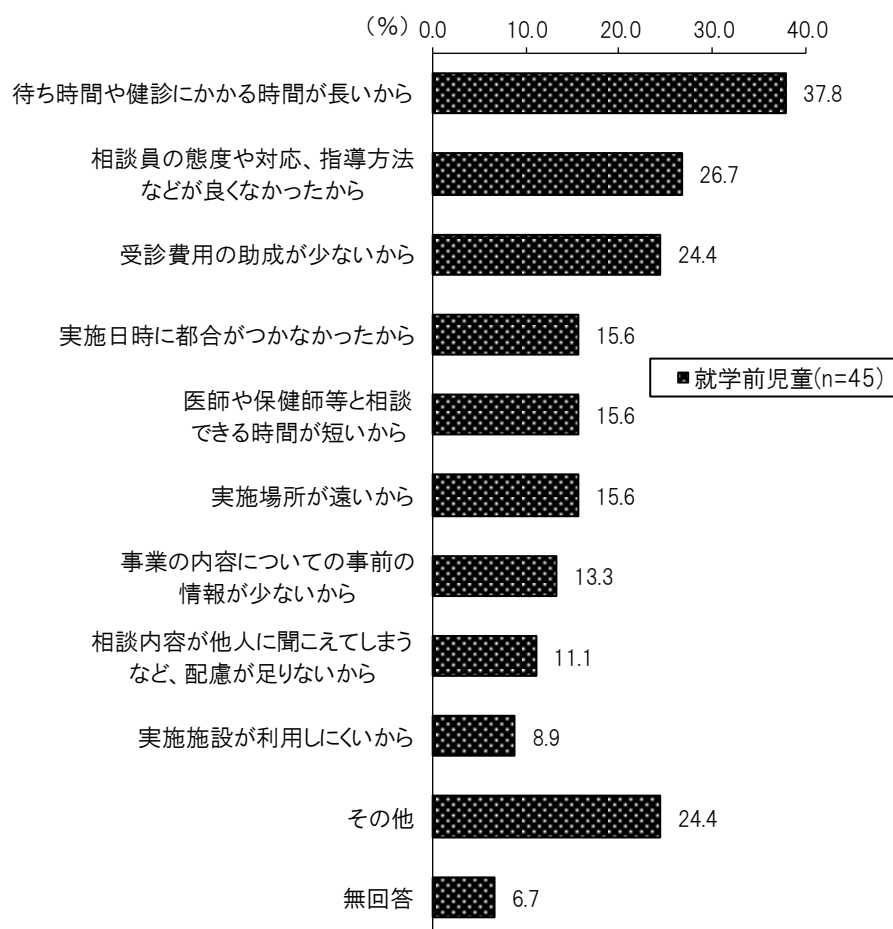


6 不満に感じた理由

【母子保健事業に不満があると回答した方におたずねします。】

就問 43 不満に感じた理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

不満に感じた理由については、「待ち時間や健診にかかる時間が長いから」の割合が37.8%と最も高く、次いで「相談員の態度や対応、指導方法などが良くなかったから」（26.7%）、「受診費用の助成が少ないから」（24.4%）の順となっている。また「その他」では、「午後の健診は子どもの午睡と重なり調整しにくい」「事業の訪問や健診の日程通知が遅い」などの回答がみられた。



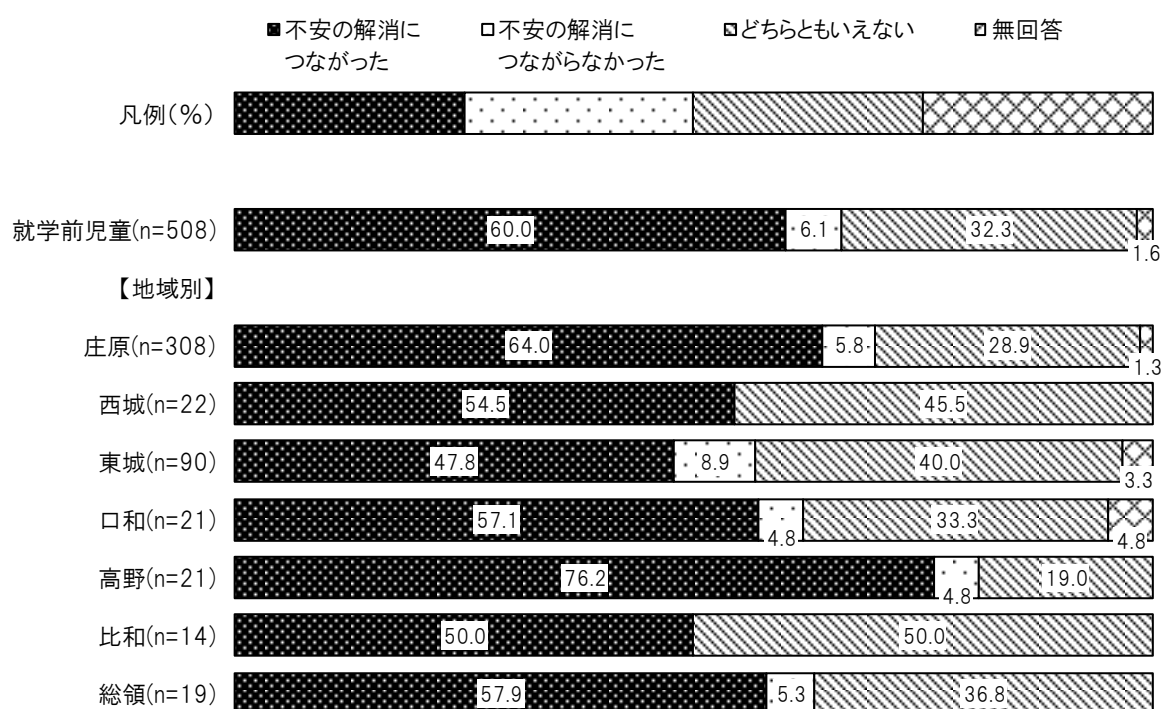
7 相談支援を受けての不安の解消について

【母子保健事業を利用したことがある方におたずねします。】

就問 44 助産師や保健師等から、指導や産後ケアなどの相談支援を受けて、不安の解消につながりましたか。（○は1つ）

相談支援を受けての不安の解消については、「不安の解消につながった」が60.0%、「不安の解消につながらなかった」が6.1%、「どちらともいえない」が32.3%となっている。

地域別では、高野で「不安の解消につながった」の割合が他の地域を大きく上回っている。



8 母子保健事業を利用しなかった理由

【母子保健事業を利用したことがない方におたずねします。】

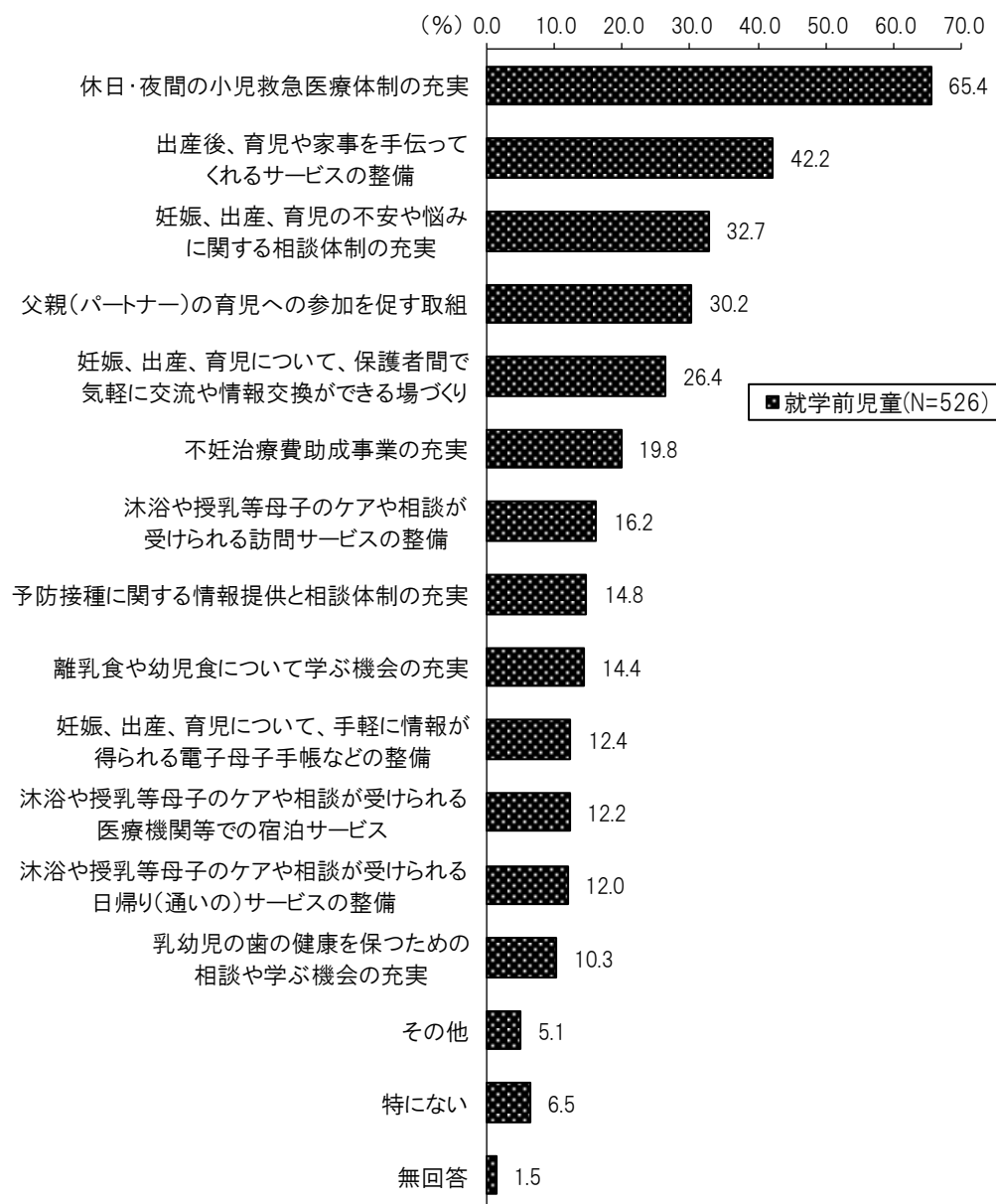
就問 45 母子保健事業を利用しなかった理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

母子保健事業を利用しなかった理由については、「必要だと思わなかったから」が2件、「既に診察等を受診していたから」「人混みの中で感染症が心配だったから」が各1件みられた。また「その他」では、「別の市に住んでいたから」などの回答がみられた。

9 市が力を入れるべき母子保健事業

就問 46 今後、庄原市では、どのような母子保健事業に力を入れるべきだと思いますか。
あなたが最も力を入れるべきだと思う項目を、上位5つまで選んでください。
(○は5つまで)

市が力を入れるべき母子保健事業については、「休日・夜間の小児救急医療体制の充実」の割合が65.4%と最も高く、次いで「出産後、育児や家事を手伝ってくれるサービスの整備」(42.2%)、「妊娠、出産、育児の不安や悩みに関する相談体制の充実」(32.7%)、「父親(パートナー)の育児への参加を促す取組」(30.2%)の順となっている。



地域別では、高野で「出産後、育児や家事を手伝ってくれるサービスの整備」「妊娠、出産、育児の不安や悩みに関する相談体制の充実」「父親（パートナー）の育児への参加を促す取組」「妊娠、出産、育児について、保護者間で気軽に交流や情報交換ができる場づくり」の割合が他の地域を大きく上回っている。

単位 (%)	休日・夜間の小児救急医療体制の充実	出産後、育児や家事を手伝ってくれるサービスの整備	妊娠、出産、育児の不安や悩みに関する相談体制の充実	父親（パートナー）の育児への参加を促す取組	妊娠、出産、育児について、保護者間で気軽に交流や情報交換ができる場づくり	不妊治療費助成事業の充実	沐浴や授乳等母子のケアや相談が受けられる訪問サービスの整備	予防接種に関する情報提供と相談体制の充実	離乳食や幼児食について学ぶ機会の充実	妊娠、出産、育児について、手軽に情報が得られる電子母子手帳などの整備	沐浴や授乳等母子のケアや相談が受けられる医療機関等での宿泊サービスの整備	沐浴や授乳等母子のケアや相談が受けられる日帰り（通いの）サービスの整備	乳幼児の歯の健康を保つための相談や学	特にな
就学前児童(N=526)	65.4	42.2	32.7	30.2	26.4	19.8	16.2	14.8	14.4	12.4	12.2	12.0	10.3	6.5
【地域別】														
庄原(n=322)	62.7	40.4	33.9	30.7	26.1	20.2	13.7	10.9	15.5	12.4	10.6	9.9	9.9	6.2
西城(n=22)	54.5	45.5	31.8	27.3	27.3	18.2	31.8	9.1	18.2	9.1	22.7	22.7	18.2	18.2
東城(n=92)	76.1	43.5	31.5	30.4	28.3	19.6	14.1	21.7	12.0	10.9	13.0	12.0	7.6	4.3
口和(n=23)	56.5	47.8	26.1	26.1	21.7	26.1	21.7	21.7	17.4	4.3	13.0	17.4	0.0	13.0
高野(n=21)	71.4	57.1	47.6	38.1	47.6	9.5	23.8	23.8	14.3	19.0	9.5	9.5	19.0	4.8
比和(n=14)	71.4	21.4	21.4	28.6	21.4	7.1	28.6	28.6	0.0	21.4	21.4	21.4	21.4	14.3
総領(n=19)	73.7	42.1	21.1	10.5	0.0	26.3	26.3	21.1	10.5	15.8	10.5	21.1	15.8	0.0

注：「その他」は表記から省略している。

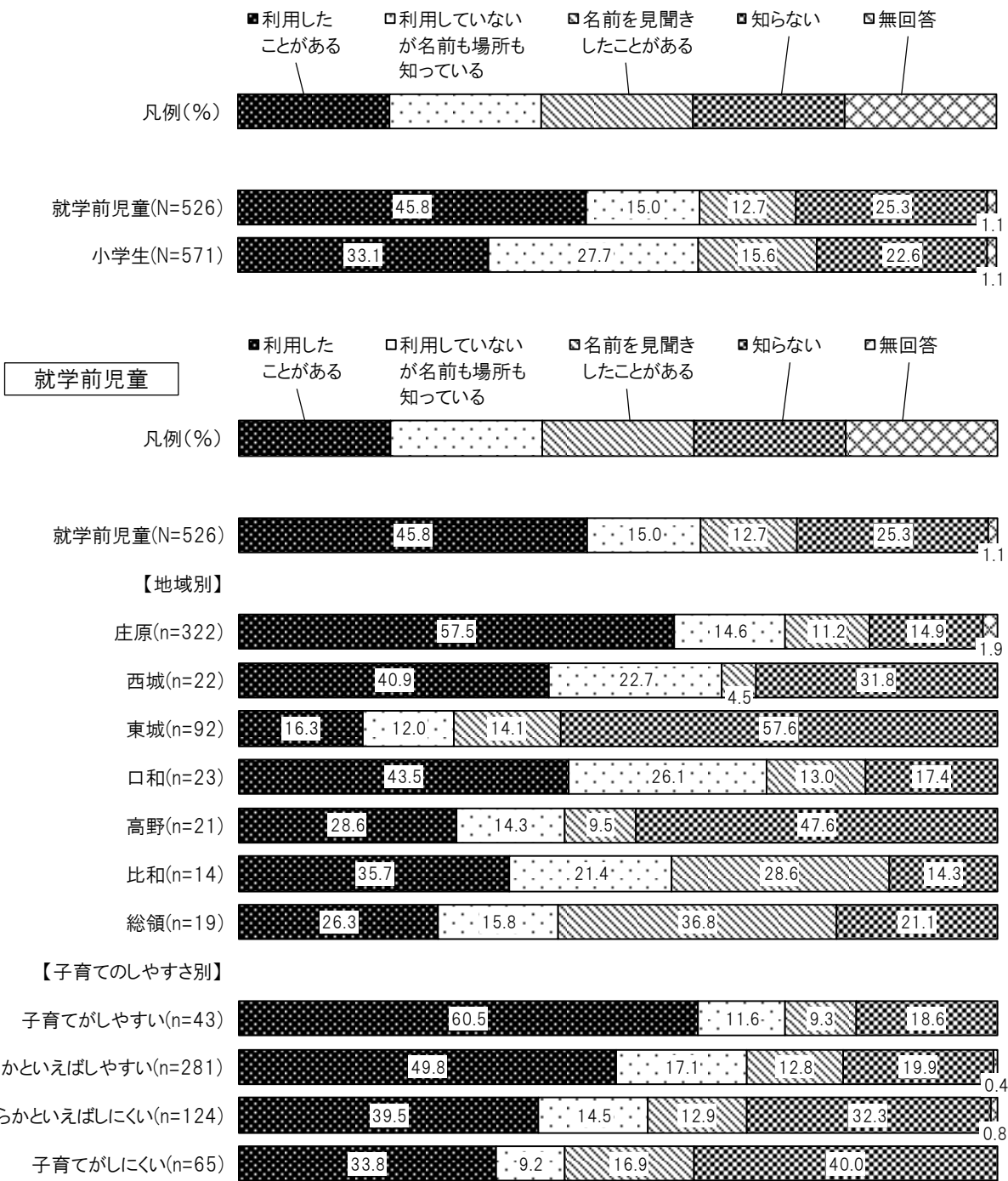
10 庄原市こども未来広場の認知状況

就問 47（小問 34） あなたは、小児科診療所、病児・病後児保育施設、子育て支援センターがある「庄原市こども未来広場」を知っていますか。（○は1つ）

庄原市こども未来広場について「利用したことがある」割合は、就学前児童で 45.8%、小学生で 33.1%となっている。一方、およそ4人に1人が「知らない」と回答している。

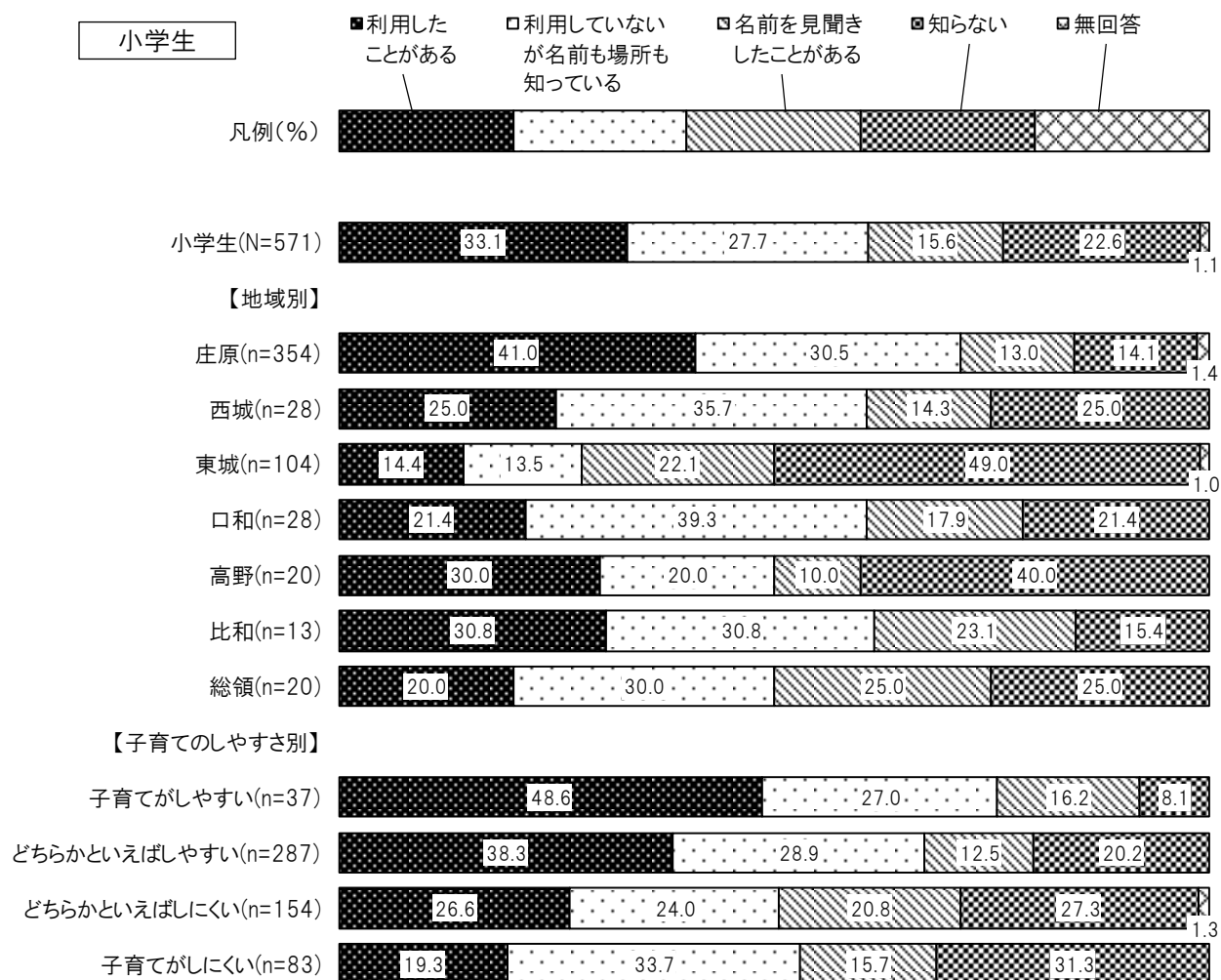
就学前児童について地域別でみると、庄原で「利用したことがある」、東城や高野で「知らない」の割合がそれぞれ高くなっている。

子育てのしやすさ別（就問 57）では、子育てがしやすいと回答した層ほど「利用したことがある」の割合が高くなっている。



小学生について地域別でみると、庄原で「利用したことがある」、東城や高野で「知らない」の割合がそれぞれ高くなっている。

子育てのしやすさ別（小問 40）では、子育てがしやすいと回答した層ほど「利用したことがある」の割合が高くなっている。



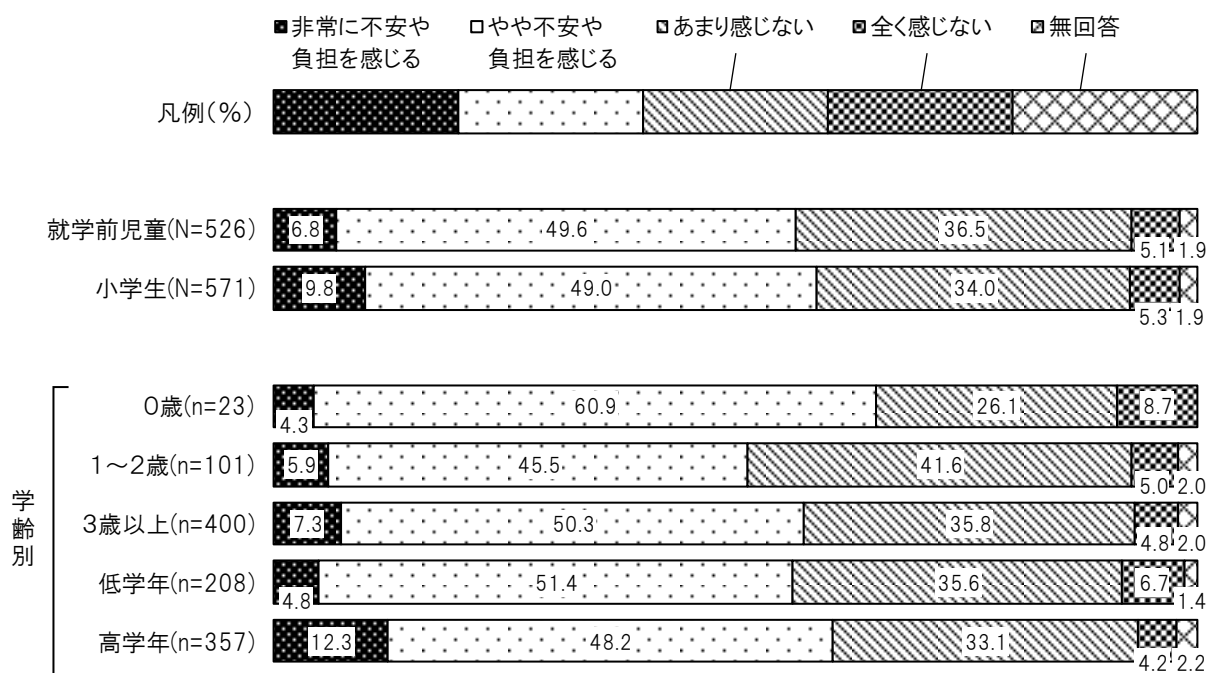
【12】子育て全般について

1 子育てに関する不安や負担感

就問 48 (小問 30) 子育てに関して、不安や負担を感じることがありますか。
(○は1つ)

子育てに関して不安や負担を感じる割合は、就学前児童、小学生保護者ともに、6割近くを占めている。

学齢別でみると、0歳で「やや不安や負担を感じる」の割合が他の層を大きく上回っている。

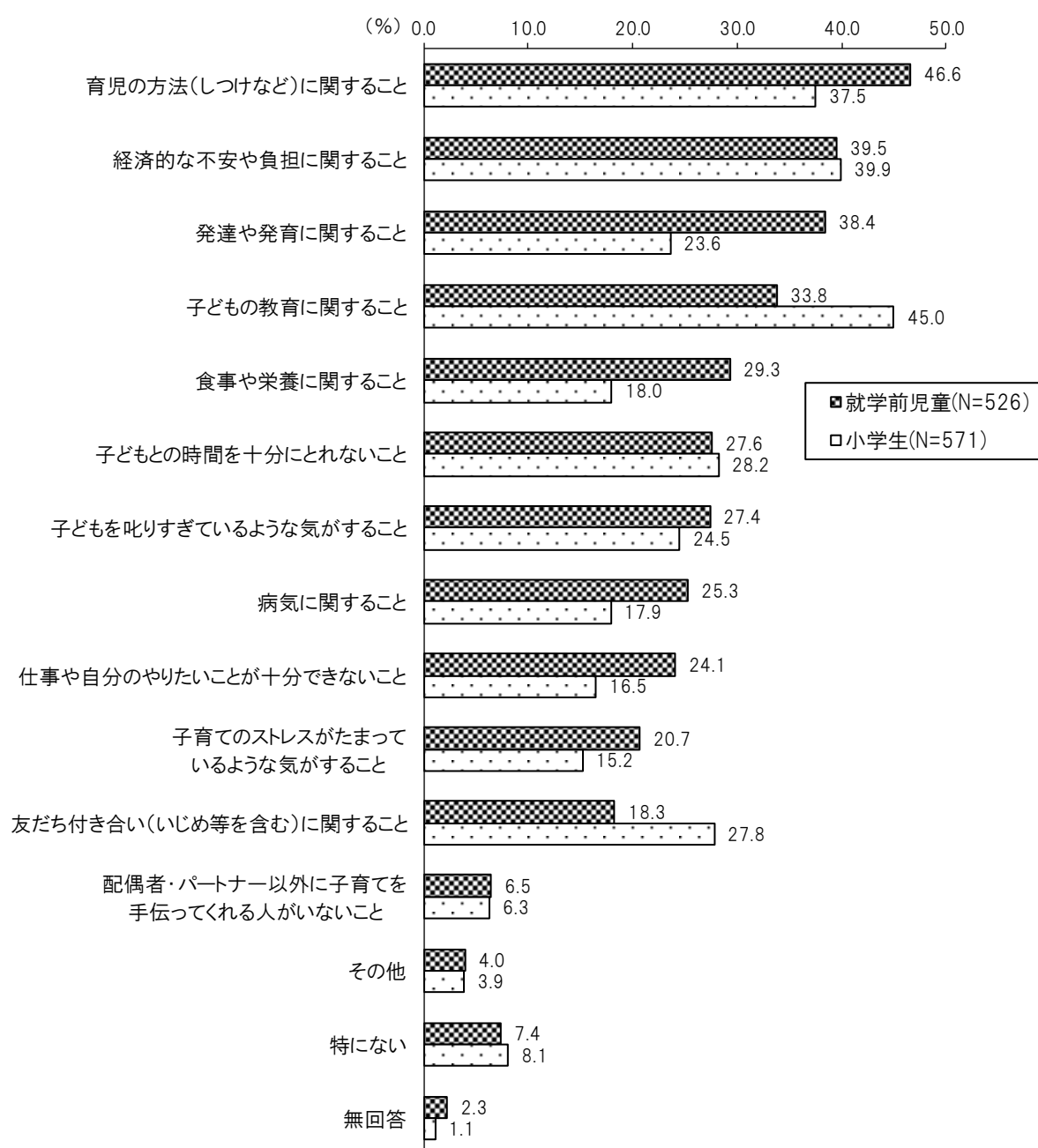


2 子育てに関する悩み

就問 49 (小問 31) 子育てに関して、日常悩んでいること、又は気になることはどのようなことですか。(あてはまるもの全てに○)

子育てに関する悩みについては、就学前児童保護者の場合、回答割合が高い順に「育児の方法(しつけなど)に関すること」「経済的な不安や負担に関すること」「発達や発育に関すること」「子どもの教育に関すること」「食事や栄養に関すること」となっており、多岐にわたっている。

小学生保護者の場合は、特に「子どもの教育に関すること」「友だち付き合い(いじめ等を含む)に関すること」の割合が就学前児童を大きく上回っている。

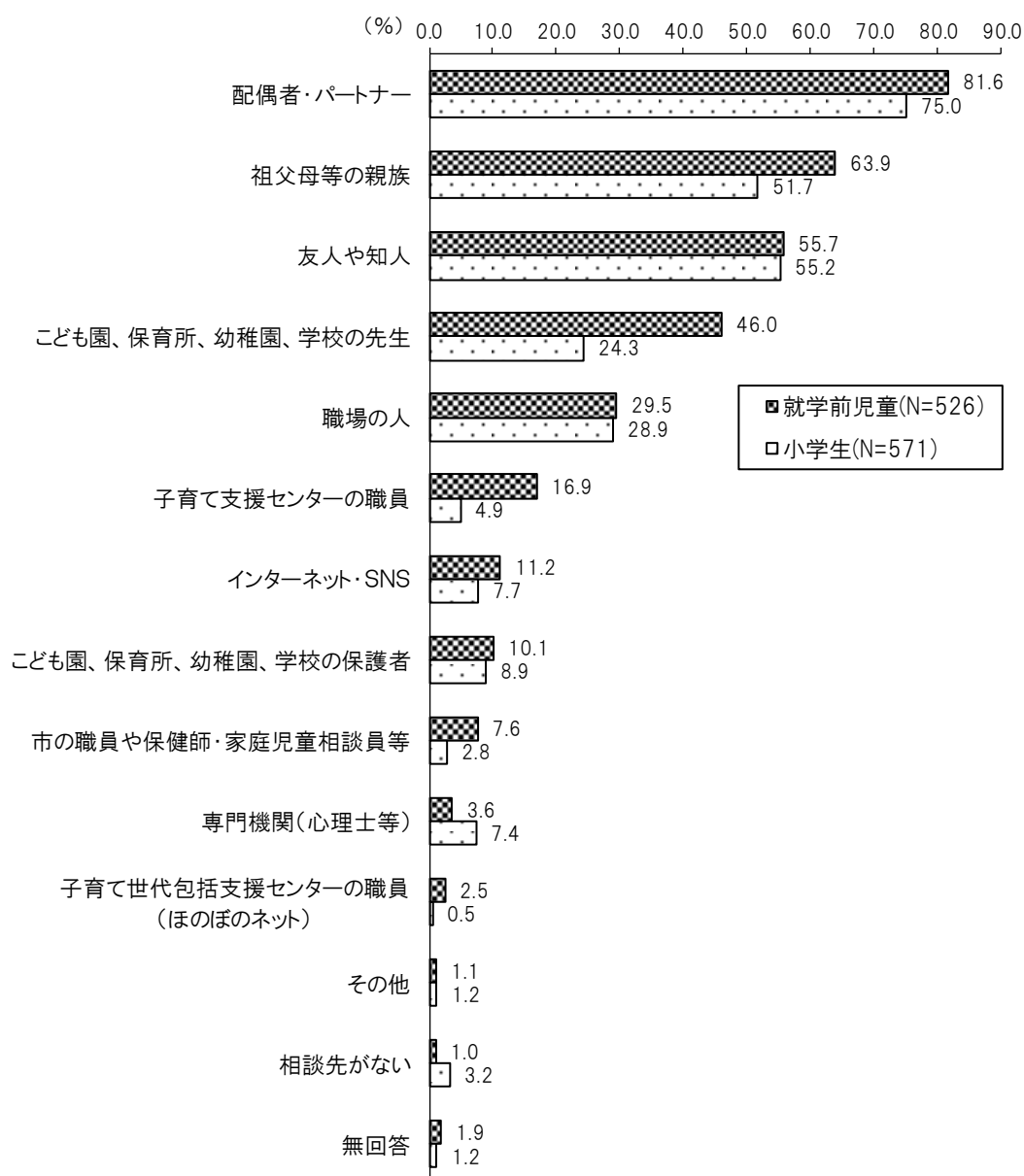


3 子育てに関する相談先

就問 50（小問 32） お子さんの子育てに関する相談先はどこですか。
（あてはまるもの全てに○）

子育てに関する相談先については、就学前児童、小学生保護者ともに、「配偶者・パートナー」「祖父母等の親族」「友人や知人」の割合が高くなっている。

就学前児童保護者では、特に「祖父母等の親族」「こども園、保育所、幼稚園、学校の先生」「子育て支援センターの職員」の割合が小学生を大きく上回っている。

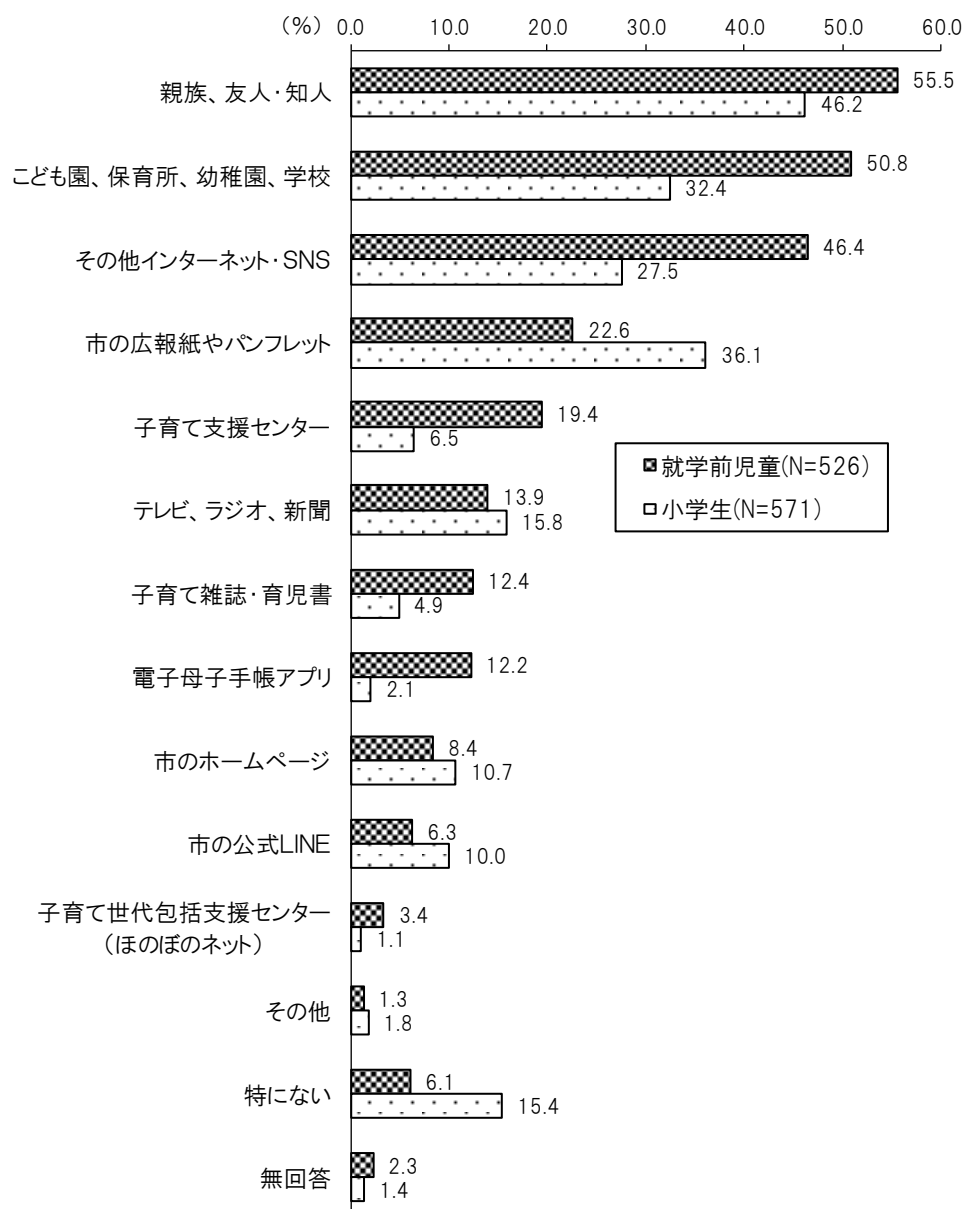


4 子育てに関する情報の入手先

就問 51（小問 33） 子育てに関する情報をどのように入手していますか。
（あてはまるもの全てに○）

子育てに関する情報の入手先については、就学前児童保護者の場合、回答割合が高い順に「親族、友人・知人」「こども園、保育所、幼稚園、学校」「その他インターネット・SNS」の順となっており、小学生の割合を大きく上回っている。

小学生保護者は、就学前児童に比べて「市の広報紙やパンフレット」「特にない」などの割合が高くなっている。



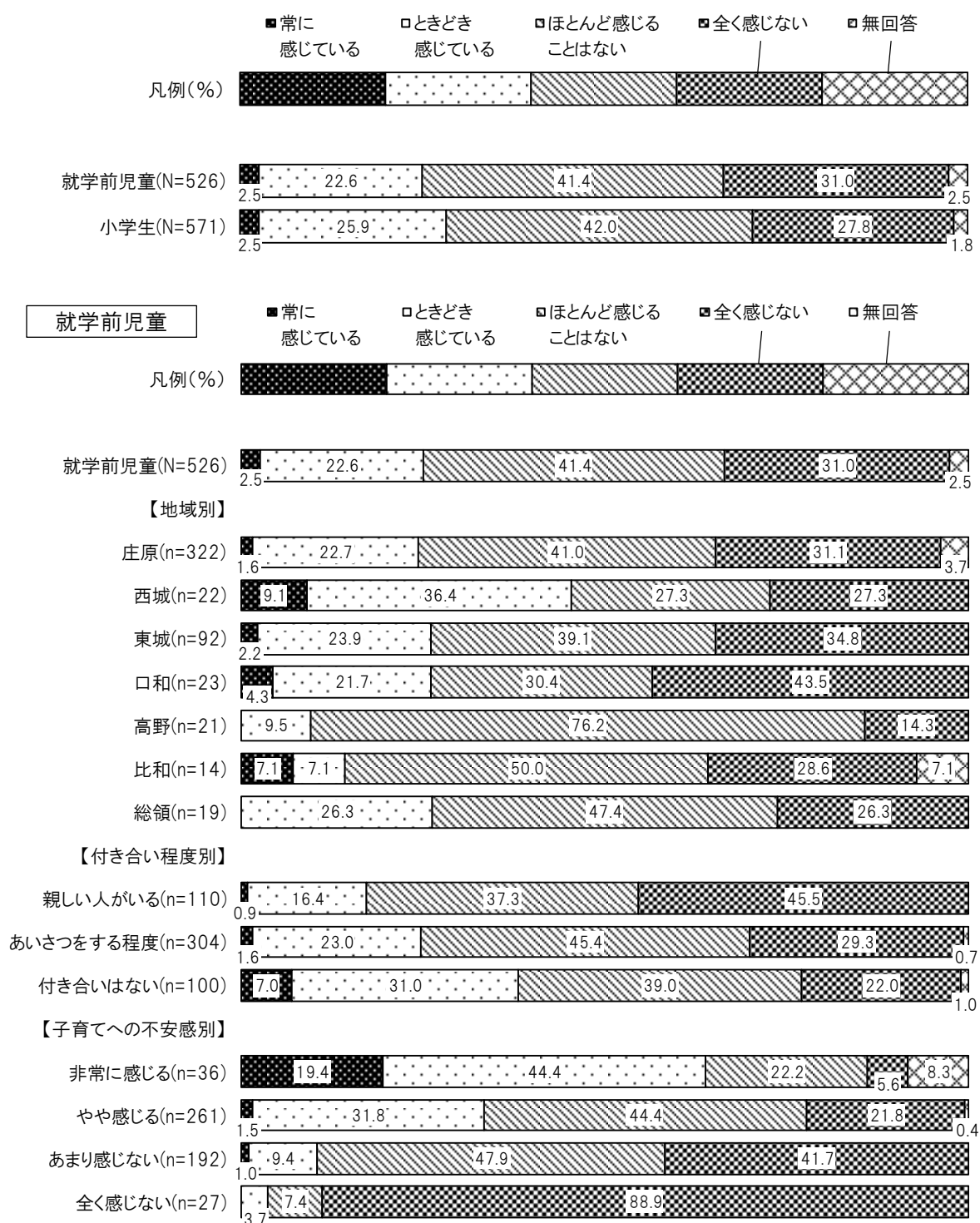
5 孤立感

就問 52 (小問 35) あなたは孤立を感じることがありますか。(○は1つ)

孤立感については、就学前児童、小学生保護者ともに、3割近くが感じている。

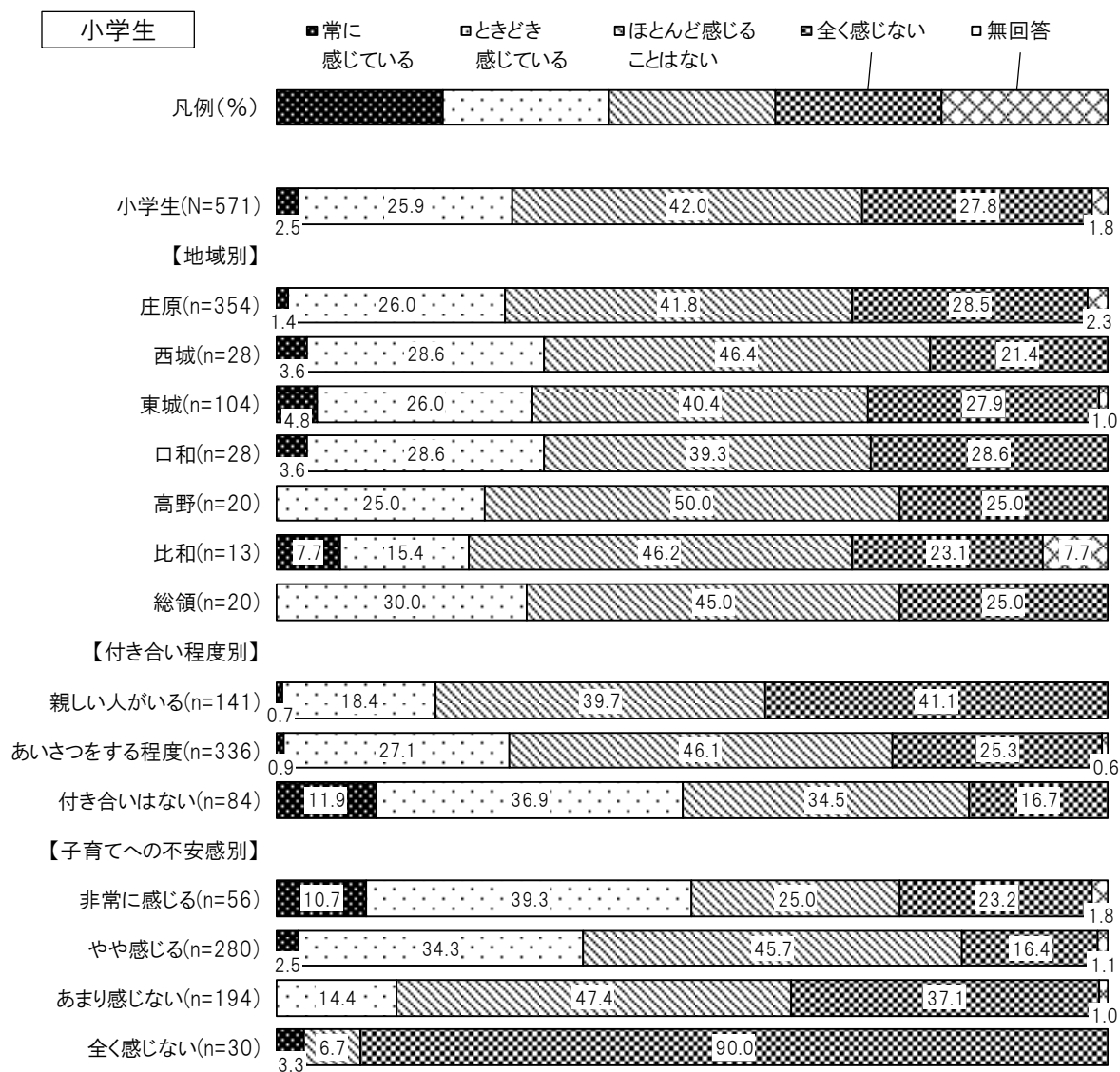
就学前児童について地域別でみると、西城で『感じている(合計)』の割合が他の地域を大きく上回っている。

付き合い程度別(就問 53)では付き合いが薄い層ほど、子育てへの不安感別(就問 48)では不安を感じると回答した層ほど『感じている(合計)』の割合が高くなっている。



小学生について、地域別では大きな差はみられない。

付き合い程度別（小問 36）では付き合いが薄い層ほど、子育てへの不安感別（小問 30）では不安を感じると回答した層ほど『感じている（合計）』の割合が高くなっている。



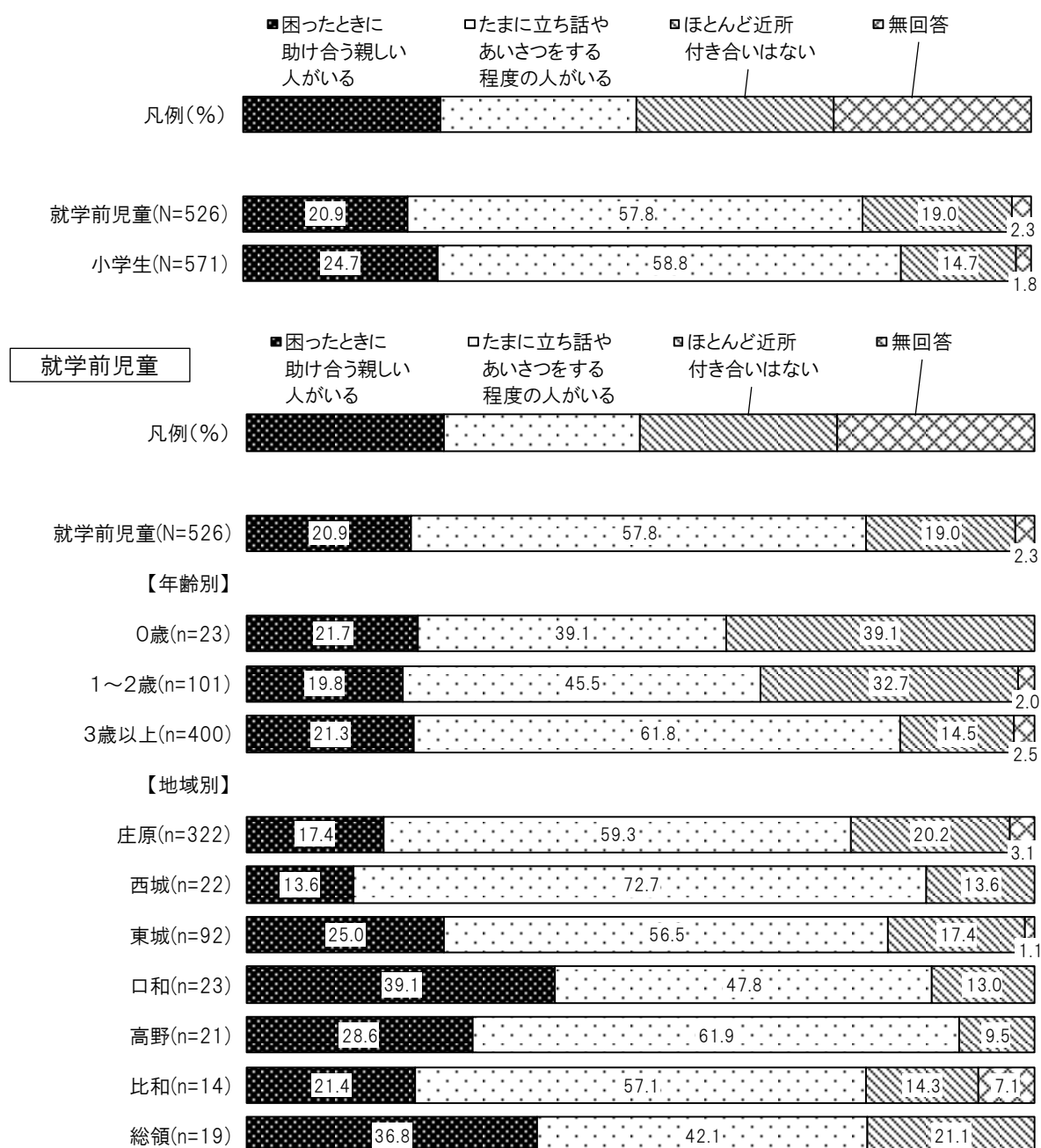
6 近所の人との付き合い程度

就問 53 (小問 36) あなたの世帯とご近所の人との関係は、次のどれに最も近いですか。
(○は1つ)

近所の人との付き合い程度について「困ったときに助け合う親しい人がいる」割合は、小学生保護者で24.7%と、就学前児童の割合を上回っている。一方、「ほとんど近所付き合いはない」は、就学前児童保護者で19.0%と、小学生の割合を上回っている。

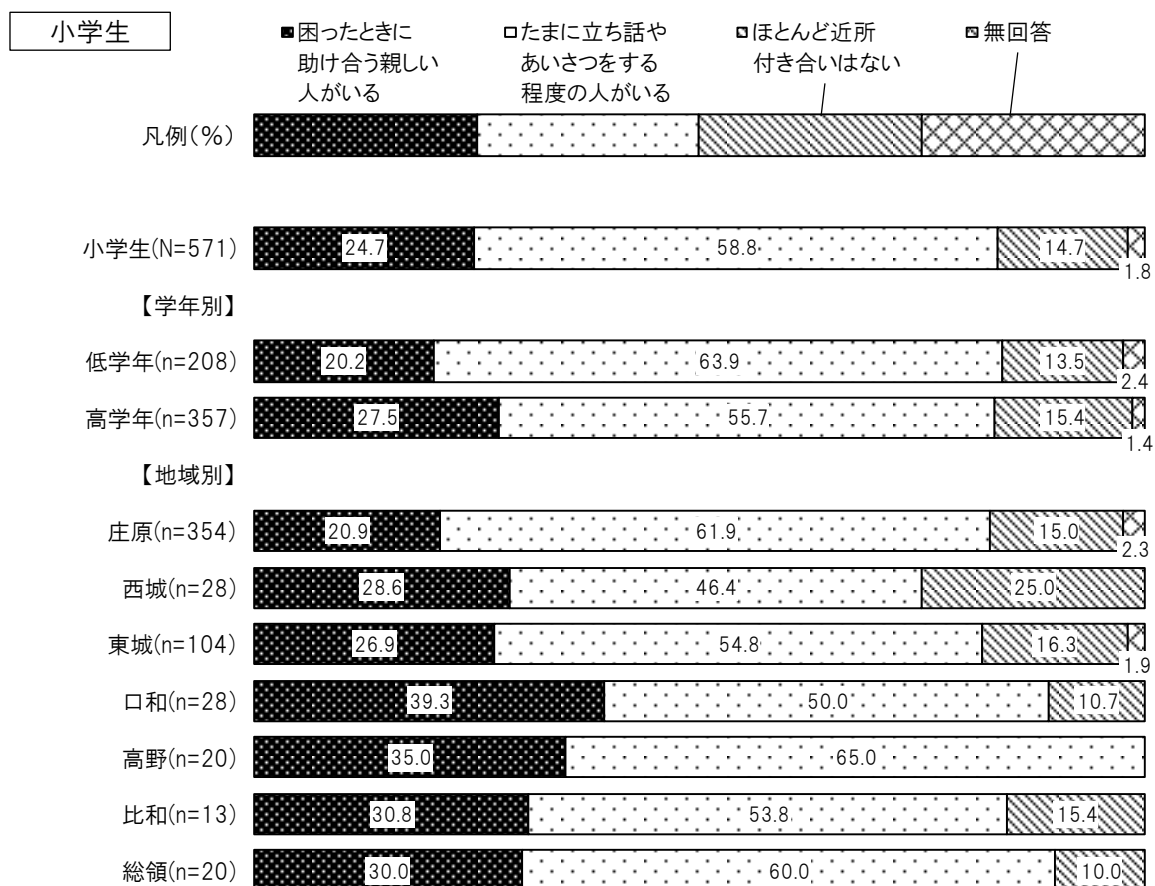
就学前児童について年齢別でみると、年齢が上がるほど「たまに立ち話やあいさつをする程度の人がある」の割合が高くなっている。

地域別では、口和や総領で「困ったときに助け合う親しい人がいる」の割合が他の地域を大きく上回っている。



小学生について学年別でみると、高学年は低学年に比べ「困ったときに助け合う親しい人がいる」の割合が高くなっている。

地域別では、口和で「困ったときに助け合う親しい人がいる」、西城で「ほとんど近所付き合いはない」の割合がそれぞれ他の地域に比べて高くなっている。



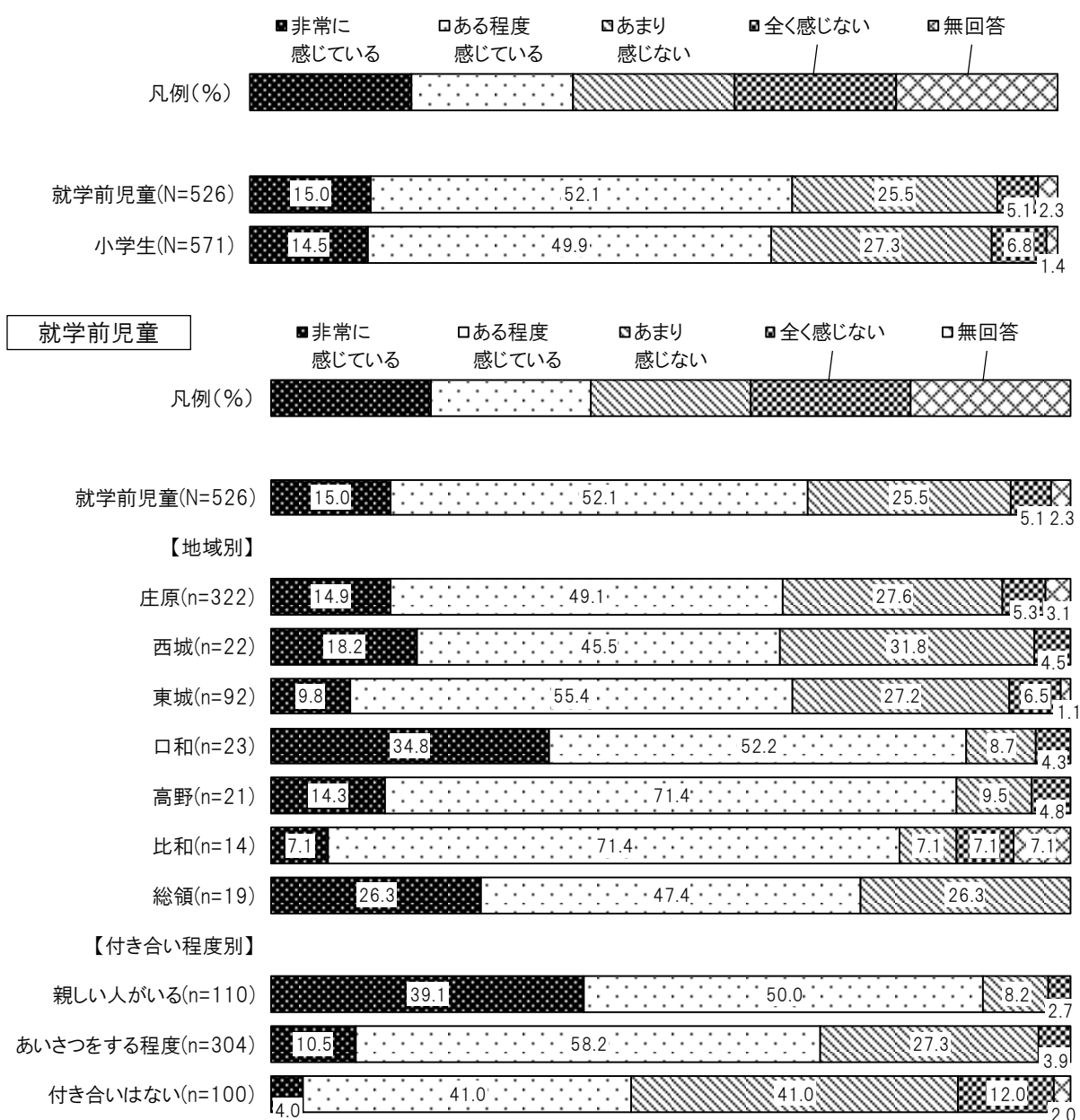
7 地域の人や社会からの支援意識

就問 54 (小問 37) 自分自身の子育てが、地域の人や社会に支えられていると感じますか。(○は1つ)

地域の人や社会からの支援意識については、就学前児童、小学生保護者ともに、6割以上が感じている。

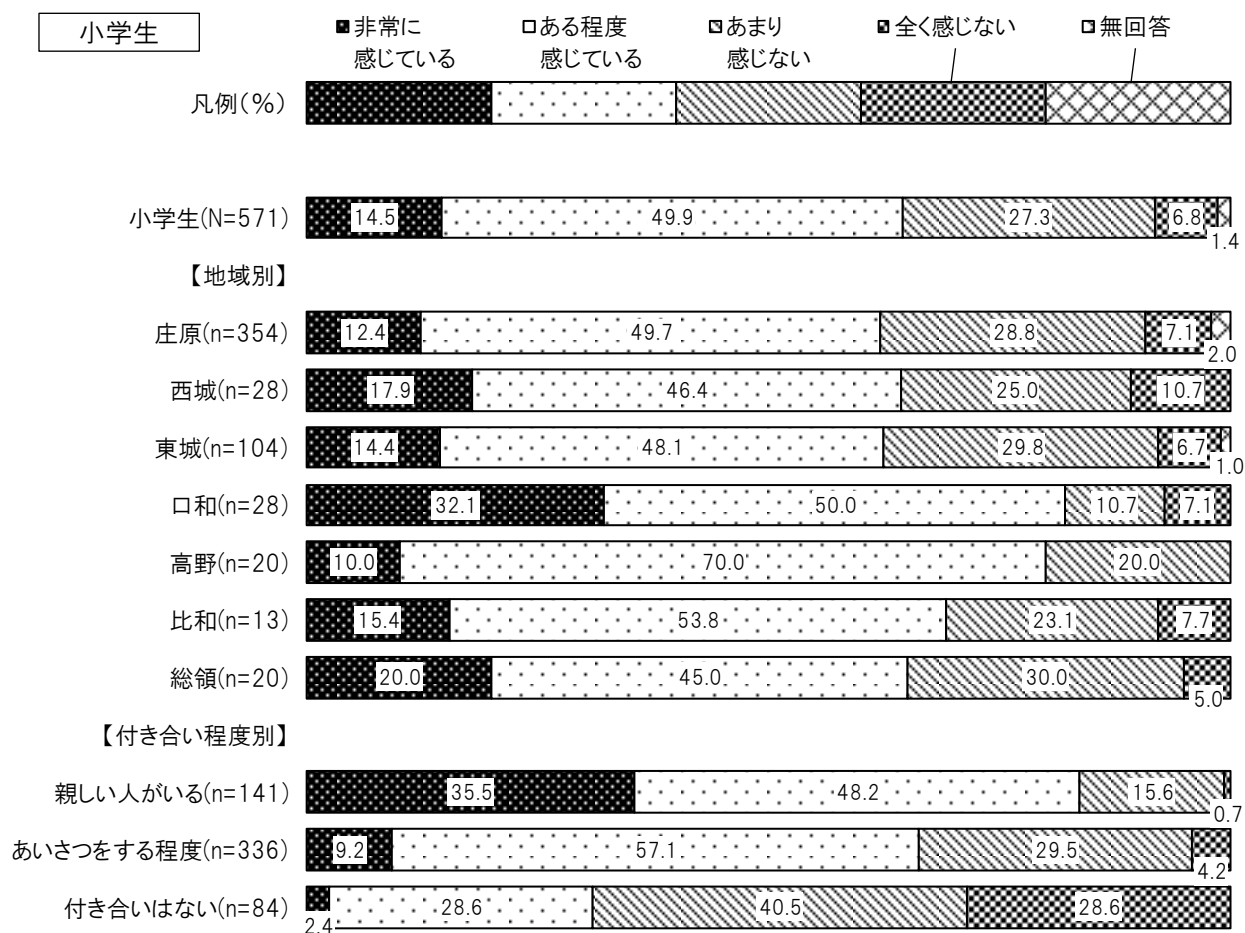
就学前児童について地域別でみると、口和で「非常に感じている」の割合が他の地域を大きく上回っている。

付き合い程度別では、親しい人がいる層で「非常に感じている」の割合が他の層を大きく上回っている。



小学生について地域別でみると、口和で「非常に感じている」の割合が他の地域を大きく上回っている。

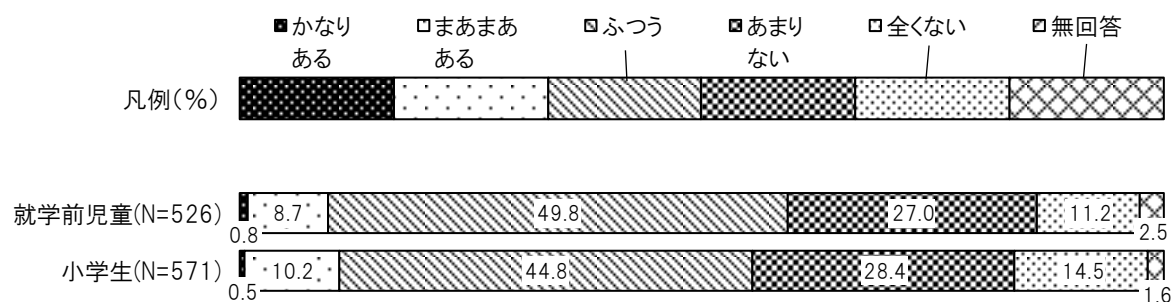
付き合い程度別では、親しい人がいる層で「非常に感じている」の割合が他の層を大きく上回っている。



8 経済的なゆとり

就問 55 (小問 38) あなたの世帯では、現在の生活に経済的なゆとりがありますか。
(○は1つ)

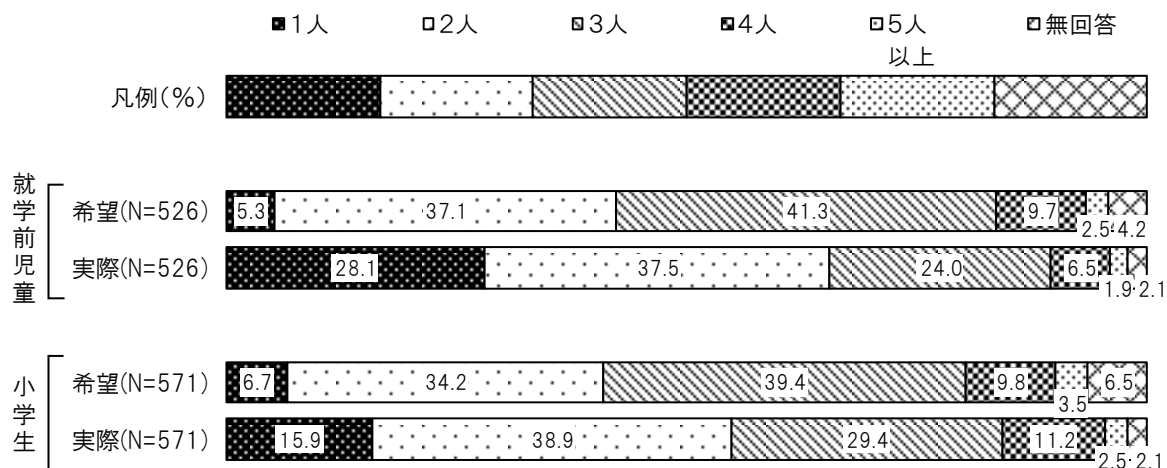
経済的なゆとりについては、就学前児童、小学生保護者ともに、約4割がないと回答している。



9 希望する子どもの人数

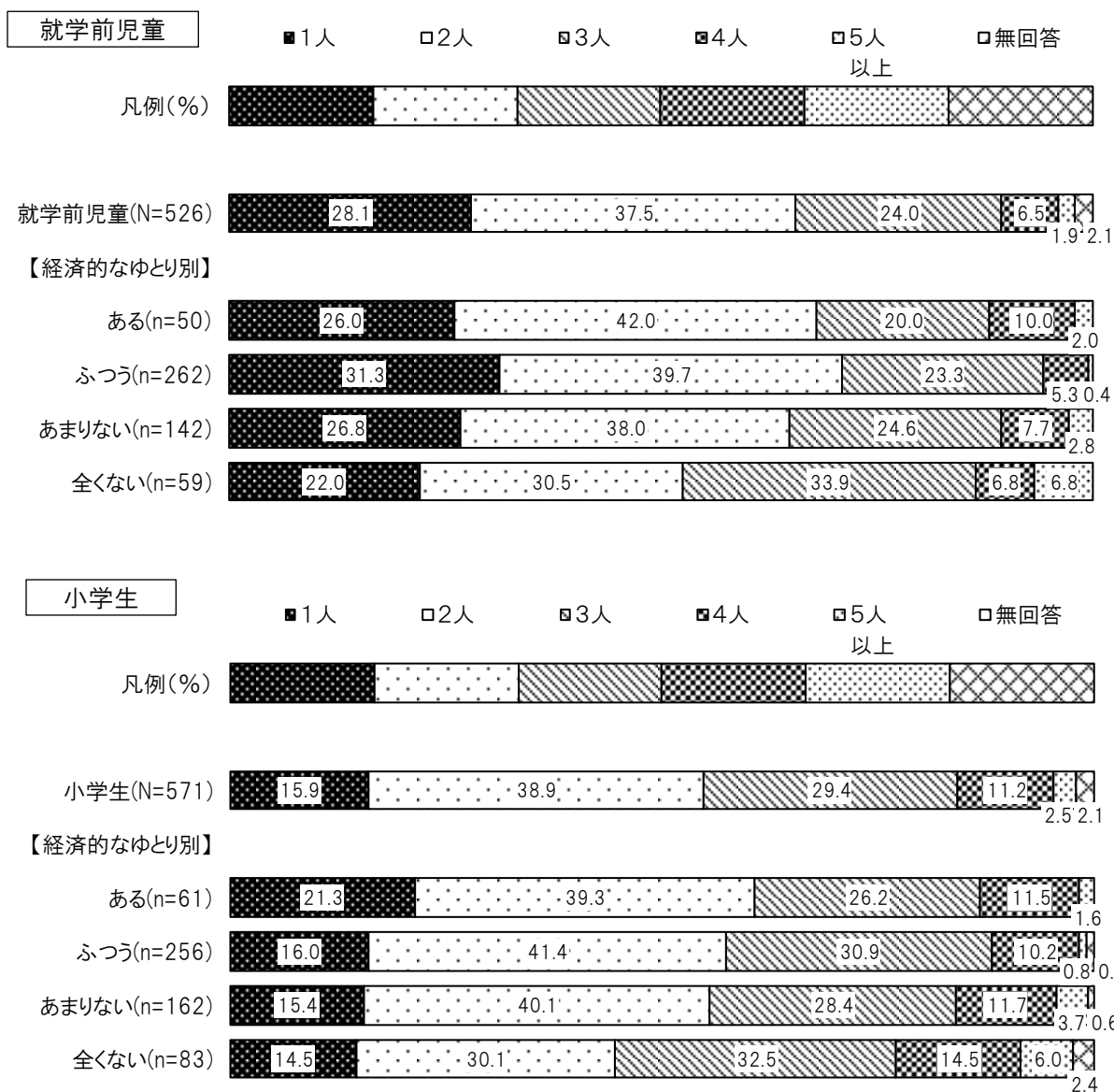
就問 56 (小問 39) 希望するお子さんの人数は何人ですか。また、実際のお子さんは何人いらっしゃいますか。(○は1つずつ)

希望する子どもの人数については、就学前児童、小学生保護者ともに、「3人」が約4割を占め最も高くなっているが、実際の子どもの人数は「2人」が4割近くを占め高くなっている。



実際の子どもの人数を経済的なゆとり別（就問 55、小問 38）でみると、就学前児童、小学生保護者ともに、ゆとりが全くないと回答した層で子どもが「3人以上」の割合が高くなっている。

<実際の子どもの人数>



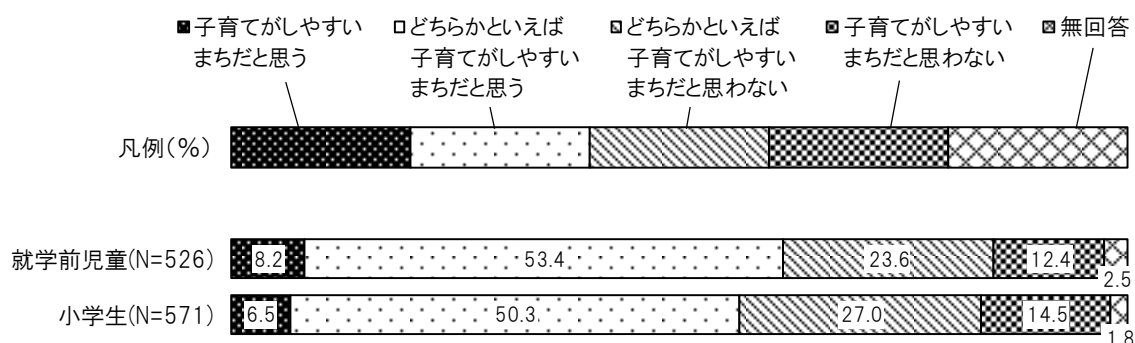
10 子育てのしやすさ

就問 57 (小問 40) 庄原市は、子育てしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

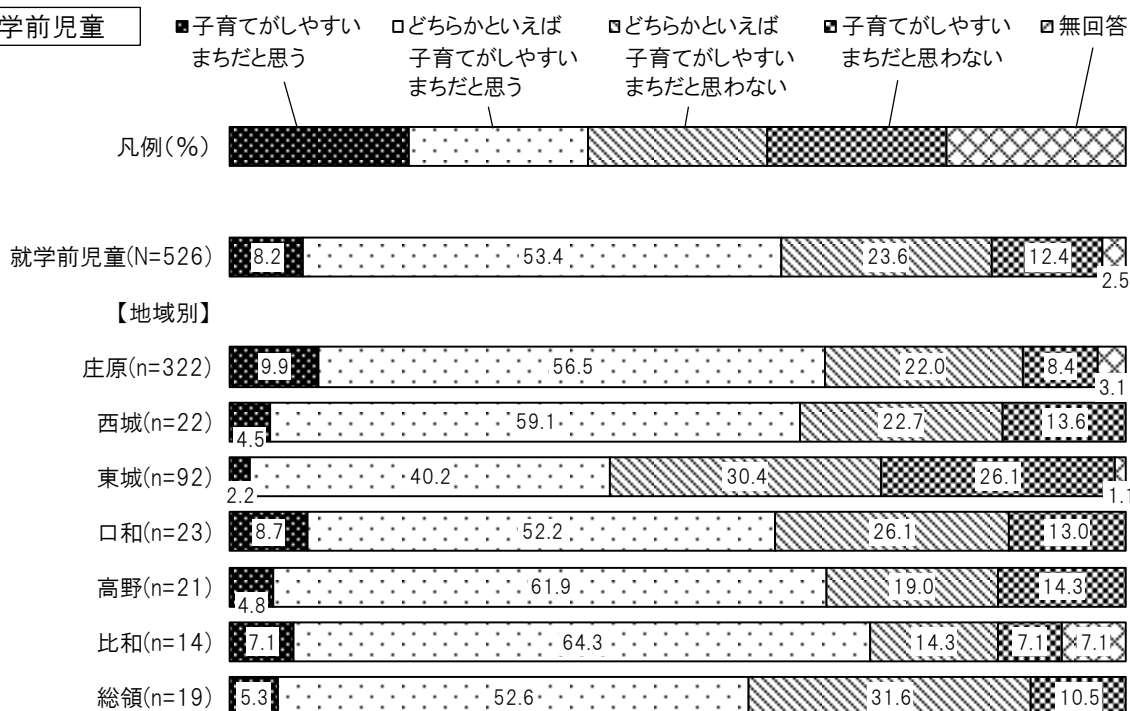
子育てのしやすさについては、就学前児童、小学生保護者ともに、約6割が子育てがしやすいと感じている。

就学前児童について地域別でみると、東城で『子育てがしやすいまちだと思わない(合計)』の割合が他の地域を大きく上回っている。

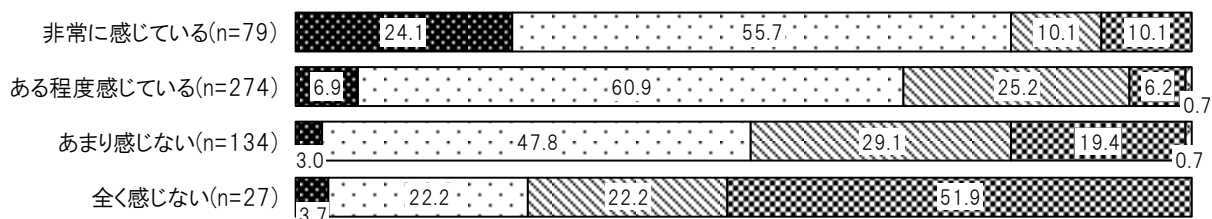
地域社会からの支援意識別(就問 54)では、支援を感じている層ほど『子育てがしやすいまちだと思ふ(合計)』の割合が高くなっている。



就学前児童

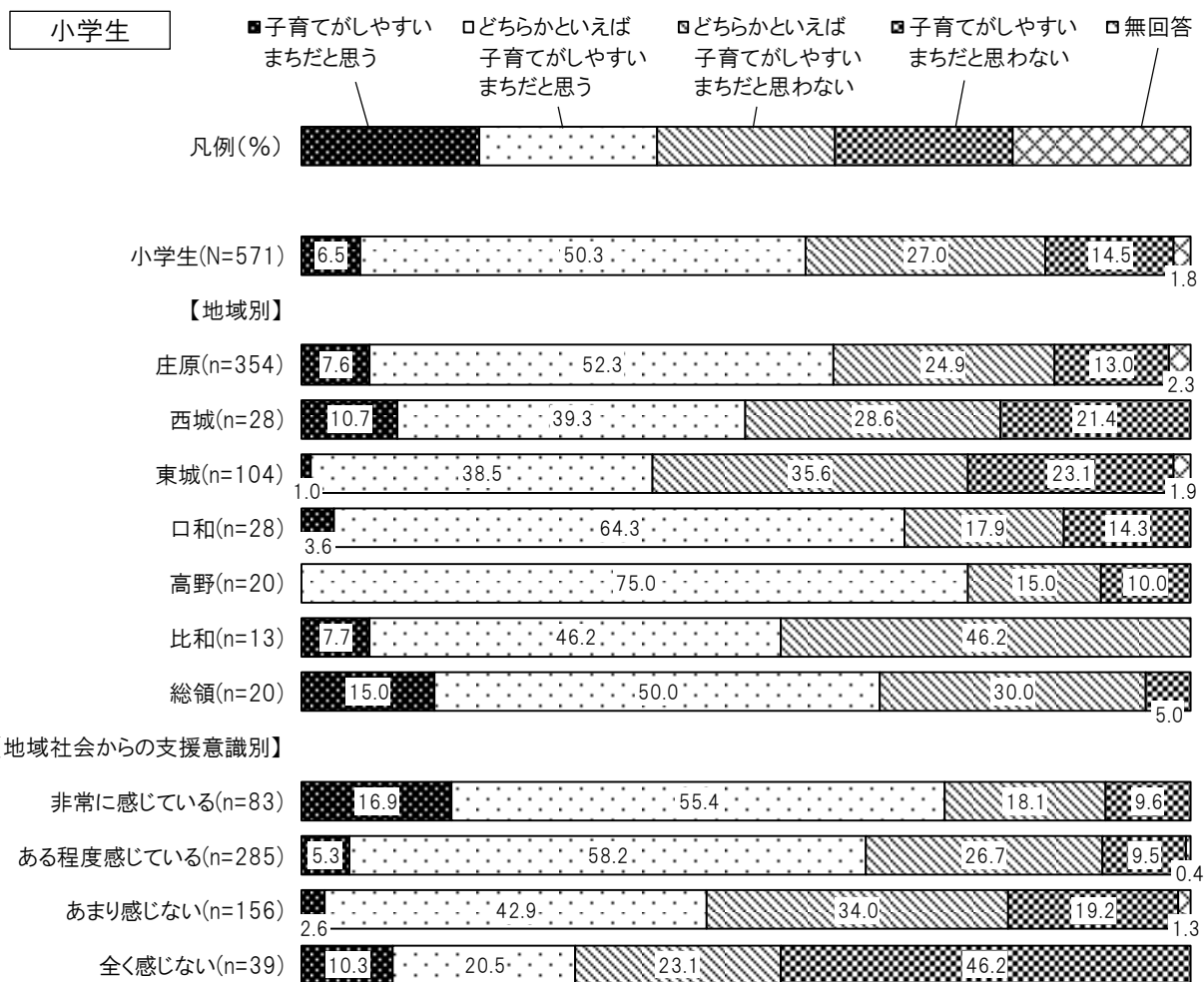


【地域社会からの支援意識別】



小学生について地域別でみると、東城で『子育てがしやすいまちだと思わない（合計）』の割合が他の地域に比べて高くなっている。

地域社会からの支援意識別（小問 37）では、支援を感じている層ほど『子育てがしやすいまちだと思（合計）』の割合が高くなっている。



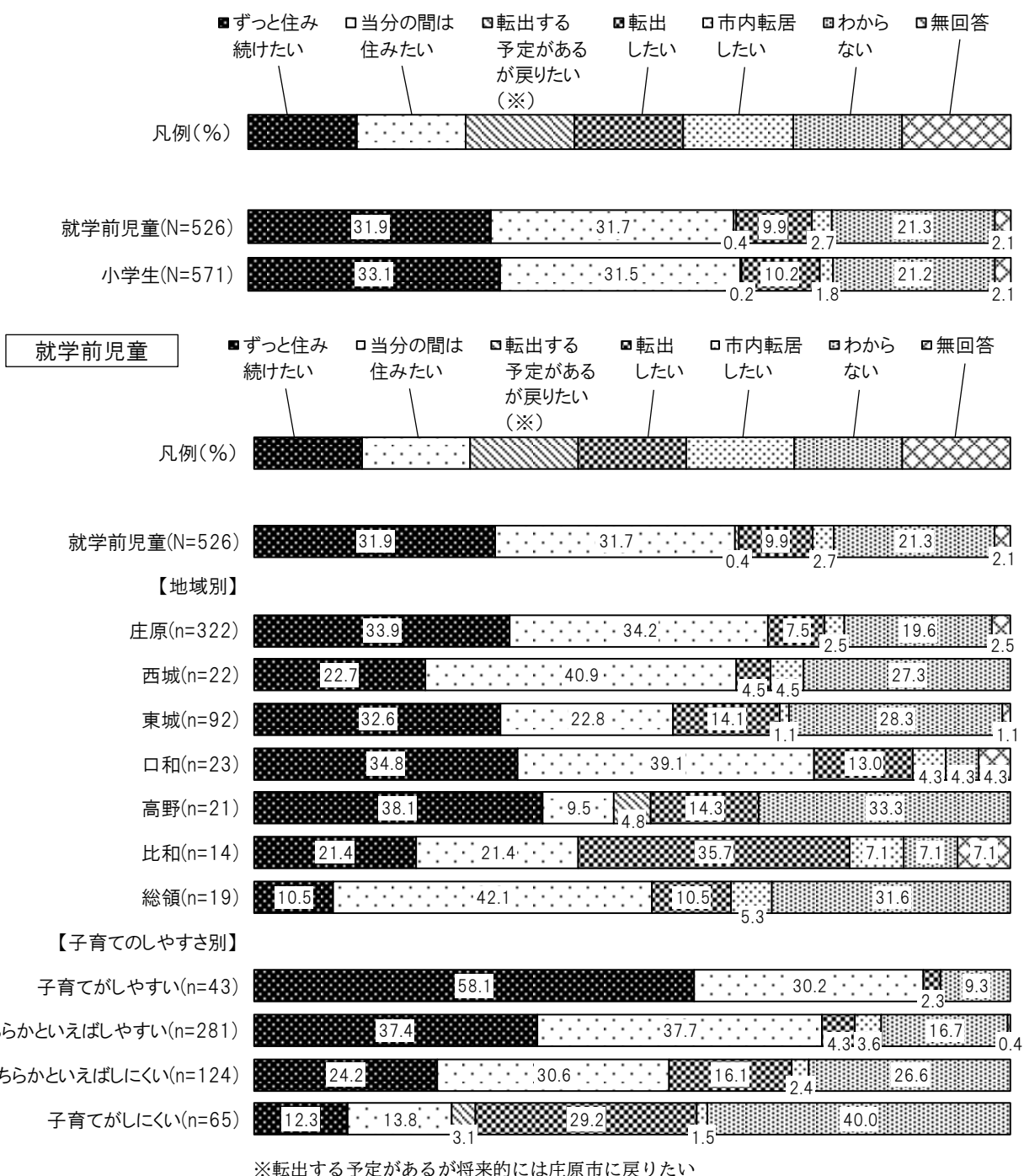
11 永住意向

就問 58 (小問 41) あなたは、今、お住まいのところに住み続けたいと思いますか。
(○は1つ)

永住意向については、就学前児童、小学生保護者ともに、6割以上が『住み続けたい』
(「ずっと住み続けたい」「当分の間は住みたい」の合計)と回答している。

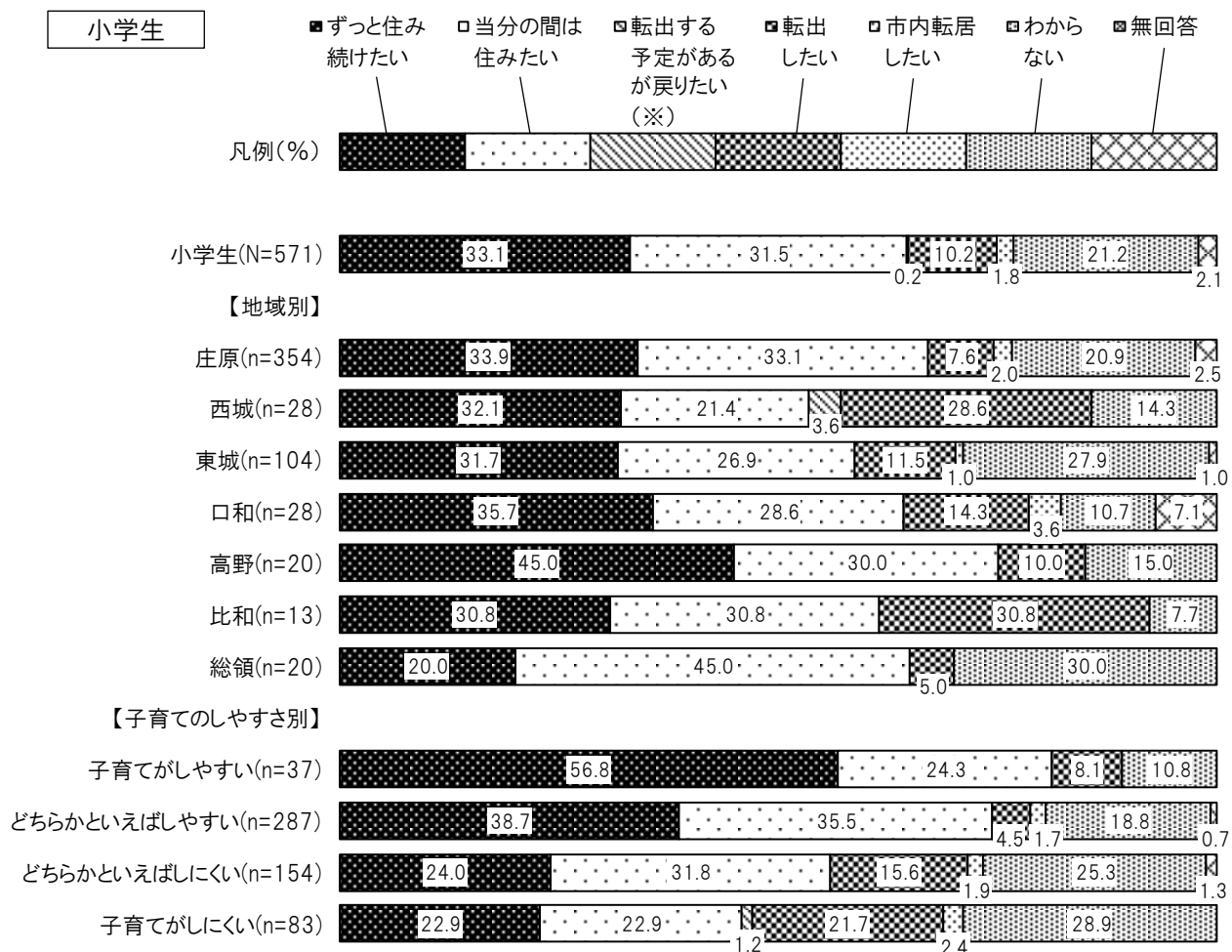
就学前児童について地域別でみると、比和で「転出したい」の割合が他の地域を大きく上回っている。

子育てのしやすさ別では、子育てがしやすいと回答した層ほど『住み続けたい(合計)』
の割合が高くなっている。



小学生について地域別でみると、高野で『住み続けたい（合計）』、西城や比和で「転出したい」の割合がそれぞれ他の地域を大きく上回っている。

子育てのしやすさ別では、子育てがしやすいと回答した層ほど『住み続けたい（合計）』の割合が高くなっている。



※転出する予定があるが将来的には庄原市に戻りたい

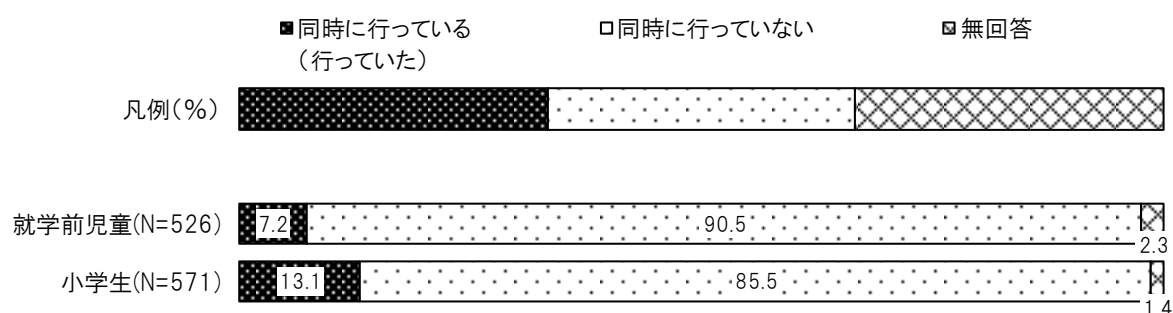
12 ダブルケアの状況

就問 59（小問 42） あなたの世帯では、現在、子育てと介護を同時に行っていますか、又は同時に行っていたことがありましたか。（○は1つ）

ダブルケアの状況について、子育てと介護を「同時に行っている（行っていた）」割合は就学前児童保護者で7.2%、小学生保護者で13.1%となっている。

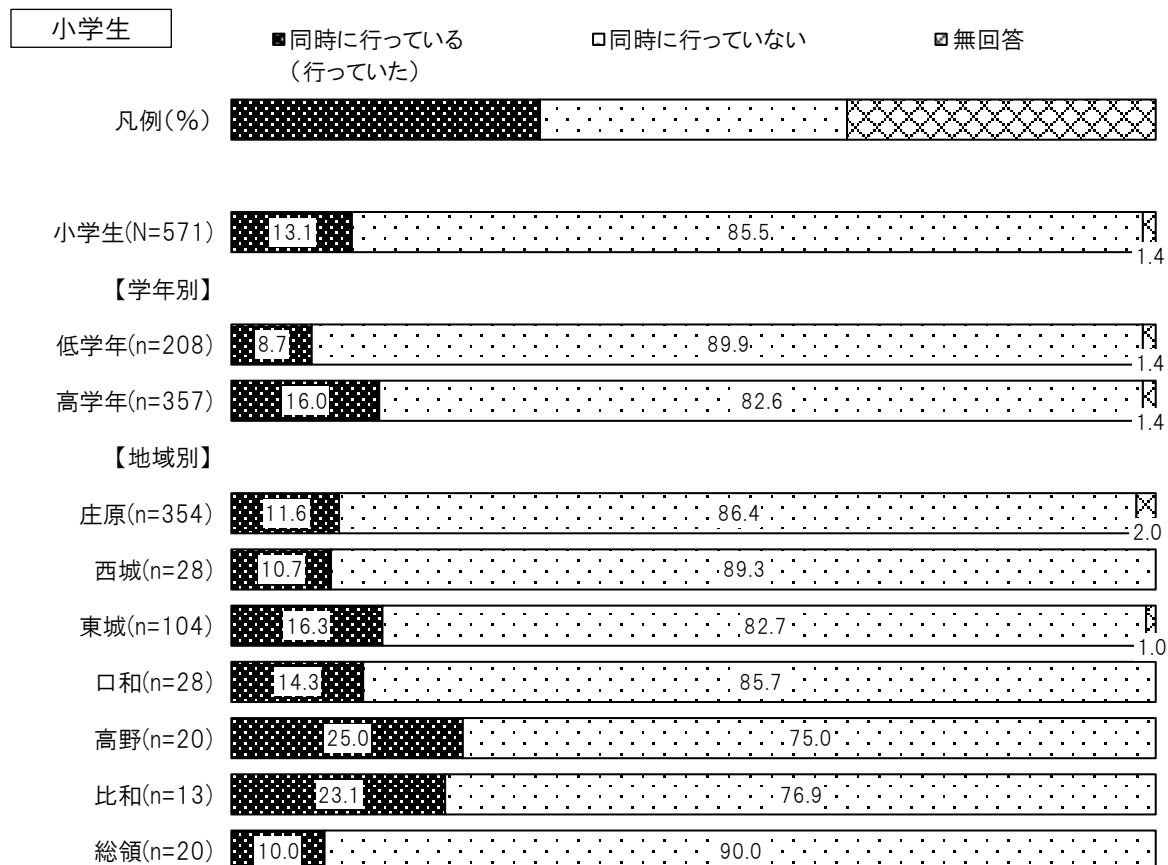
就学前児童について年齢別でみると、1～2歳で「同時に行っている（行っていた）」割合が他の年齢層に比べてやや高くなっている。

地域別では、高野で「同時に行っている（行っていた）」割合が他の地域を大きく上回っている。



小学生について学年別でみると、高学年は低学年に比べ「同時に行っている（行っていた）」割合が高くなっている。

地域別では、高野や比和で「同時に行っている（行っていた）」割合が他の地域に比べて高くなっている。

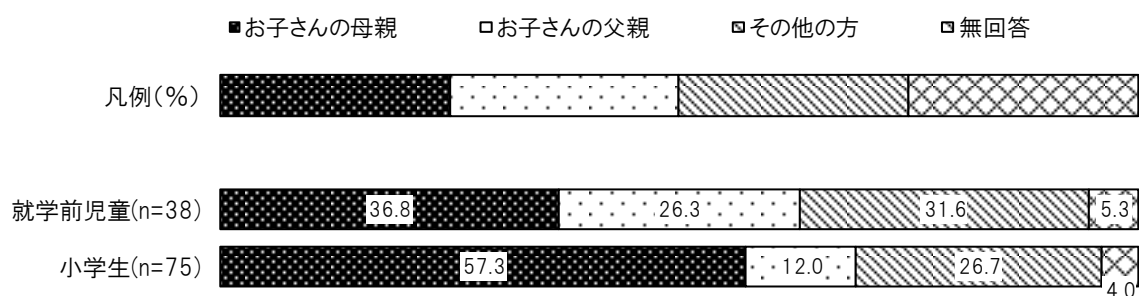


13 ダブルケアを行っている人

【子育てと介護を同時に行っている（行っていた）方におたずねします。】

就問 60（小問 43） 主に、子育てと介護を同時に行っている（行っていた）のは誰ですか。（○は1つ）

ダブルケアを行っている人について、就学前児童では「母親」が36.8%、「父親」が26.3%となっているが、小学生では「母親」が57.3%となっている。

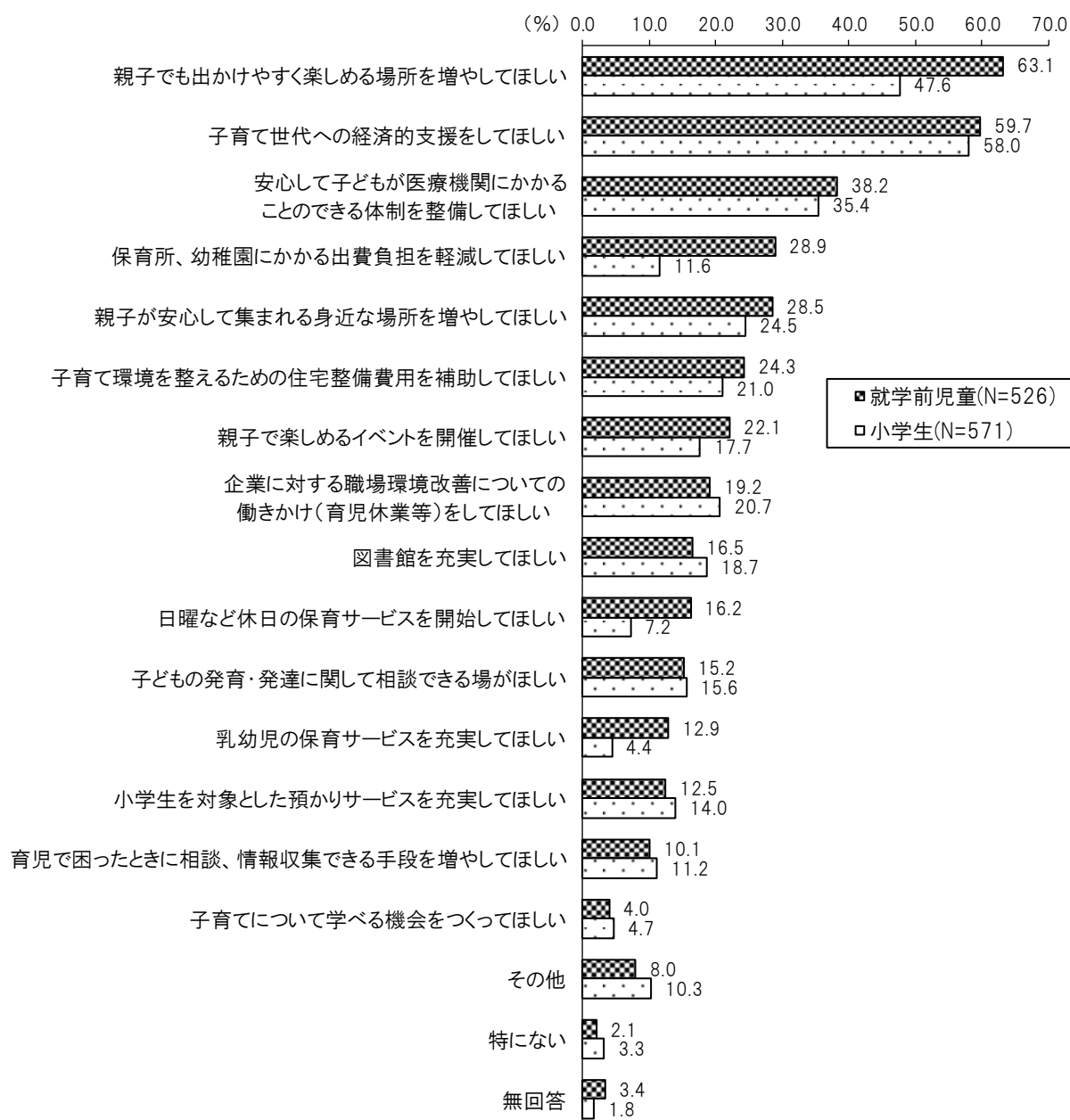


14 子育てしやすいまちにするために必要だと思う支援

就問 61 (小問 44) 子育てしやすいまちにするためには、どのような支援が必要だと思いますか。(〇は5つまで)

子育てしやすいまちにするために必要だと思う支援については、就学前児童、小学生保護者ともに、「親子でも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」「子育て世代への経済的支援をしてほしい」「安心して子どもが医療機関にかかることのできる体制を整備してほしい」の割合が高くなっている。

就学前児童では、特に「親子でも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」「保育所、幼稚園にかかる出費負担を軽減してほしい」「日曜など休日の保育サービスを開始してほしい」「乳幼児の保育サービスを充実してほしい」の割合が小学生に比べて高くなっている。



就学前児童については、西城で「保育所、幼稚園にかかる出費負担を軽減してほしい」、総領で「子育て世代への経済的支援をしてほしい」の割合がそれぞれ他の地域を大きく上回っている。

小学生については、東城で「安心して子どもが医療機関にかかることのできる体制を整備してほしい」、総領で「親子でも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」の割合がそれぞれ他の地域を大きく上回っている。

単位 (%)	を親子で 増やして ほしい	子育て 世代へ の経済 的支援 をして ほしい	安心し て子ど もが医 療機 関にか かる	軽減し てほし い	保育所 、幼 稚園に かか る出 費負 担を	を親子 で安心 して集 まれる 身近 な場 所	費用を 補助し てほし い	子育て 環境を 整える ための 住宅 整備	親子で 楽しめ るイベ ントを 開催し てほし い	企業に 対する 職場環 境改善 につい て	の働き かけ (育児 休業等)をし てほし い	図書 館を充 実して ほしい	日曜 など休 日の保 育サー ビスを 開始し てほし い	きん どもの 発育・ 発達に 関して 相談で きる場 がほし い	し乳 幼児の 保育サ ービス を充実 してほ しい	小 学 生を対 象とし た預 かりサ ービス を充実 してほ しい	育 児で困 ったと きに相 談、情 報収集 できる 手段を 増やし てほし い	子 育 てにつ いて学 べる機 会をつ くつ てほし い	特 に ない
--------	---------------------	--	--------------------------------------	-----------------	--	---	------------------------	--------------------------------------	---	--------------------------------------	--	-------------------------	---	--	---	--	---	--	--------------

【就学前児童】

就学前児童(N=526)	63.1	59.7	38.2	28.9	28.5	24.3	22.1	19.2	16.5	16.2	15.2	12.9	12.5	10.1	4.0	2.1
【地域別】																
庄原(n=322)	63.0	57.8	31.7	27.6	27.3	21.7	23.9	18.9	17.4	15.5	17.4	15.5	14.0	9.9	4.0	2.2
西城(n=22)	63.6	68.2	40.9	50.0	22.7	36.4	18.2	18.2	18.2	9.1	18.2	9.1	4.5	0.0	9.1	0.0
東城(n=92)	62.0	62.0	54.3	28.3	35.9	28.3	18.5	16.3	10.9	16.3	12.0	13.0	6.5	10.9	4.3	3.3
口和(n=23)	52.2	65.2	43.5	13.0	26.1	17.4	8.7	17.4	21.7	13.0	8.7	0.0	13.0	13.0	0.0	4.3
高野(n=21)	71.4	57.1	61.9	23.8	42.9	23.8	23.8	33.3	28.6	23.8	14.3	0.0	19.0	19.0	4.8	0.0
比和(n=14)	64.3	28.6	50.0	21.4	14.3	21.4	14.3	7.1	21.4	21.4	0.0	14.3	7.1	7.1	0.0	0.0
総領(n=19)	68.4	84.2	47.4	36.8	21.1	36.8	15.8	21.1	10.5	26.3	10.5	0.0	21.1	5.3	0.0	0.0

【小学生】

小学生(N=571)	47.6	58.0	35.4	11.6	24.5	21.0	17.7	20.7	18.7	7.2	15.6	4.4	14.0	11.2	4.7	3.3
【地域別】																
庄原(n=354)	48.0	54.2	30.8	13.3	22.9	16.9	19.2	19.8	20.3	6.5	16.1	5.1	14.4	12.1	5.1	3.7
西城(n=28)	35.7	82.1	35.7	14.3	28.6	25.0	21.4	25.0	7.1	0.0	7.1	7.1	3.6	3.6	7.1	0.0
東城(n=104)	44.2	63.5	53.8	8.7	28.8	32.7	14.4	25.0	17.3	11.5	13.5	3.8	13.5	10.6	3.8	1.0
口和(n=28)	53.6	71.4	28.6	14.3	28.6	28.6	10.7	25.0	17.9	7.1	25.0	3.6	21.4	14.3	3.6	7.1
高野(n=20)	45.0	60.0	35.0	0.0	30.0	5.0	15.0	20.0	20.0	5.0	10.0	0.0	5.0	15.0	5.0	10.0
比和(n=13)	38.5	38.5	38.5	7.7	15.4	38.5	15.4	0.0	23.1	15.4	30.8	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0
総領(n=20)	70.0	55.0	25.0	5.0	20.0	20.0	20.0	15.0	15.0	5.0	10.0	0.0	20.0	5.0	5.0	5.0

注：「その他」は表記から省略している。

【13】自由記述回答集約結果

1 就学前児童

就問 62 子育て支援に関して、ご意見やご要望があればご記入ください。

回答分野	回答件数
1 子育て支援センター等子育て支援事業に関する意見・要望	34 件
【主な回答内容（抜粋・要約）】 ○ 子育て支援サービスを周知、広報してもらいたい。 ○ 家事代行サービス等、家事をしてもらえるサービスがほしい。 ○ 市独自の子育て支援事業が少ない。 ○ 子育て中の人情報が悩み等を話すことができる、相談や交流ができる場がほしい。	

回答分野	回答件数
2 公園・遊び場の整備等に関する意見・要望	37 件
【主な回答内容（抜粋・要約）】 ○ 子どもが安心して遊べる、遊具が充実している公園が近くにほしい。 ○ 1～2歳の小さな子どもでも遊べる公園がほしい。 ○ 天気が悪い日でも遊べる屋内施設がほしい。 ○ 自然と触れ合える場所があるとよい。	

回答分野	回答件数
3 教育・保育事業に関する意見・要望	24 件
【主な回答内容（抜粋・要約）】 ○ 都市部との教育格差がないよう、教育環境の充実を図ってもらいたい。 ○ 利用した日数だけ支払うなど、保育料の見直しをしてもらいたい。 ○ 病児保育の充実を図ってもらいたい。 ○ 休日に働く親もいるので、保育所や放課後児童クラブ等を日曜や祝日も利用できるようにしてほしい。 ○ 通級や支援員の配置、療育を受けられる所を増やしてほしい。	

回答分野	回答件数
4 保護者の就労に関する意見・要望	8 件
【主な回答内容（抜粋・要約）】 ○ 妊娠中の女性が安心して働くことができ、産休や育休を取得しやすい環境にしてほしい。 ○ 時短勤務等、子育てと仕事の両立ができる職場の環境をつくってほしい。 ○ 子育て中の母親が働くことができるような支援がほしい。 ○ 父親の育児休業取得促進等、男性が育児に参加しやすい環境整備を、企業に働き掛けてもらいたい。	

回答分野	回答件数
5 経済的支援に関する意見・要望	31 件
【主な回答内容（抜粋・要約）】 ○ 妊婦健診や産後ケアの助成をしてもらいたい。 ○ 紙おむつや粉ミルク購入の助成をしてもらいたい。 ○ 第2子以降や3歳未満児の無償化等、保育料の負担を減らしてほしい。 ○ 乳幼児の医療費を無償化にしてほしい。 ○ 市独自の児童手当や給付金等、金銭的な支援を充実してもらいたい。	

回答分野	回答件数
6 保健・医療等に関する意見・要望	21 件
【主な回答内容（抜粋・要約）】 ○ 小児科が旧庄原市にしかないの、そのほかの地域にもほしい。 ○ 出産できる病院が日赤病院しかない。 ○ 夜間、休日も小児科の医師に診察してもらいたい。 ○ 新生児訪問や育児相談で話す困りごとへの相談、支援を充実してもらいたい。	

回答分野	回答件数
7 その他の意見・要望	21 件
【主な回答内容（抜粋・要約）】 ○ 歩道の凸凹や段差をなくし、ベビーカーや手押し車でも歩きやすいようにしてもらいたい。 ○ 子連れで食事や買い物、遊べる場所が少ない。 ○ 市内に書店がない。 ○ 子どもの物や学校で必要な物品を買う店が少ない。 ○ スポーツや習い事を近くでできるようにしてほしい。	

2 小学生

小問 45 子育て支援に関して、ご意見やご要望があればご記入ください。

回答分野	回答件数
1 小学生以上の子育て支援等に関する意見・要望	24 件
【主な回答内容（抜粋・要約）】 ○ 発育や発達等、就学後の子どもを持つ親が相談できる場がほしい。 ○ 市独自の子育て支援が必要だ。 ○ 就学後の子どもを持つ親同士が気軽に集まり、意見交換や「ほっと一息」できる場があるとよい。 ○ 子育て世代だけでなく、世代間交流を進めないと、子育て世代は孤立すると思う。 ○ SNSを活用した子育てに関するアドバイスや情報を発信してもらえるとよい。	

回答分野	回答件数
2 放課後児童クラブ等子どもの居場所に関する意見・要望	19 件
【主な回答内容（抜粋・要約）】 ○ 放課後児童クラブをもっと自由に利用できるようにしてほしい。 ○ 放課後児童クラブの施設を整備（充実）してもらいたい。 ○ 放課後に小学生が過ごす場所がない。 ○ 地域で習い事をする場所が増えてほしい。 ○ 放課後や休日に気軽に集まれる場所や環境を整備してほしい。	

回答分野	回答件数
3 公園・遊び場の整備等に関する意見・要望	29 件
【主な回答内容（抜粋・要約）】 ○ しっかり体を動かせる、室内の遊べる施設があるとよい。 ○ 整備されていない公園が多く、子どもたちが安心して遊べない。 ○ 子ども同士で安心して遊ぶ所が近くにない。学校や保育所のグラウンドを利用できたらよかった。 ○ 乳幼児から大人まで楽しめる無料の公園があると、地域の人との交流も増えると思う。	

回答分野	回答件数
4 教育・保育事業に関する意見・要望	37 件
【主な回答内容（抜粋・要約）】 ○ 庄原市に通級教室を配置するとともに、支援員を全校に配置するなど、支援が必要な子どもへの支援を充実してもらいたい。 ○ 居住地に関係なく学校を選べるようにしてもらいたい。 ○ 行き渋りや不登校に対しての支援や選択肢の充実を図ってほしい。 ○ 教育の充実を図ってほしい。 ○ 子どもの減少や学校の統廃合に不安がある。 ○ 統廃合を進める場合、子どもや保護者の負担を考えてもらいたい。	

回答分野	回答件数
5 保護者の就労に関する意見・要望	11 件
【主な回答内容（抜粋・要約）】 ○ 子育てしながら仕事をしている人に対する、周囲の理解がなかなか得られない。 ○ 子どもとゆっくり関わられるよう、週休3日制や短時間労働といった時間的な支援を行政が推進してほしい。 ○ 子どもが病気になったときに親が自宅でみることができる環境が整うとよい。	

回答分野	回答件数
6 経済的支援に関する意見・要望	40 件
【主な回答内容（抜粋・要約）】 ○ 所得に関係なく、給付金を支給してもらいたい。 ○ 給食費の負担を減らしてほしい。 ○ 医療費の負担を減らしてほしい。 ○ 母子家庭への支援を充実してほしい。 ○ 制服や体操服、教科書等、義務教育にかかる費用の負担を軽減してほしい。	

回答分野	回答件数
7 保健・医療等に関する意見・要望	11 件
【主な回答内容（抜粋・要約）】 ○ 庄原市小児科診療所（庄原こどもクリニック）の対応をよくしてもらいたい。 ○ 旧町村単位が理想だが、せめて東城、西城、高野地域に小児科がほしい。 ○ 休日や深夜に対応する小児科を作ってほしい。	

回答分野	回答件数
8 その他の意見・要望	47 件
【主な回答内容（抜粋・要約）】 ○ 市内に書店がほしい。 ○ 図書館の駐車場を整備するなどして、親子で利用しやすい図書館にしてもらいたい。 ○ 図書館の自習スペースを充実させてほしい。 ○ I C Tを活用し情報を発信するなど、子育てに関してもっとデジタル化を進めるべきだ。 ○ 市営住宅や空き家バンク等の情報があるとよい。住む所がないので、I ターンやUターンできない。 ○ 子育てをしやすい体制にして、子どもを増やさないといけない。	

庄原市 子ども・子育て支援に関するアンケート調査
報告書

発 行／令和6年4月

発 行 者／広島県 庄原市 生活福祉部 児童福祉課

〒727-8501 広島県庄原市中本町一丁目10番1号

電 話（0824）73-1192

メー ル jidou-fukushi@city.shobara.lg.jp
